

貧困プロフィール

エルサルバドル共和国

2013 年度版

独立行政法人 国際協力機構（JICA）

株式会社 日本開発サービス

当資料は、JICA が株式会社 日本開発サービスに委託し、政府・国際機関の報告書・統計・資料からの抜粋を邦訳し、執務参考資料として取り纏めたものであり、JICA の見解を示すものではありません。転載・引用に際しては、直接、出典元から行い、当資料からの転載・引用は行わないでください。

基盤
JR
14-015

目次

I.	貧困のトレンド、状況と背景の概念	1
II.	貧困削減のための政策枠組み	2
	1) 貧困削減戦略及び目標の現状	2
	2) 政府による指定貧困地域・集団	5
III.	所得貧困による分析	7
	1) 貧困ラインとデータ	7
	2) 貧困状況－貧困率、貧困ギャップ率、ジニ係数	7
IV.	所得以外による分析	12
	1) 人間開発指数のトレンド、地域・国際比較	12
	2) ミレニアム開発目標の概要・達成状況（1990年、2000年、現状と目標値の比較）とトレンド	14
	3) 概況とトレンド	25
	4) 食糧安全保障、脆弱性分析	25
V.	社会的属性、特性と貧困関連分析	28
	1) 社会的被排除グループと貧困指数の関連性	28
	2) その他の要因と貧困との関係性	29
VI.	貧困に影響を与えている国内外の要因	31
	1) 短期・長期的要因、リスクとショック（経済、社会、環境、紛争等）	31
	2) 国特有の事項	32
VII.	重点支援分野と貧困の関係性	39
	1) 各分野のインフラ、サービスへのアクセス状況	39
	2) 貧困との関係性	41
	3) アクセスが制限されている要因分析	53
添付1	主要文献リスト	55
添付2	主要な情報源リスト	61

図表・地図目次

図表 1	主要指標一覧（2001～2011年）	i
図表 2	14県の地域区分	iii
図表 3	全国・都市部・農村部の人口及び人口比率 （2007年、2011年、2012年）	iv
図表 4	全国・都市部・農村部の人口及び人口比率の推移 （1990～2030年、将来予測含む）	iv
図表 5	県別人口・国土面積・人口密度（2012年）	iv
図表 6	県別人口及び人口比率（2012年）	v
図表 7	各世帯の所得を基本とした貧困率（2012年）	v
図表 8	貧困率・絶対的貧困率・相対的貧困率の推移（1980～2012年）	vi

図表 9	中南米地域の貧困率・絶対的貧困率の推移	vi
図表 10	実質 GDP 成長率及び一人当たり実質 GDP 成長率の推移 (2005～2012 年)	vii
図表 11	一人当たり GDP の推移 (2005～2012 年)	vii
図表 12	輸出金額の前年比割合の推移 (1991～2012 年)	1
図表 13	国際送金額の前年比割合の推移 (1991～2012 年)	2
図表 14	社会政策と包括的な社会保護システム (SPSU) の概要	4
図表 15	フネス政権の主要社会プログラムと受益者数	4
図表 16	全国の AUP の区分 (数)	6
図表 17	各地域の AUP の区分 (%)	6
図表 18	各県の AUP (都市のスラム地域) の状況 (AUP 数、AUP 世帯数、 AUP 人口、都市部の人口、都市部の人口に対する AUP の人口の割合)	6
図表 19	1 カ月当たりの一人分の基礎食糧バスケット (都市部・農村部) の 推移 (2000～2012 年) (ドル)	7
図表 20	世帯所得を基本とした貧困率 (全国・都市部・農村部) の推移 (2005～2012 年)	8
図表 21	個人所得を基本とした貧困率 (全国・都市部・農村部) の推移 (2005～2012 年)	8
図表 22	貧困ギャップ率の推移 (2004～2009 年)	9
図表 23	ジニ係数の推移 (2009～2012 年)	9
図表 24	ジニ係数 (世帯・個人) (全国・都市部・農村部) の推移 (2005～2012 年)	9
図表 25	中南米諸国のジニ係数	10
図表 26	各所得階層 (4 段階) による所得配分の割合の推移 (1961～2012 年) (%)	10
図表 27	所得配分 (10 段階) (2008～2012 年)	11
図表 28	人間開発指数の推移 (1980～2012 年)	12
図表 29	人間開発指数の国別比較 (中米諸国等) (2012 年)	12
図表 30	不平等調整済み HDI の国別比較 (中米諸国等) (2012 年)	13
図表 31	出生時平均余命 (1930～2012 年)	13
図表 32	平均就学年数及び就学予測年数の推移 (2005～2012 年)	14
図表 33	一人当たり GNI (2005 年 PPP 基準) (2005～2012 年)	14
図表 34	ミレニアム開発目標の達成状況	15
図表 35	ゴール 1「極度の貧困と飢餓の撲滅」に係る指標結果	16
図表 36	1 日 1.25 ドル (PPP) 未満で生活する人口の割合の推移 (1991～2009 年)	16
図表 37	ゴール 2「初等教育の完全普及の達成」に係る指標結果	17
図表 38	初等教育における純就学率の推移 (2001～2010 年)	17
図表 39	ゴール 3「ジェンダー平等推進と女性の地位向上」に係る指標結果	18
図表 40	非農業部門における女性賃金労働者の割合の推移 (1990～2007 年)	18

図表 41	ゴール 4「乳幼児死亡率の削減」に係る指標結果.....	19
図表 42	5歳未満児の死亡率の推移（1990～2010年）.....	19
図表 43	ゴール 5「妊産婦の健康の改善」に係る指標結果.....	20
図表 44	妊産婦死亡率の推移（1990～2010年）.....	20
図表 45	医師・助産婦の立ち会いによる出産の割合の推移（1993～2003年）...	21
図表 46	ゴール 6「HIV/エイズ、マラリア、その他の疾病の蔓延の防止」に係る 指標結果.....	21
図表 47	15-24歳の HIV 感染率の推移（1990～2009年）.....	22
図表 48	ゴール 7「環境の持続可能性確保」に係る指標結果.....	23
図表 49	ゴール 8「開発のためのグローバルなパートナーシップの推進」に係る 指標結果.....	23
図表 50	国際協力による MDGs 関連プロジェクト.....	24
図表 51	穀物の輸入依存度の推移（2000～2009年）（%）.....	25
図表 52	全輸入品に対する食糧輸入の割合の推移（2000～2009年）.....	25
図表 53	農耕地の割合の推移（2000～2011年）.....	26
図表 54	近年の自然災害による損害.....	26
図表 55	一人当たりの食糧供給の推移（1994～2009年）.....	27
図表 56	全人口に対する栄養失調の割合の推移（1990～2012年）.....	27
図表 57	総人口と労働人口の割合（貧困層・非貧困層）（2012年）.....	28
図表 58	労働体系別による割合（貧困層・非貧困層）（2012年）.....	28
図表 59	基本的サービスの供給割合（貧困層・非貧困層）（2012年）.....	29
図表 60	男女別貧困率（全国・都市部・農村部）の推移（2005～2012年）.....	29
図表 61	男女別雇用者の月額平均給与の推移（2009～2011年）.....	30
図表 62	世帯・個人別月額平均所得（2012年）.....	31
図表 63	世帯別月額平均所得の推移（2000～2012年）（ドル）.....	32
図表 64	地域内外へのエルサルバドル人の移住の推移 （1970年代、1980年代、1990年代、2000年代）.....	32
図表 65	5年毎の出生者数・死亡者数・移住者数の推定（1950～2050年）.....	33
図表 66	送金受取世帯数の割合及び送金受取額（世帯・一人当たり） （2012年）.....	34
図表 67	県人口に対する送金受取人数の割合（男性・女性）（2007年）.....	35
図表 68	県別年間殺人件数（2009～2012年）.....	36
図表 69	中南米諸国における貧困層の割合と 10万人当たりの犯罪率の比較 （2004年、2008年、2010年）.....	37
図表 70	中南米諸国における盗難とジニ係数の比較（2009年、2010年）.....	37
図表 71	教育施設数の推移（2005～2012年）.....	39
図表 72	地域別医療施設数（2013年）.....	40
図表 73	家族保健地域ユニットの増加数の推移（2009～2013年）.....	40
図表 74	県別貧困プロファイル（CBA 基準）（2012年）.....	41
図表 75	県別貧困プロファイル（HDI 基準）（2012年）.....	43

図表 76	県別住居基礎インフラ（水道・電気・壁・床・衛生設備）（2012年）	44
図表 77	県別人口推移（1971～2007年）	45
図表 78	国内移住者数（転入・転出・増減差（県別、人口5歳以上） （1987～1992年）	46
図表 79	国内移住者数（転入・転出・増減差（県別、人口5歳以上） （2002～2007年）	46
図表 80	国内移民数（1987～2002年、2002年～2007年）	47
図表 81	海外移民者総数と千人当たりの移民者数（県別、人口5歳以上） （1987～1992年）	48
図表 82	海外移民者総数と千人当たりの移民者数（県別、人口5歳以上） （2002～2007年）	48
図表 83	送金の有無による貧困率の変化（2004年）	49
図表 84	1982年以降に発生した大規模地震	51
図表 85	近年の暴風雨	52
図表 86	主な火山と噴火年	52
図表 87	失業率（全国・都市部・農村部・サンサルバドル首都圏）（2012年）	53
図表 88	16歳以上の県別失業率（2012年）	53
図表 89	県別職種人口（人数）	54
図表 90	県別職種人口（%）	54
地図 1	エルサルバドル全土地図	iii
地図 2	エルサルバドル国絶対的貧困マップ	5
地図 3	10歳以上の非識字率マップ	40
地図 4	東部地域4県の貧困マップ	42
地図 5	送金受取世帯の割合（2004年）	50

貧困関連用語解説¹

(1) 貧困指標

用語	解説
絶対的貧困 Absolute Poverty	ある最低必要条件の基準が満たされていない状態を示す。一般的には、人間として生存するために最低限必要とされる食糧と食糧以外のものが購入できるだけの所得または支出水準（＝貧困線）に達していない状態を絶対的貧困と定義する。
相対的貧困 Relative Poverty	ある地域社会の大多数よりも貧しい状態を示す。例えば所得が地域内の下位10%に属する人は、衣食住が満たされていても相対的貧困者となる。また中所得国以上では、人間の生存の為に最低限必要な食糧と食糧以外の日用品ではなく、その社会で一般的な生活を送るために必要な収入・支出水準を元に相対的貧困線を設定する国もある。OECD などでは中位可処分所得の50%の水準を高所得国の相対的貧困線と定義している。
貧困線 Poverty Line	所得または支出水準が最低限の必要を満たす水準が貧困線であり、それに達しない層（＝貧困者）が全人口に占める割合を貧困率・または指数として示す。これにより表される貧困を経済的貧困、所得貧困とも言う。
国際貧困線 International Poverty Line	MDGs を機に、国際的な絶対的貧困線として「1日1ドル未満」が設定された。国際貧困線以下の人口が世界の絶対的貧困者の数であり、その割合が国際貧困率として算出される。 1993年購買力平価(Purchasing Power Parity: PPP)での最貧15か国の貧困線の平均が月32.74米ドル（一日1.08米ドル）であったことから、MDGs指標として一日1ドルの指標が採用された。最貧国の国別貧困線の各国の物価は異なり、同じ1ドルで購入できるものには大差があるため、購買力平価を用いて、米国での1ドルの購買力に相当するように調整されている。2005年以降の貧困線は物価上昇などを加味し、2008年購買力平価における最貧15か国の貧困線の平均から、一日1.25ドルが国際比較のための絶対貧困線とされている ² 。
国別貧困線 National Poverty Line	国ごとの実情を反映し、各国政府が家計調査のデータなどに基づいて独自に設定したのが国別貧困線である。国内における物価の差異に対応するため、都市、地方、あるいは地域ごとに設定された異なる貧困線を元に、統計的に国家貧困線を算出する場合もある。多くの発展途上国では、下記のベーシックニーズ貧困線が国別貧困線とされている ³ 。下記の食糧貧困線とベーシックニーズ貧困線は、国により Upper/Lower Poverty Line や、Poverty Line/Extreme Poverty Line など様々な表現があるため、定義によっていずれであるかを判断する必要がある。

¹ 主に国際協力総合研修所 2008年3月『指標から国を見る～マクロ経済指標、貧困指標、ガバナンス指標の見方～』

(http://jica-ri.jica.go.jp/IFIC_and_JBICI-Studies/jica-ri/publication/archives/jica/field/pdf/200803_aid02.pdf)、世界銀行(2009) Measuring Poverty and Inequality (<http://go.worldbank.org/4WJH9JQ350>) を元に作成。

² World Bank (2008) Dollar a Day Revisited (<http://go.worldbank.org/SMQ2FCW4J0>)

³ World Bank (2012) Poverty Measurement Methodology by Country (<http://go.worldbank.org/OP02MEZ880>)

用語	解説
食糧貧困線 Food Poverty Line	人間が生存していく上で、最低限必要なエネルギーを摂取できる支出レベルを算出したもの。摂取エネルギーは、国連食糧農業機関（FAO: Food and Agricultural Organization）が提唱する成人の一日に必要なカロリー（2100カロリー）を基準に、国ごとに設定される場合が多い。そのカロリーを摂取するための基本的な食糧の種類や構成は国ごとに設定され、都市・地方、あるいは地域の差異も配慮される場合がある。
ベーシックニーズ貧困線 CBN/Basic Needs Poverty Line	ベーシックニーズ費用手法（The Cost of Basic Needs Method: CBN）を用い、食糧貧困線に非食糧、すなわち衣類、住居、医療などのための最低限の支出金額を足して算出される。
非食糧貧困線 Non Food Poverty Line	非食糧ニーズの種類や構成は国ごとに設定され、都市・地方、あるいは地域の差異も配慮される場合も多い。また、所得貧困（Income Poverty）という表現がされることが多いが、途上国での貧困率の算出に使用されるのはほとんどの場合支出に関するデータである。
貧困ギャップ 率・指数 Poverty Gap Ratio・Index, P ₁	貧困率が貧困の発生頻度を表すのに対し、貧困ギャップ率は貧困の平均的「深さ（depth）」を表すために用いられる。通常、国別貧困率を元に算出される。貧困ギャップ率は、国民の収入または支出が貧困線に対して何パーセント下回っているか（乖離しているか）を、貧困線以上の人々の乖離率をゼロとして計算した数値である ⁴ 。貧困ギャップ率に貧困線と人口を乗じた数字が、貧困削減のための最低限の必要な費用であるとされ、政策上の目安となる。
二乗貧困ギャップ 率・指数 Squared Poverty Gap Ratio・Index /Poverty Severity Ratio・Index, P ₂	貧困の極端な「深刻さ（severity）」を表すために用いられる。通常国別貧困率を元に算出される。二乗貧困ギャップ率は、貧困線からの乖離率を二乗したもので、乖離率が高ければ（貧困の深刻度が高い）、より大きく数値に反映される。

(2) 不平等指数

用語	解説
ジニ係数・指数 Gini Coefficient, Gini Index	国や地域の所得（または消費）の平等・不平等度を示す指標。完全に平等な社会では0になり、完全に不平等な社会では1となる。なお、世界銀行の統計などではパーセンテージ表示のジニ指数（Gini Index）を用いており、完全に不平等な社会を100で表す。通常30から50の範囲になることが多く、40を超えると社会が不安定になると一般的に言われている。
所得階層別の所得シェア Percentage Share of Income or Consumption	ジニ係数を算出する基礎となるもの。人口を所得水準で階層分類し（五分位または十分位）、国全体の所得のうちそれぞれの階層が占める割合を%で表示。一般的に、五分位の最下層20%が全体の6-10%の消費を行い、最上位20%が全体の35-50%の消費を行っている場合が多い。

⁴ World Bank (2009). Handbook on poverty and inequality
(<http://issuu.com/world.bank.publications/docs/9780821376133>.)

(3) 開発指数

用語	解説
人間開発指数 Human Development Index : HDI ⁵	<p>人間開発の3つの基本的側面（①寿命、②知識、③生活水準）を総合して、各国の達成度を測定、比較するための指数。経済指標のみでは表せない国の開発の度合いを表す尺度として、UNDPが1990年に刊行した『人間開発報告（Human Development Report）』の中で用い各国のランキングを行ったことに始まる。算出方法は、①平均寿命指数、②教育指数（成人識字率と初等・中等・高等教育総就学率）、③GDP指数（1人当たり実質GDP（PPP））について、それぞれの最大値を1、最小値を0として算出し、3つの平均値をとる。</p> <p>2010年よりHDIの派生指標として不平等調整済みHDI（IHDI）が導入されている。また、それまで発表されていたジェンダー開発指数（GDI）とジェンダーエンパワメント指数（GEM）に代わってジェンダー不平等指数（GII）が、人間貧困指数（HPI）に代わって多次元貧困指数（MPI）が導入された。</p>

(4) 他

用語	解説
ミレニアム開発 目標 (Millennium Development Goals:MDGs) ⁶	<p>2000年9月、ニューヨークの国連本部で開催された国連ミレニアム・サミットに参加した147の国家元首を含む189の国連加盟国代表は、21世紀の国際社会の目標として「国連ミレニアム宣言」を採択した。この宣言と1990年代に開催された主要な国際会議やサミットでの開発目標をまとめたものがMDGsである。MDGsは国際社会の課題に対して、2015年までの達成を目指す期限付きの8つの目標、21のターゲット、60の指標を掲げている。貧困に関する様々な経済的・非経済的指標が取り上げられているが、その第1目標が、「一日1.0ドルの未満（2005年以降は1.25ドル）の絶対的貧困線以下の人口を半減する」という目標である。</p>
脆弱度分析と 地図化 (Vulnerability Analysis and Mapping : VAM) ⁷	<p>食糧安全保障の観点から、「人々が最低限の厚生水準を維持できないほど、食糧へのアクセスや食糧消費が急速に低下する可能性」を「脆弱性」と定義し、地域別の脆弱度を地図化したものがVAMである。WFPが緊急食糧援助を行う際、援助を最も必要とする人々や地域を選定し、効果的な支援を行うために開発した。</p> <p>VAMは、包括的食糧安全保障・脆弱度分析（CFSVA）、食糧安全保障モニタリング・システム、GISデータを用いた空間分析と地図化の3つの活動からなる。CFSVAでは、社会政治環境、地理・気象条件、マクロ経済、教育・保健水準、農業、環境などの観点から食糧安全保障と脆弱性に影響を与える要素を包括的に分析する。既存のデータに加え、家計調査や市場価格調査などを組み合わせ、「どのような社会グループ（生計活動や食糧入手手段）が影響を受けやすいか」などの分析も行う。</p>

⁵ HDIの詳細についてはUNDP HDI公式ウェブサイト (<http://hdr.undp.org/en/data/about/>) はUNDP東京事務所から日本語でも入手可能。

http://www.undp.org/content/tokyo/ja/home/library/human_development/human_development1.html

⁶ MDGsについては国連MDGs公式ウェブサイト (<http://unstats.un.org/unsd/mdg/default.aspx>)

⁷ VAMに関してはWFP VAMウェブサイト (<http://www.wfp.org/food-security>)

略語表

略語	正式名称	日本語
AUP	Asentamiento Urbano Precario	都市部のスラム地域
CEPAL	Comisión Económica para América Latina y el Caribe	国連ラテンアメリカ 経済開発委員会
CBA	Canasta Básica Alimentaria	食糧バスケット
CBS	Canasta Básica de Alimentos	基本的食糧バスケット
CSR	Comunidad Solidaria Rural	農村の貧困対策プログラム
CSU	Comunidad Solidaria Urbana	都市の貧困対策プログラム
DIGESTYC	Dirección General de Estadística y Censos	統計センサス総局
EHPM	Encuesta de Hogares de Propósitos Múltiples	多目的世帯調査
FISDL	Fondo de Inversión Social para Desarrollo Local	地域開発社会投資基金
FLACSO	Facultad Latinoamericana de Ciencias Sociales	ラテンアメリカ社会 科学大学院
FAO	Food and Agricultural Organization	国連食糧農業機関
GDP	Gross Domestic Products	国内総生産
HDI	Human Development Index	人間開発指数
HDR	Human Development Report	人間開発報告書
HDR-ES	Human Development Report El Salvador	エルサルバドル 人間開発報告書
IDB	Inter-American Development Bank	米州開発銀行
MDGs	Millenium Development Goals	ミレニアム開発目標
ODA	Official Development Assistance	政府開発援助
PATI	Programa de Apoyo Temporal al Ingreso	一時的収入支援プログラム
PPP	Purchasing Power Parity	購買力平価
PQD	Plan Quinquenal de Desarrollo	国家5カ年開発計画
UNDP	United Nations Development Program	国連開発計画
UNFPA	United Nations Population Fund	国連人口基金
WB	World Bank	世界銀行（世銀）
WDI	World Development Indicator	世界開発指標
WFP	World Food Program	世界食糧計画

要約

項目	概要
1 貧困の概況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 貧困率⁸：34.5%（相対的貧困率 25.6%、絶対的貧困率 8.9%）（2012年）。貧困率は全体的には改善に向かっているが、国際経済や自然災害等の影響を受けやすい。 ・ 格差：農村部の絶対的貧困率は 13.6%（2012年）で、都市部の絶対的貧困率 6.5%（2012年）の2倍以上に達する。 ・ MDGs：中等教育の就学率、5歳未満児の死亡率、乳幼児の死亡率等の指標で目標を達成している。非農業部門における女性賃金労働者の拡大、HIV/エイズの治療への普遍的アクセスの実現などは、目標達成は困難と予想される（2012年）。
2 国家開発計画等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 『国家5カ年開発計画』（2009～2014年）：貧困削減・経済・ジェンダーにおける平等とすべての人々に行き渡る社会政策を旗印としている。優先的開発政策として、包括的な社会保護システムの構築を挙げている。社会政策の達成目標は、貧困削減及び脆弱層に対する基本的な社会サービスへのアクセスの拡大である。 ・ 大統領プログラム：『連帯プログラム』において、農村と都市それぞれの貧困対策プログラムを実施している。
3 貧困の主な背景・要因	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会的集団格差：住都市のスラム地域が全国 2,508カ所に存在しており、約 50万世帯に相当する。 ・ 移住：1980年代以降、国外への移住者数は増加を続け、2000年代には1990年代の1.7～4倍に激増した。移住の要因として、就労及び生産活動の機会不足、治安の悪化などが挙げられる。移住先は90%以上が米国である。 ・ 移住先から家族への国際送金は、貧困率の軽減に貢献している。
4 JICAの課題と貧困の関わり	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東部地域開発：東部地域4県の貧困率は全国平均を下回っており、人間開発指数でも東部地域2県は最低を示している。政府は東部地域を優先とした大統領プログラム『地域開発促進』を通じ、生産活動、観光、海洋・環境資源の活性化に対する取り組みを実施している。 ・ 防災：自然災害（地震、ハリケーン、火山など）によるリスクが世界で最も高い国の一つである。貧困層は、土砂崩れや洪水のリスクの高い地域に居住しているため、脆弱性が高い。 ・ 治安：周辺国の中で治安の悪い国の一つで、2012年の殺人件率は一日 7.11人、2013年は 6.83人と減少傾向にあったが、2014年1月には 9.4人に悪化した。暴力団の存在が社会的脅威となっている。

⁸ エルサルバドルには世帯別と個人ベースの2つの貧困率が存在するが、ここでは世帯別の貧困率につき記載している。

図表 1 主要指標一覧 (2001~2011年)⁹

主要指標一覧 【エルサルバドル】		2013年11月版				
	指標項目	2001年	2009年	2010年	2011年	2011年の 地域平均値
社会 指 標	地表面積(1000km ²)	21	21	21	21	n.a
	人口(百万人)	6.0	6.2	6.2	6.3	601.8
	人口増加率(%)	0.4	0.5	0.6	0.6	1.1
	出生時平均余命(歳)	70	71	72	72	74
	妊産婦死亡率(出生10万人当たり)	n.a	n.a	81	n.a	n.a
	乳児死亡率(出生1000人当たり)	25.0	15.6	14.9	14.2	16.6
	栄養不足人口(%)	8.8	11.6	11.9	12.3	9.3
	一人当たりカロリー摂取量(kcal/日) ^{※1}	2,646	2,574	n.a	n.a	n.a
	初等教育総就学率(男)(%)	107.6	114.6	116.7	117.1	114.2
	初等教育総就学率(女)(%)	104.2	110.6	111.4	111.7	110.6
	初等教育修了率(%)	82.4	93.4	96.1	100.5	101.5
	中等教育総就学率(男)(%)	55.1	62.4	64.5	67.5	67.1
	中等教育総就学率(女)(%)	55.4	63.7	65.5	67.7	63.3
	高等教育総就学率(%)	19.9	23.0	23.4	24.6	42.3
	男性成人識字率(15歳以上の男性人口の内・%)	n.a	86.8	87.1	n.a	92.2
	女性成人識字率(15歳以上の女性人口の内・%)	n.a	81.8	82.3	n.a	90.9
	女性の国会議員比率(%)	9.5	19.0	19.0	19.0	23.0
	絶対的貧困水準(1日1.25\$以下の人口比・%)	14.4	9.0	n.a	n.a	n.a
	失業率(%)	7.0	7.3	7.0	n.a	n.a
	軍事費(対GDP比・%)	1.4	1.0	1.1	1.1	1.3
携帯電話契約者数(100人当たり)	14.4	122.8	124.3	133.5	107.1	
人間開発指数 ^{※2} (2011年ランキング:105位/187カ国)	0.719	n.a	0.678	0.679	0.739	
経 済 指 標	GDP(百万USD)	13,813	20,661	21,418	23,139	5,832,152
	一人当たりGNI(USD)	2,180	3,300	3,350	3,480	8,498
	実質GDP成長率(%)	1.7	-3.1	1.4	2.2	3.9
	産業構造(対GDP比・%)					
	農業	10.1	12.4	12.6	12.5	5.6
	工業	32.1	27.2	26.9	27.1	33.4
	サービス業	57.7	60.4	60.5	60.4	61.1
	産業別成長率(%)					
	農業	-2.6	-2.9	3.1	-2.5	2.6
	工業	4.9	-3.1	0.9	3.4	3.5
	サービス業	1.0	-3.2	1.1	2.3	4.0
	総資本形成率(対GDP比・%)	16.7	13.4	13.3	14.4	22.3
	貯蓄率(対GDP比・%)	0.9	-2.0	-3.6	-4.3	22.3
	消費者物価上昇率(インフレ・%)	3.8	1.1	1.2	5.1	5.1
	財政収支(対GDP比・%)	n.a	-5.1	-2.7	-2.2	n.a
	中央政府債務残高(対GDP比・%)	n.a	49.5	49.5	47.8	n.a
	貿易収支(対GDP比・%)	-15.8	-15.5	-16.9	-18.7	-0.1
	経常収支(対GDP比・%)	n.a	-1.5	-2.7	-4.9	n.a
	外国直接投資純流入額(百万ドル)	279	369	262	247	177,397
	対外債務残高(対GNI比・%)	39.5	51.6	54.3	53.5	n.a
DSR(対外債務返済比率・%)	10.3	27.4	22.1	21.7	n.a	
総外債準備高(百万ドル)	1,723	3,122	2,897	2,510	n.a	
(輸入支払い可能月数)	n.a	4.7	3.8	2.8	8.4	
名目対ドル為替レート ^{※3}	8.75	8.75	8.75	8.75	n.a	
(Colones per US Dollar Period Average)						
政 治 指 標	政治体制:共和制。行政権は大統領に集中					
	憲法:1983年12月20日施行					
	元首:大統領。カルロス・マウリシオ・フネス・カルタヘナ(Carlos Mauricio FUNES Cartagena)。直接選挙制。任期5年 2009年6月1日就任。再選禁止					
	議会:一院制。84議席。直接選挙制。任期3年 内閣:大統領が任免。首相なし。2009年6月1日発足					

出典: World Development Indicators Online (September 2013) World Bank

※1 FAO Food Balance Sheets (June 2012) FAOSTAT Homepage

※2 Human Development Report (2003/2011) UNDP

※3 International Financial Statistics Online (October 2013) IMF

※4 世界年鑑 2013 共同編纂社

注: ●地域平均値はラテンアメリカ・カリブ諸国の数値(地域分類は別添参照)

●「人口」、「GDP」、「外国直接投資純流入額」及び「総外債準備高(百万ドル)」の「2011年の地域平均値」においては、地域の数値を示す

●総就学率は、年齢人口に占める就学者総数(年齢を問わない)の割合であるため、数値が100を超えることがある

⁹ JICA 研究所にて年3回改訂。 <https://libportal.jica.go.jp/fmi/xsl/library/public/data/shihyo-p.html>
(2013/12/15 アクセス)

一般政府歳入・歳出【エルサルバドル】

	2009年 (百万USD)*	2010年 (百万USD)*	2011年 (百万USD)*	2011年 対GDP比**	
歳入	3,843	4,311	5,103	22.1%	GDP(現地通貨) 23,139
租税収入	2,750	3,088	3,306	14.3%	
社会保険	465	478	499	2.2%	
贈与受取	37	31	168	0.7%	
その他	682	714	1,131	4.8%	
歳出	4,601	4,497	5,061	21.9%	
人件費	1,762	1,836	2,032	8.8%	
財貨・サービス	766	848	789	3.3%	
固定資本減耗	54	59	64	0.3%	
利払い	478	500	529	2.3%	
補助金	259	287	396	1.7%	
贈与支払	8	8	31	0.1%	
扶助費	460	465	548	2.4%	
その他	815	493	692	3.0%	
非金融資産の純増	377	366	573	2.5%	
財政収支	-1,035	-51	-531	-2.3%	

総支出内訳(目的別分類)【エルサルバドル】

	2009年 (百万USD)*	2010年 (百万USD)*	2011年 (百万USD)*	2011年 内訳	2011年 対GDP比**
総支出	4,978	4,883	5,634	100.0%	24.3%
一般サービス	1,131	1,251	1,767	31.4%	7.6%
国防	133	143	158	2.8%	0.7%
公安	523	567	582	10.3%	2.5%
経済関連	433	387	381	6.8%	1.6%
農林水産業	n.a.	n.a.	n.a.		n.a.
エネルギー	n.a.	n.a.	n.a.		n.a.
鉱工業・建設業	n.a.	n.a.	n.a.		n.a.
運輸	n.a.	n.a.	n.a.		n.a.
通信	n.a.	n.a.	n.a.		n.a.
環境保全	27	36	18	0.3%	0.1%
住宅・生活関連施設	71	52	171	3.0%	0.7%
保健・医療	743	661	877	15.6%	3.8%
レクリエーション・文化	33	31	51	0.9%	0.2%
教育	842	752	706	12.5%	3.1%
社会保障・福祉	1,043	982	916	16.3%	4.0%
調整値	0	0	8	0.1%	0.0%

注: 総支出内訳における総支出には非金融資産の純増を含む
 * 2009年1月1日から米ドルと国通貨コロンとの直通関係に移行(世界年報 2013 共同編纂社)
 ** GDP(出典)IMF, World Economic Outlook Database, October 2013
 出典: IMF, Government Finance Statistics (Online) October 2013

対エルサルバドル JICA 事業実績

(単位: 億円)

	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	累計
円借款(承継額)	-	-	-	-	-	391.77
(実行額)	23.12	0.48	0.04	-	-	-
無償資金協力	-	-	-	-	-	4.00
技術協力	10.43	11.36	10.46	12.85	7.79	212.14
(うち機材供与)	0.76	0.52	0.20	0.50	0.74	16.69

対エルサルバドル JICA 技術協力人数実績

(単位: 人)

	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	累計
研修員受入	108	113	99	117	119	1,703
専門家派遣	42	36	48	60	56	592
調査員派遣	28	22	30	62	48	1,112
協力隊派遣	21	37	9	11	16	470
その他ボランティア	3	5	0	4	7	21

注: 年の区切りは日本の会計年度(9月~1月)、帰国は当年度供与年度額(JICA実施監督案件)
 出典: JICA事業実績

対エルサルバドル ODA 実績

(支出総額, 単位: 百万ドル)

《我が国》	政府貸付等	無償資金協力	技術協力	合計
2007年	8.30	9.21	9.29	26.80
2008年	14.92	6.97	8.68	30.57
2009年	-18.10	4.07	10.21	-3.82
2010年	-22.18	19.54	11.40	8.75
2011年	-23.57	3.84	11.08	-6.65
累計	183.55	299.69	177.44	660.69

《DAC諸国・国際機関》

(支出総額, 単位: 百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2009年	スペイン 125.68	米国 82.08	ドイツ 18.09	ルクセンブルク 13.48	韓国 3.95	-3.82	259.70
2010年	米国 151.26	スペイン 85.51	ドイツ 17.06	日本 8.75	ルクセンブルク 7.07	8.75	238.57
2011年	米国 165.21	スペイン 44.56	ドイツ 14.85	ルクセンブルク 7.76	韓国 4.93	-6.65	249.50
暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2009年	EU Ins. 24.86	GEF 3.80	GFATM 2.07	UNFPA 1.36	UNICEF 1.25	-17.52	15.82
2010年	EU Ins. 52.52	GFATM 9.48	UNFPA 1.42	GEF 1.00	UNDP 0.80	-20.52	44.70
2011年	EU Ins. 42.46	GFATM 6.31	GEF 1.57	UNFPA 1.11	UNICEF 0.88	-21.34	30.99

注: 年の区切りは1月~12月の暦年、国際機関の順位は別添参照
 出典: OECD-DAI

地図 1 エルサルバドル全土地図



(出所) OCHA El Salvador: Reference Map (as of 2010)¹⁰ (2013/12/15 アクセス)

図表 2 14 県の地域区分

Zonas (地域)	Departamentos (県)
Occidental 西部	Ahuachapán
	Santa Ana
	Sonsonate
Central 中部	La Libertad
	Chalatenango
	Cuscatlán
Paracentral 中部近郊	San Salvador
	La Paz
	Cabañas
Oriental 東部	San Vicente
	Usulután
	San Miguel
	Morazán
	La Unión

(出所) 資料を基に作成¹¹

¹⁰ <http://reliefweb.int/map/el-salvador/el-salvador-reference-map-2010>

¹¹ 全国 14 県の地域区分にはいくつかの分類があるが、4 地域に分割するのが一般的である。(JICA エルサルバドル事務所)

図表 3 全国・都市部・農村部の人口及び人口比率（2007年、2011年、2012年）

	2007	2011	2012
全国（人数）	5,744,113	6,213,730	6,249,262
都市部（人数）	3,598,836	3,871,332	3,910,412
農村部（人数）	2,145,277	2,342,398	2,338,850
都市部（%）	62.7	62.3	62.6
農村部（%）	37.3	37.7	37.4

（出所） VI Censo de Población y V de Vivienda (2007) /EHPM (2011) (2012)

図表 4 全国・都市部・農村部の人口及び人口比率の推移
（1990～2030年、将来予測含む）

El Salvador: Población total urbano y rural y distribución porcentual, del período 1990 al 2030

Años	URBANA	RURAL	TOTAL	% Urbano	% Rural
1990	2,593,720	2,731,395	5,325,115	48.7	51.3
1995	3,014,773	2,707,823	5,722,596	52.7	47.3
2000	3,356,144	2,582,002	5,938,146	56.5	43.5
2005	3,646,538	2,402,874	6,049,412	60.3	39.7
2010	3,954,803	2,228,199	6,183,002	64.0	36.0
2015	4,299,665	2,069,559	6,369,224	67.5	32.5
2020	4,677,834	1,923,577	6,601,411	70.9	29.1
2025	5,085,938	1,790,876	6,876,814	74.0	26.0
2030	5,493,570	1,659,758	7,153,328	76.8	23.2

（出所） DIGESTYC / UNFPA Proyecciones nacionales de Población, Urbano – Rural, por Sexo y Edad. 1985-2030 Marzo de 2009 p. 37

図表 5 県別人口・国土面積・人口密度（2012年）

El Salvador: Población y densidad, según departamento, EHPM – 2012.

Departamento	Población Total	Extensión en Km ²	Habitantes por Km ²
Total	6,249,262	21,040.79	297
San Salvador	1,737,975	886.15	1,961
La Libertad	738,671	1,652.88	447
Sonsonate	461,130	1,225.77	376
Cuscatlán	248,557	756.19	329
Santa Ana	567,261	2,023.17	280
Ahuachapán	331,235	1,239.60	267
La Paz	325,942	1,223.61	266
San Miguel	476,007	2,077.10	229
Usulután	363,288	2,130.44	171
Cabañas	164,828	1,103.51	149
San Vicente	172,489	1,184.02	146
Morazán	198,174	1,447.43	137
La Unión	260,118	2,074.34	125
Chalatenango	203,587	2,016.58	101

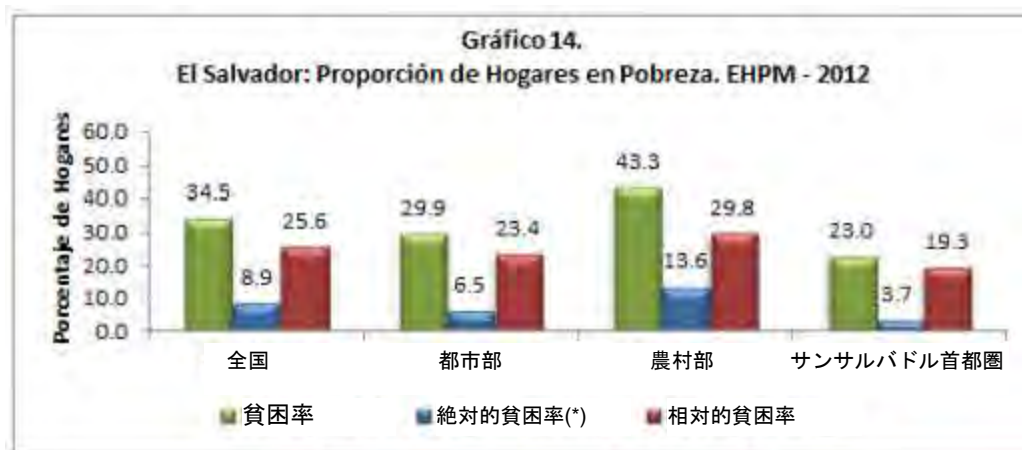
（出所） EHPM (2012) p.2

図表 6 県別人口及び人口比率 (2012 年)

Total	6,249,262	100.00%
San Salvador	1,737,975	27.8%
La Libertad	738,671	11.8%
Sonsonate	461,130	7.4%
Cuscatlán	248,557	4.0%
Santa Ana	567,261	9.1%
Ahuachapán	331,235	5.3%
La Paz	325,942	5.2%
San Miguel	476,007	7.6%
Usulután	363,288	5.8%
Cabañas	164,828	2.6%
San Vicente	172,489	2.8%
Morazán	198,174	3.2%
La Unión	260,118	4.2%
Chalatenango	203,587	3.3%

(出所) 図表 5 の人口を基に作成

図表 7 各世帯の所得を基本とした貧困率 (2012 年)



(出所) EHPM (2012) p.22

- * エルサルバドル国では、「絶対的貧困層 (Pobreza absoluta)」ではなく、「極貧 (Pobreza extrema)」という表現が一般的に用いられているが、本プロファイルでは、便宜上「絶対的貧困」で統一する。

図表 8 貧困率・絶対的貧困率・相対的貧困率の推移（1980～2012年）

Año	Pobreza total			Pobreza extrema			Pobreza relativa		
	Nacional	Urbano	Rural	Nacional	Urbano	Rural	Nacional	Urbano	Rural
1980	68.3	57.6	76.4	50.7	44.5	55.4	17.5	13.1	21.0
1985	55.2	47.6	62.7	26.4	21.5	31.1	28.8	25.9	31.6
1992	64.9	56.9	70.4	31.5	25.4	37.0	33.4	33.4	33.5
2006	38.1	33.8	44.3	12.6	9.9	16.7	25.5	23.9	27.8
2007	40.1	34.1	50.2	12.8	8.7	19.6	27.3	25.4	30.6
2008	46.4	41.5	55.4	15.3	12.1	21.4	31.0	29.3	34.0
2009	43.5	38.1	52.6	14.8	11.1	21.3	28.6	27.0	31.4
2010	42.5	38.2	49.6	14.1	11.3	18.8	28.4	26.9	30.8
2011	47.5	41.7	57.2	15.5	11.8	22.4	32.0	30.4	36.8
2012	40.7	35.1	49.9	11.3	7.9	17.0	29.4	27.2	32.9

Fuente: Para 1980, CEPAL (1980); para 1985, FUSADES (1989); y para el resto, Encuestas de hogares de propósitos múltiples (DIGESTYC, varios años).

(出所) HDR-ES (2013) p.105

図表 9 中南米地域の貧困率・絶対的貧困率の推移

Country	Poverty				Extreme Poverty			
	Year	Rate	Year	Rate	Year	Rate	Year	Rate
Argentina	1999	-	2011	-	1999	-	2011	-
Bolivia (Plurinational State of)	1999	60.6	2009	42.4	1999	36.4	2009	22.4
Brazil	2001	37.5	2011	20.9	2001	13.2	2011	6.1
Chile	2000	20.2	2011	11.0	2000	5.6	2011	3.1
Colombia	1999	54.9	2011	23.2	1999	26.8	2011	10.6
Costa Rica	1999	20.3	2011	18.8	1999	7.8	2011	7.3
Ecuador	1999	-	2011	35.4	1999	-	2011	13.9
El Salvador	2001	48.9	2010	46.6	2001	22.1	2010	16.7
Guatemala	2002	60.2	2006	54.8	2002	30.9	2006	29.1
Honduras	1999	79.7	2010	67.4	1999	56.8	2010	42.8
Mexico	2000	41.1	2010	36.3	2000	15.2	2010	13.3
Nicaragua	2001	69.4	2009	58.3	2001	42.5	2009	29.5
Panama	1999	-	2011	25.3	1999	-	2011	12.4
Paraguay	2001	59.7	2011	49.6	2001	31.3	2011	28.0
Peru	2001	54.7	2011	27.8	2001	24.4	2011	6.3
Dominican Republic	2002	47.1	2011	42.2	2002	20.7	2011	20.3
Uruguay	1999	-	2011	6.5	1999	-	2011	1.1
Venezuela (Bolivarian Republic of)	1999	49.4	2011	29.5	1999	21.7	2011	11.7
Latin America*	1999	43.8	2011	29.4	1999	18.6	2011	11.5

* Estimated based on 19 countries: Argentina, Bolivarian Republic of Venezuela, Plurinational State of Bolivia, Brazil, Chile, Colombia, Costa Rica, Ecuador, El Salvador, Guatemala, Haiti, Honduras, Mexico, Nicaragua, Panama, Paraguay, Peru, Dominican Republic and Uruguay

(出所) CEPAL, Anuario Estadístico de América Latina y el Caribe, 2012
 1.6 Pobreza y distribución del ingreso / Poverty and income distribution
 1.6.1 Poor and indigent population, urban and rural areas

図表 10 実質 GDP 成長率及び一人当たり実質 GDP 成長率の推移(2005～2012 年)

	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012
Real GDP growth rate (%)	3.6	3.9	3.8	1.3	-3.1	1.4	2.2	1.9
Real GDP growth rate per capita (%)	3.2	3.5	3.4	0.8	-3.6	0.9	1.7	1.3

(出所) HDR-ES (2013) p.304-305

図表 11 一人当たり GDP の推移 (2005～2012 年)

	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012
GDP per capita (US\$ Current)	2,825.7	3,054.2	3,296.6	3,499.1	3,358.1	3,464.1	3,277.2	3,818.2
GDP per capita (US\$ Constant)	1,398.3	1,47.1	1,496.6	1,509.2	1,455.3	1,467.9	1,493.0	1,513.2

(出所) HDR-ES (2013) p.304-305

I. 貧困のトレンド、状況と背景の概念

エルサルバドル共和国（以下、エルサルバドル）では、1992年に和平合意が結ばれ、1980年から続いた内戦に終止符が打たれた。国家の再建では、1992-95年に実質GDP年平均成長率約6%を達成し、2001年には1月と2月に二度の大地震に見舞われたが、経済指標は常にプラスを維持し、2006年にはGDP成長率が3.9%に回復した。1980年に68.3%に上った貧困率¹²も、1992年～2006年には64.9%から38.1%に大きく削減され、絶対的貧困率¹³も31.5%から12.6%に半分以下に削減された。また、2007年のミレニアム開発目標（MDGs: Millenium Development Goals）の中間評価では、乳幼児死亡率、妊産婦死亡率、初等就学率、安全な飲料水へのアクセスなど一部の指標において達成が確認された。

しかし、2008年には世界金融危機の影響を受けて石油価格が上昇し、食糧価格が高騰したことにより、貧困率は46.4%に悪化した。また、図表12・13に示すとおり、2009年には輸出金額及び国際送金額も減少し、経済成長率は実質GDPがマイナス3.1%（一人当たりGDP成長率はマイナス3.6%）に落ち込んだ。

2009年に発足したフネス政権は、急遽『経済危機対応グローバルプラン（Plan Global Anti-Crisis）』（2009～2011年）¹⁴を作成し、一時的な雇用、基礎インフラの建設、社会保障プログラムの充実に着手した。

経済の回復と共に貧困率も、2009年には43.5%、2010年には42.5%に改善したが、2011年には熱帯低気圧12Eによる集中豪雨の影響により、47.5%に上昇した。エルサルバドルは自然災害を受けやすく、特に貧困層は自然災害のリスクが高い地域に住んでいるため、脆弱性が高い。

2012年の貧困率は40.7%に改善し、貧困率は長期的に見て削減傾向にはあるが、ラテンアメリカ地域の他国と比較すると、削減の速度が遅く、持続的ではないことなどが懸念されている。¹⁵

図表 12 輸出金額の前年比割合の推移（1991～2012年）

Cobertura		Dic																						
		1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009(p)	2010(p)	2011(p)	2012	
[-]	Exportaciones (FOB) [miles]	9.8	29.7	21.1	32.2	8.3	35.7	0.6	2.8	17.2	-2.6	4.6	4.4	5.6	4.0	8.5	7.6	15.1	-16.7	16.4	18.0	0.6		

(出所) ¹⁶Banco Central de Reserva de El Salvador/ Base de datos de económica / Sector Externo / II.1 Balanza Comercial

¹² エルサルバドルでは、貧困者/個人の割合を示す貧困者率と貧困世帯の割合を示す貧困世帯率の2つがあり、この貧困率は個人の貧困者率である。詳細は、III. 貧困所得による分析 2) 貧困状況・貧困率、貧困ギャップ率、GINI 分析を参照。

¹³ 所得が食糧バスケットに満たない世帯もしくは個人の割合。

¹⁴ 同プランは、「生産及び雇用支援」「包括的な社会保護」「公共財政」「開発政策」の4本の柱から構成される。

¹⁵ HDR-ES (2013) p.105

¹⁶ Banco Central de Reserva de El Salvador <http://www.bcr.gob.sv/esp/>

図表 13 国際送金額の前年比割合の推移（1991～2012年）

Contexto	El Salvador																					
	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012
1.1 Ingresos mensuales de remesas familiares [miles]	3.6	0.7	11.4	10.3	2.4	10.4	11.6	2.7	-27.4	0.1	1.3	3.3	21.0	13.4	15.0	8.5	1.3	-9.5	1.3	6.4	7.2	

(出所) ¹⁷Banco Central de Reserva de El Salvador / Base de datos de económica / Sector Externo / II.3 Indices Mensuales de Remesas familiares

II. 貧困削減のための政策枠組み

1) 貧困削減戦略及び目標の現状

現フネス政権（2009～2014年）が2010年6月に発表した『国家5カ年開発計画（PQD: Plan Quinquenal de Desarrollo）』（2010～2014年）において、「貧困削減・経済・ジェンダーにおける平等とすべての人々にいきわたる社会政策」（Reducción significativa y verificable de la pobreza, la desigualdad económica y de género y la exclusión social）¹⁸は、10の優先政策事項の旗印となっている。また、「包括的な社会保護システムと戦略的社会政策戦略（Sistema de Protección Social Universal y las Políticas Sociales Estratégicas）」は、同開発計画が示している6つの開発戦略¹⁹の一つに掲げられている。さらに、政権の達成目標でも「貧困削減及び脆弱層の基本的な社会サービスへのアクセスの拡大」が謳われており、数値目標では「貧困率の12～15ポイント（%）削減」が掲げられ、5つある大統領プログラムの特別予算²⁰のうち、「公平性、社会的包含、貧困削減」に44%を配分することとした。

「包括的な社会保護システム（SPSU: Sistema de Protección Social Universal）」の構築は、2009年6月にフネス政権が上記開発計画に先立って発表した『経済危機対応グローバルプラン（Plan Global Anti-Crisis）』にも含まれており、人生の各ステージ²¹におけるリスクに対し、政府がセーフティネットとして基本的な社会保護フロア（Piso social básico）を提供することを目指している。

フネス政権の貧困対策プログラムでは、サカ前政権の貧困プログラムである、貧困マップに沿った『連帯プログラム（Red Solidaria）』を継続すると同時に、サカ前政

¹⁷ Banco Central de Reserva de El Salvador <http://www.bcr.gob.sv/esp/>

¹⁸ PQR p.51 平成22年4月14日付のJICA事務所資料（国家5ヶ年計画）のドナーへの概要説明会議メモの翻訳を引用。

¹⁹ 1) 包括的な社会保障システムと戦略的社会政策（Sistema de Protección Social Universal y las Políticas Sociales Estratégicas）、2) 開発振興金融システム（Sistema Financiero de Fomento para el Desarrollo）、3) 生産性向上のための開発戦略（Estrategia de Desarrollo Productivo）、4) マクロ経済と各セクターの公共政策（Políticas Públicas Macroeconómicas y Sectoriales）、5) 治安・民主共存・国際投入政策（Política de Seguridad, de Convivencia Democrática y de Proyección Internacional）、6. 戦略プログラム・プロジェクトへの公共投資（Inversión Pública en Programas y Proyectos Estratégicos）

²⁰ 1) 公平性、社会的包含、貧困削減（44%）、2) 経済再活性化（33%）、3) 持続的な開発（12%）、4) 治安（7%）、5) 特別開発分野（4%）

²¹ 幼児：0-4歳（人口の割合は9.7%）、子供：5-9歳（11.9%）、少年：10-14歳（12.3%）、青年：15-24歳（18.9%）大人：25-64歳（40.4%）、高齢者65歳以上（6.8%）

権が実施した「貧困マップ」²²に沿った支援を『農村の貧困対策プログラム (CSR: Comunidad Solidaria Rural)』として区別し、新たに都市部の貧困層を対象とする『都市の貧困対策プログラム (CSU: Comunidad Solidaria Urbana)』を加えた『コミュニティの連帯プログラム (Comunidad Solidaria)』を実施している。

農村の貧困対策プログラム (CSR)

フネス政権の CSR では、「貧困マップ」の中で「極めて深刻な貧困 (Pobreza Extrema Severa)」、「極めて重度な貧困 (Pobreza Extrema Alta)」として区分された自治体 100 市 (776,000~176,000 世帯) を対象としている。支援内容は、教育及び保健分野の補助金²³ (各世帯毎月 15~20 ドル) の交付、70 歳以上の高齢者に対する年金²⁴ (一人毎月 50 ドル) の支給、小規模農民を対象とした、生産技術及び販売の連鎖などの能力強化支援及び収入創出と生産性の向上に向けた開発支援である。

都市の貧困対策プログラム (CSU)

2007 年の人口センサスの結果によると、エルサルバドルの総人口は 5,744,113 人で、都市部の人口は 3,598,836 人である。都市部の人口は全人口の 62.7%を占めており、過半数が都市部に住んでいる。

2010 年に国連開発計画 (UNDP: United Nations Development Program) がラテンアメリカ社会科学大学院 (FLACSO: Facultad Latinoamericana de Ciencias Sociales) の協力を得て作成した「都市の貧困と社会的排除マップ (Mapa de Pobreza urbana y Exlución Social)」(以下、「都市の貧困マップ」)によると、エルサルバドルには全国で 2,508 カ所の「都市部のスラム地域 (AUP: Asentamiento Urbano Precario)」²⁵が存在している。AUP の総数は 495,981 世帯、約 200 万人で、都市部の世帯の 53.6%、もしくは都市部の人口の 55.7%に相当する²⁶。

CSU の支援対象は、「都市の貧困マップ」の中で「極めて深刻な貧困」(Pobreza Extrema)²⁷として区分された 25 市 (254,977 世帯、AUP 人口の 44%) である。CSU では、『一時的収入支援プログラム (PATI: Programa de Apoyo Temporal al Ingreso)』

²² 社会投資地域開発基金 (FISDL) が作成した「貧困マップ」(2005) では、自治体ごとに、所得率、非識字率、給水設備へのアクセスなどの指標の値を基本として、全 262 市の貧困レベルを 4 区分した。

²³ 5 歳以下の子供や妊婦のいる家庭には、保健手当として 1 家庭に毎月 15 ドル、6 年生まで終了していない 5~18 歳の子供のいる家庭には、教育手当として 1 家庭に毎月 15 ドル、5 歳以下の子供や妊婦のいる家族がいることに加え、6 年生まで終了していない 5~18 歳の子供のいる家庭には、保健と教育手当として 1 家庭に毎月 20 ドルを支給する。

²⁴ エルサルバドルの社会保障制度の適応は非常に限られている。年金の貯蓄システムに寄与している人々の割合は、全国民の 10%、経済活動に参加している人々の 28%であり、利用者は 2 万人程度である。農村において特にその適応の割合は低く、年金の恩恵を受けていない割合は 60 歳以上では 100 人に 97 人であり、貧困層の割合の約半分を占める (PQD40)

²⁵ 次節「2) 政府による指定貧困地域・集団」を参照。

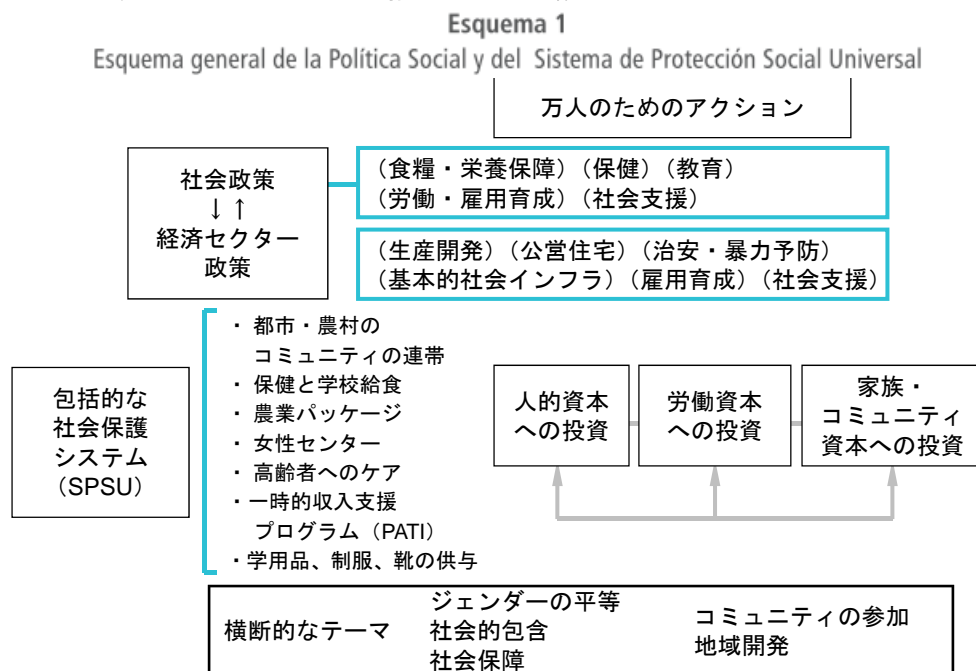
²⁶ Mapa de Pobreza urbana y Exlución Social (都市の貧困と社会的排除マップ) (2007) p.77

²⁷ 「都市の貧困マップ」では、貧困を多面的に測定する方法として、所得以外に「社会指標」、「社会排除指標」、「社会経済階層指標」を導入し、その総合指数を基に、AUP を 4 区分した。詳細は、IV.所得以外による分析の 3) 概況とトレンドを参照。

の実施を通じ、青少年と母子家庭の女性世帯主に対して、各市役所が6カ月のプロジェクト（月給100ドル）と職業訓練（パン製造、美容、調理、車両修理など）を提供する支援を実施した。

社会政策と包括的な社会保護システム（SPSU）の概要（2013年7月版）を以下に図示する。

図表 14 社会政策と包括的な社会保護システム（SPSU）の概要



Fuente: Secretaría Técnica de la Presidencia, Gobierno de El Salvador.

(出所) Secretaría Técnica de la Presidencia / El Camino del Cambio de El Salvador Legado de cuatro años de gestión (2013) p.38

図表 15 フネス政権の主要社会プログラムと受益者数

社会プログラム	受益者数					
	2008	2009	2010	2011	2012	2013
牛乳プログラム				250,000	499,819	800,000
学校給食プログラム		875,000	1,310,286	1,316,779	1,327,348	1,480,000
学用品・制服・靴の供与プログラム			1,377,113	1,385,767	1,386,767	1,386,767
一時的収入支援プログラム (PATI)			4,298	33,283	50,744	67,391
農村の連帯プログラム	83,654	105,824	98,378	90,997	73,128	81,315
都市部の教育補助金					3,865	7,000
包括的な基礎年金		6,487	8,019	15,300	25,511	29,085
軍人恩給					2,082	2,296
女性センター (Ciudad de Mujer)				35,614	82,874	152,313
農業パッケージ	436,998	563,350	463,825	419,597	486,904	580,590

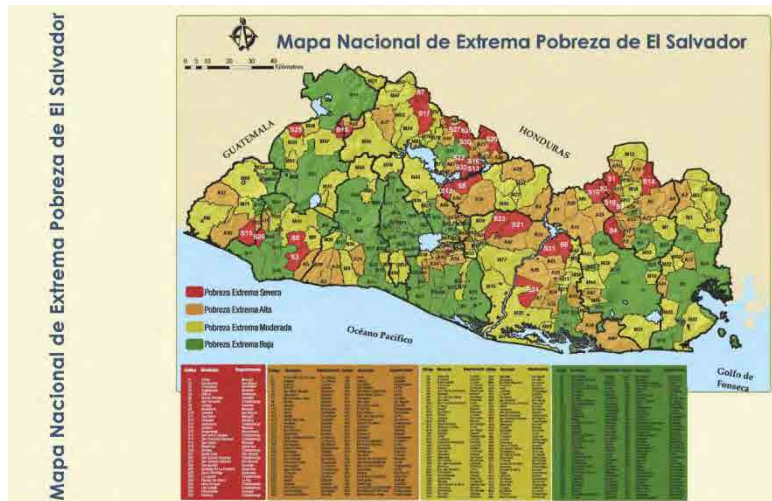
(出所) Secretaría Técnica de la Presidencia / El Camino del Cambio de El Salvador Legado de cuatro años de gestión (2013) p.88

2) 政府による指定貧困地域・集団

エルサルバドル国絶対的貧困マップ (Mapa Nacional de Extrema Pobreza de El Salvador)

「貧困マップ」は、全国の世帯の 5.4% を占める約 78,000 世帯²⁸ からサンプルを収集し、エルサルバドルの全 262 市を「極めて深刻な貧困 (Pobreza extrema severa)」32 市、「極めて重度な貧困 (Pobreza extrema alta)」68 市、「中程度の貧困 (Pobreza extrema moderada)」82 市、「軽度な貧困 (Pobreza extrema baja)」89 市に区分した。区分を色分けで表示した地図を、以下に示す。

地図 2 エルサルバドル国絶対的貧困マップ



(出所) Fondo de Inversión Social para el Desarrollo Local, Mapa de Pobreza de El Salvador (2005)

* 「極めて深刻な貧困」(赤)、「極めて重度な貧困」(オレンジ)、「中程度の貧困」(黄)、「軽度な貧困」(緑)

都市の貧困と社会的排除マップ (Mapa de Pobreza urbana y Exlución Social)

「都市の貧困マップ」では、50 戸以上の (質的に) 欠如している住居が密集している地域を「都市のスラム地域 (AUP)」として定義している²⁹。具体的には、壁、床、屋根などに低質かつ自然災害に耐えられない資材を使用している、自水・衛生・電気などの基本的社会インフラへのアクセスが悪い、車道及び歩道へのアクセスが不足している、住居の大きさが世帯人数に対して小さすぎる等と言った住宅指標や、貧困率に加えて、社会排除指標及び社会経済階層指標³⁰も定義の基本指標となっている。

AUP は、全国 2,508 カ所、262 市中 237 市に存在している。同マップでは、全 2,508 カ所の AUP を「極度」(Extrema) 486 地区 (19%)、「重度」(Alta) 789 地区 (32%)、「中度」(Moderada) 744 地区 (30%)、「軽度」(Baja) 489 地区 (19%) に区分した。

各地域の AUP 数は³¹、西部地域が一番多く、634 地区の AUP が存在している。中部地域は 550 地区、サンサルバドル首都圏は 514 地区、東部地域は 502 地区、中部

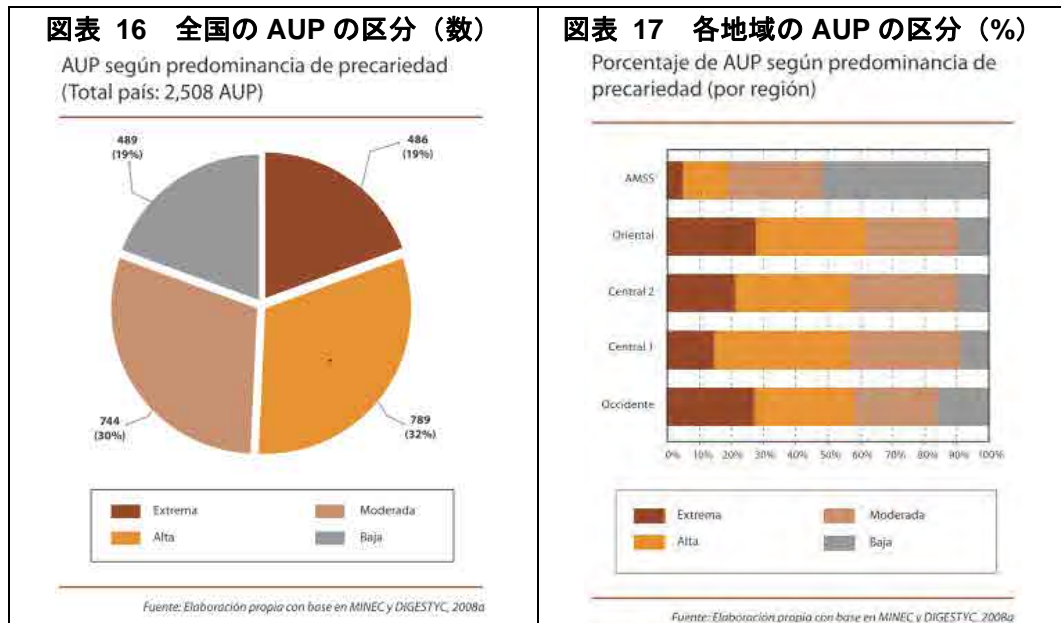
²⁸ Mapa de Pobreza Tomo I. Política Social y Focalización

²⁹ Mapa de Pobreza urbana y Exlución Social (都市の貧困と社会的排除マップ) p.39

³⁰ IV.所得以外による分析 3) 概況とトレンドを参照。

³¹ 都市の貧困と社会的排除マップ p.77

近郊地域は 308 地区となっている。サンサルバドル首都圏では、「極度」と「重度」に区分される AUP は約 20%であるが、東部地域 (62.15%)、西部地域 (58.51 %)、中部地域 (57.64%)、中部近郊地域 (56.81%) では、過半数を占めている。



(出所) UNDP-FLACSO (2010) / Mapa de Pobreza urbana y Exlución Social (都市の貧困と社会的排除マップ) p.81

(出所) UNDP-FLACSO (2010) / Mapa de Pobreza urbana y Exlución Social (都市の貧困と社会的排除マップ) p.89

図表 18 各県の AUP (都市のスラム地域) の状況

(AUP 数、AUP 世帯数、AUP 人口、都市部の人口、都市部の人口に対する AUP の人口の割合)

CUADRO 4.1 Asentamientos urbanos precarios por departamento

DEPARTAMENTO	TOTAL AUP	HOGARES EN AUP	POBLACIÓN EN AUP (A)	POBLACIÓN URBANA (B)	PORCENTAJE DE POBLACIÓN URBANA EN AUP (A/B)
Ahuachapán	158	27,520	112,628	134,925	83.50%
Santa Ana	241	50,718	197,979	332,650	59.5%
Sonsonate	235	45,994	193,270	261,348	74.9%
Chalatenango	66	8,617	35,357	64,148	55.19%
La Libertad	118	39,652	214,907	463,215	46.39%
San Salvador	585	156,724	622,046	1,462,999	42.5%
Cuscatlán	95	18,946	80,178	96,692	82.96%
La Paz	179	28,426	115,411	152,207	75.8%
La Unión	36	6,800	29,789	49,694	60.39%
San Vicente	93	14,370	59,969	78,157	76.7%
Usulután	196	32,082	127,144	165,143	77.0%
San Miguel	168	27,325	112,675	219,636	51.3%
Morazán	58	8,528	27,392	45,561	60.1%
La Unión	81	11,672	46,783	72,461	64.6%
Nacional	2,508	495,981	2,005,681	5,598,839	35.7%

Fuente: Elaboración propia con base en MINEC y DIGESTYC, 2008a

(出所) UNDP-FLACSO (2010) Mapa de Pobreza urbana y Exlución Social (都市の貧困と社会的排除マップ) p.79

III. 所得貧困による分析

1) 貧困ラインとデータ

エルサルバドルの経済省統計センサス総局（DIGESTYC: Dirección General de Estadística y Censos）は、「多目的世帯調査（EHPM: Encuesta de Hogares de Propósitos Múltiples）」を毎年実施している。2012年のEHPMでは、全国の都市部、農村部、サンサルバドル首都圏を含めた14県50市の17,568世帯からサンプルを収集した。

エルサルバドルで貧困が体系的な方法で測定されるようになったのは1991年以降である。貧困ラインは、「基礎食糧バスケット（CBA: Canasta Básica Alimentaria）」³²の金額を基準に設定されている。絶対的貧困（pobreza extrema）ラインは、個人もしくは世帯の所得が「基礎食糧バスケット（CBS: la canasta básica de alimentos）」以下、相対的貧困（pobreza relativa）ラインは、個人もしくは世帯の所得が「基礎食糧バスケット」の2倍以下と定義されている。

図表19に示すとおり、2012年のエルサルバドルの個人のCBSは、都市部では一月当たり46.8ドル、農村部では31.3ドルである。

世帯単位のCBSは、世帯の平均人数を、都市部では3.65人、農村部では4.20人として算出している。都市部の世帯の絶対的貧困ラインは170.9ドル、相対的貧困ラインは341.9ドル、農村部の世帯の絶対的貧困ラインは131.4ドル、相対的貧困ラインは262.8ドルとなる。

図表 19 1カ月当たりの一人分の基礎食糧バスケット（都市部・農村部）の推移（2000～2012年）（ドル）

	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012
都市部	31.5	31.6	31.7	31.9	33.0	35.1	35.1	38.4	44.8	44.3	45.1	49.1	46.8
農村部	20.4	20.2	19.7	19.9	21.3	22.5	22.5	25.1	29.1	27.9	27.8	33.9	31.3

（出所） EHPM (2012) p.130

2) 貧困状況－貧困率、貧困ギャップ率、ジニ係数

貧困率

図表20に示すように、2012年の世帯単位の所得を基本とした貧困率は、34.5%（都市部29.9%、農村部43.3%）、絶対的貧困率は8.9%（都市部6.5%、農村部13.6%）、相対的貧困率は25.6%（都市部23.4%、農村部29.8%）である。

³² CBAの内訳:パン(Pan Frances) トルティーヤ(Tortillas) コメ(Arroz) 肉(Garnes) 油(Grasas) 卵(Huevos) 牛乳(Leche Fluida) 果物(Frutas) 豆(Frijoles) 野菜(Verduras) 砂糖(Azucar) 個人に係る経費(Costo diario por persona)、毎月の経費(costos mensual por familia)。世帯の場合には、4.08人分の経費(Costo diario por familia de 4.08 miembros) 毎月の経費(costos mensual por familia)
<http://www.digestyc.gov.sv/index.php/servicios/en-linea/canasta-basica-alimentaria.html>

**図表 20 世帯所得を基本とした貧困率（全国・都市部・農村部）の推移
（2005～2012年）**

	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012
貧困	35.2	30.7	34.6	40.0	37.8	36.5	40.6	34.5
都市部	30.9	27.8	29.9	35.7	33.3	33.0	35.4	29.9
農村部	42.4	35.0	43.8	49.0	46.5	43.2	50.2	43.3
絶対的貧困	12.3	9.6	10.8	12.4	12.0	11.2	12.2	8.9
都市部	9.6	8.0	7.9	10.0	9.2	9.1	8.9	6.5
農村部	17.0	12.2	16.3	17.5	17.5	15.1	18.4	13.6
相対的貧困	22.8	21.1	23.8	27.6	25.8	25.3	28.3	25.6
都市部	21.3	19.8	22.0	25.7	24.1	23.9	26.5	23.4
農村部	21.3	22.8	27.5	31.5	29.0	28.1	31.7	29.8

（出所） HDR-ES (2013) p.326-331 Cuadro 14A Perfil de pobreza を基に作成

一方、個人の所得を基本とした貧困（者）率は、図表21に示すように、40.7%（都市部35.1%、農村部50.0%）、絶対的貧困率は11.3%（都市部8.0%、農村部17.0%）、相対的貧困率は29.4%（都市部27.2%、農村部33.0%）である。世帯所得を基本とした貧困率との比較では、個人の所得を基本とした方が貧困率は高い。

2014年2月に発表された、2013年10月時点での世帯所得を基本とした貧困率は28.9%（都市部25.3%、農村部35.9%）であり、さらに減少傾向にある。

**図表 21 個人所得を基本とした貧困率（全国・都市部・農村部）の推移
（2005～2012年）**

	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012
貧困	42.1	36.8	40.0	46.4	43.5	42.5	47.5	40.7
都市部	36.6	32.9	34.1	41.5	38.1	38.2	41.7	35.1
農村部	50.2	42.9	50.2	55.4	52.6	49.6	57.2	50.0
絶対的貧困	15.9	12.1	12.8	15.4	14.8	14.1	15.5	11.3
都市部	11.9	9.5	8.7	12.1	11.1	11.3	11.3	8.0
農村部	21.9	16.0	19.6	21.4	21.3	18.8	22.4	17.0
相対的貧困	26.1	24.8	27.3	31.0	28.6	28.4	32.0	29.4
都市部	24.7	23.4	25.4	29.3	27.0	26.9	30.4	27.2
農村部	28.3	26.9	30.6	34.0	31.4	30.8	34.8	33.0

（出所） HDR-ES (2013) p.326-331 Cuadro 14A Perfil de pobreza を基に作成

貧困ギャップ率

貧困ギャップ率は、貧困層の収入や支出が貧困ラインをどの程度下回っているかを示す指標であり、貧困の深さを示すために使われる。図表 22 に示すとおり、貧困ラインを1日1.25ドルとすると、2004年には貧困層の世帯平均収入は貧困ラインを6%下回っていた。2008年には2%まで縮小されたが、2009年には4%に悪化した。貧困ラインを1日2ドルとした場合では、2004年には貧困層の世帯平均収入は貧困ラインを10%下回っていた。2008年には5%まで改善されたが、2009年には8%に悪化した。

図表 22 貧困ギャップ率の推移 (2004~2009 年)

Year	04	05	06	07	08	09	10	11	12
Poverty gap at \$1.25 a day (PPP)	6	6	2	3	2	4	-	-	-
Poverty gap at \$2 a day (PPP)	10	10	5	6	5	8	-	-	--

(出所) World Data Bank / World Development Indicators El Salvador³³

ジニ係数

ジニ係数は、所得分配の不平等さを示す指標である。1~0 で示され、0 に近いほど平等に近い。図表 23 に示すとおり、エルサルバドルのジニ係数は 2009 年には 0.482 であったが、2012 年には 0.410 に低下し、持続的に改善している。

図表 23 ジニ係数の推移 (2009~2012 年)



(出所) EHPM (2012) p.22

以下の表は、世帯及び個人、都市部及び農村部ごとのジニ係数の詳細である。

図表 24 ジニ係数 (世帯・個人) (全国・都市部・農村部) の推移 (2005~2012 年)

	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012
全国 (世帯)	0.48	0.46	0.48	0.47	0.47	0.45	0.43	0.43
都市部 (世帯)	0.46	0.45	0.47	0.46	0.46	0.44	0.42	0.41
農村部 (世帯)	0.45	0.40	0.43	0.42	0.43	0.41	0.40	0.41
全国 (個人)	0.49	0.48	0.50	0.49	0.48	0.45	0.44	0.43
都市部 (個人)	0.47	0.46	0.46	0.45	0.45	0.42	0.41	0.41
農村部 (個人)	0.46	0.40	0.42	0.40	0.42	0.40	0.39	0.41

(出所) HDR-ES (2013) p.330 Cuadro 14A Perfil de pobreza

図表 25 に示すように、中南米諸国の 2006~2011 年のジニ係数を 1 に近い方から並べると、グアテマラ (0.585)、ホンジュラス (0.567)、ブラジル (0.559)、ドミニカ共和国 (0.558)、パラグアイ (0.546)、コロンビア (0.545)、パナマ (0.531) チリ (0.516)、コスタリカ (0.503)、メキシコ (0.481)、ニカラグア (0.478)、エクアドル (0.460)、エルサルバドル (0.454)、ペルー (0.452)、ウルグアイ (0.402)、ベネズエラ (0.397) の順となる。エルサルバドルのジニ係数は、中南米諸国の中では低い方に位置している。

³³ <http://data.worldbank.org/country/el-salvador>

図表 25 中南米諸国のジニ係数

Country	Year	GINI	Year	GINI
Argentina	1999	-	2011	-
Bolivia (Plurinational State of)	1999	0.586	2009	0.508
Brazil	2001	0.639	2011	0.559
Chile	2000	0.564	2011	0.516
Colombia	1999	0.572	2011	0.545
Costa Rica	1999	0.473	2011	0.503
Ecuador	1999	-	2011	0.460
El Salvador	2001	0.525	2010	0.454
Guatemala	2002	0.542	2006	0.585
Honduras	1999	0.564	2010	0.567
Mexico	2000	0.542	2010	0.481
Nicaragua	2001	0.579	2009	0.478
Panama	2002	0.567	2011	0.531
Paraguay	2001	0.558	2011	0.546
Peru	2001	0.525	2011	0.452
Dominican Republic	2002	0.537	2011	0.558
Uruguay	1999	-	2011	0.402
Venezuela (Bolivarian Republic of)	1999	0.498	2011	0.397

(出所) CEPAL / Anuario Estadístico de América Latina y el Caribe (2012)

1.6 Pobreza y distribución del ingreso / Poverty and income distribution

1.6.4 Índice de GINI, en áreas urbanas y rurales / GINI Coefficient, urban and rural areas

所得配分

エルサルバドルの所得配分に関する不平等の度合い³⁴は、図表 26 に示すように、1961年には、全階層の所得に対して貧困層下位 20%が占める所得の割合は 5.5%、富裕層上位 20%が占める所得の割合は 61.4%であったが、1979年には、貧困層下位 20%が占める割合は 2%に低下し、富裕層上位 20%が占める割合は 66%に拡大した。一方、1992年には、貧困層下位 20%が占める割合は 3.2%に増加し、富裕層上位 20%が占める割合は 54.3%に減少した。2012年には、貧困層下位 20%が占める割合は 4.9%、富裕層上位 20%が占める割合は 48.4%となっている。1970年以降、中間層（中程度以下の貧困層及び中程度以下の裕福層）が占める所得は拡大したが、最貧困層 20%の所得配分には変化は現れていない。

図表 26 各所得階層（4段階）による所得配分の割合の推移（1961～2012年）（%）

年度	最貧困層 20%	中程度以下の 貧困層 30%	中程度以上の 富裕層 30%	最富裕層 20%
1961	5.5	10.5	22.6	61.4
1969	3.7	14.9	30.6	50.8
1979	2	10	22	66
1992	3.2	13.8	28.7	54.3
2012	4.9	16.3	30.4	48.4

(出所) HDR-ES (2013) p.105

³⁴ HDR-ES (2013) p.104 Resultad 4: Elevados niveles de pobreza y de desigualdad en la distribución de ingreso.

また、図表 27 では、2008～2012 年の所得階層による所得配分の集計結果を示している。所得配分を 10 段階に区分（所得階層を最貧困層を 1、最裕福層を 10）しており、最裕福層は全所得の約三分の一を占めている。

図表 27 所得配分（10 段階）（2008～2012 年）

CUADRO H01
EL SALVADOR: DISTRIBUCIÓN PORCENTUAL DEL INGRESO POR
DECILES 2008-2012
TOTAL PAIS

DECILES	2008	2009	2010	2011	2012
1	1.65	1.66	1.76	2.02	1.96
2	3.06	3.03	3.18	3.44	3.46
3	4.08	4.05	4.26	4.47	4.62
4	5.21	5.17	5.46	5.59	5.49
5	6.35	6.41	6.78	6.79	6.87
6	7.70	7.79	8.26	8.19	8.38
7	9.49	9.51	9.97	9.93	9.88
8	12.09	11.97	12.50	12.33	12.34
9	16.66	16.23	16.65	16.40	16.07
10	33.71	34.18	31.18	30.84	30.94
Total	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00

FUENTE: MINISTERIO DE ECONOMIA, DIRECCION GENERAL DE ESTADISTICA Y CENSOS, ENCUESTA DE HOGARES DE PROPOSITOS MULTIPLES, 2012.

(出所) EHPM (2012) p.128

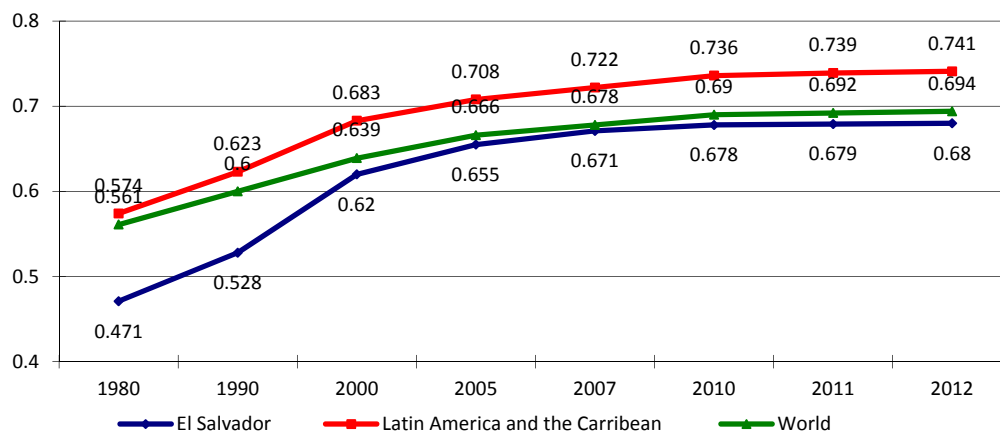
IV. 所得以外による分析

1) 人間開発指数³⁵のトレンド、地域・国際比較

図表 28 に示すように、2012 年のエルサルバドルの人間開発指数（HDI: Human Development Index）は 0.680 で、HDI 中位国に位置し、1980 年代以降、改善に向かってはいるが、2007 年以降は改善の伸びが鈍化傾向にある。また、図表 29 に示すように、エルサルバドルの HDI は、中南米諸国の平均である 0.741、中位国の平均である 0.694 よりも低い位置にある。

エルサルバドルの HDI のランクは、世界 185 カ国中 107 位で、中南米諸国の中では、96 位のドミニカ共和国（0.702）、108 位のボリビア（0.675）などが近い位置にある。

図表 28 人間開発指数の推移（1980～2012 年）



(出所) HDR (2013) p.148-151 のデータを基に作成

図表 29 人間開発指数の国別比較（中米諸国等）（2012 年）

	HDI rank	HDI Value	Life expectancy at birth	Mean years of schooling	Expected years of schooling	GNI per capita (2005PPP\$)
El Salvador	107	0.680	72.4	7.5	12.0	5,915
Guatemala	133	0.581	71.4	4.1	10.7	4,235
Belize	96	0.702	76.3	8.0	12.5	5,327
Honduras	120	0.632	73.5	6.5	11.4	3,426
Nicaragua	129	0.599	74.3	5.8	10.8	2,551
L.A and the Caribbean	-	0.741	74.7	7.8	13.7	10,300
Medium HDI	-	0.640	69.9	6.3	11.4	5,428
World	-	0.694	70.1	7.5	11.6	10,184

(出所) HDR (2013) p.142-147

* 中米諸国の中で、パナマとコスタリカは HDI 高位国、他の 5 カ国は HDI 中位国に区分されている。

³⁵ 0～1 で評価され、0.8 以上は高位 (High)、0.5～0.799 は中位 (Medium)、0.499 以下は下位 (Low)。

不平等調整済み HDI (Inequality Adjusted HDI) は、社会における平等・不平等の度合いを考慮に入れた上で、人間開発レベルを数値化した指標である。社会が完全に平等であれば、HDI と不平等調整済み HDI の値は等しい。健康、教育、所得に関して不平等が存在すれば、その社会で生きる人々の HDI の平均は、社会全体の HDI の指数より小さくなる。

図表 30 に示すとおり、エルサルバドルの 2012 年の不平等調整済み HDI は 0.499 で、HDI の 0.680 よりも下回り、ランクも 11 位下がる結果となっている。不平等による HDI の損失割合は全体で 26.6% (健康面 15.2%、教育面 32.4%、所得の分配面 31.1%) であり、中南米諸国の平均 25.7%、HDI 中位国の平均 24.2% より多い。

図表 30 不平等調整済み HDI の国別比較 (中米諸国等) (2012 年)

	Inequality -adjusted HDI	Inequality -adjusted HDI (%)	Difference from HDI rank	Inequality -adjusted life expectancy index (%)	Inequality -adjusted education index (%)	Inequality -adjusted income index (%)
El Salvador	0.499	26.6	-11	15.2	32.4	31.1
Guatemala	0.389	33.1	-3	18.6	36.1	42.5
Belize	-	-	-	12.2	-	-
Honduras	0.458	27.5	-3	17.4	28.2	35.8
Nicaragua	0.434	27.5	+1	13.9	33.3	33.6
L.A and the Caribbean	0.550	25.7	-	13.4	23.0	38.5
Medium HDI	0.485	24.2	-	19.3	30.2	22.7
World	0.532	23.3	-	19.0	27.0	23.5

(出所) HDR (2013) p.152-155

HDI の構成要素の変化を以下にまとめる。

図表 31 に示すとおり、出生時平均余命は、1992 年の 67.9 歳から 2012 年には 72.1 歳に上昇した。

図表 31 出生時平均余命 (1930~2012 年)



(出所) HDR-ES (2013) p.100

図表 32 に示すとおり、平均就学年数も、2005 年の全国平均 6.1 年から 2012 年には 6.7 年に改善され、就学予測年数³⁶においても、2005 年の 11.5 年から 2012 年には 11.8 年に増加した。就学予測年数は、中南米地域の平均 13.7 年にはまだ達していないが、世界の平均 11.6 年には届いている。

図表 32 平均就学年数及び就学予測年数の推移 (2005～2012 年)

年度	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012
平均就学年数	6.1	6.3	6.4	6.3	6.4	6.4	6.5	6.7
就学予測年数	11.5	11.5	11.8	11.7	11.7	11.7	11.8	11.8

(出所) HDR-ES (2013) p.283

図表 33 に示すとおり、一人当たり GNI (2005 年の PPP 基準) でも、2005 年の 4,936.52 ドルから 2012 年には 6,923.75 ドルに増加しており、HDI 中位国の平均を超えている。

図表 33 一人当たり GNI (2005 年 PPP 基準) (2005～2012 年)

年度	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012
一人当たり GNI	4,936.52	5,295.74	6,840.75	6,738.98	6,409.02	6,621.44	6,700.90	6,923.75

(出所) HDR-ES (2013) p.283

2) ミレニアム開発目標の概要・達成状況 (1990 年、2000 年、現状と目標値の比較) とトレンド

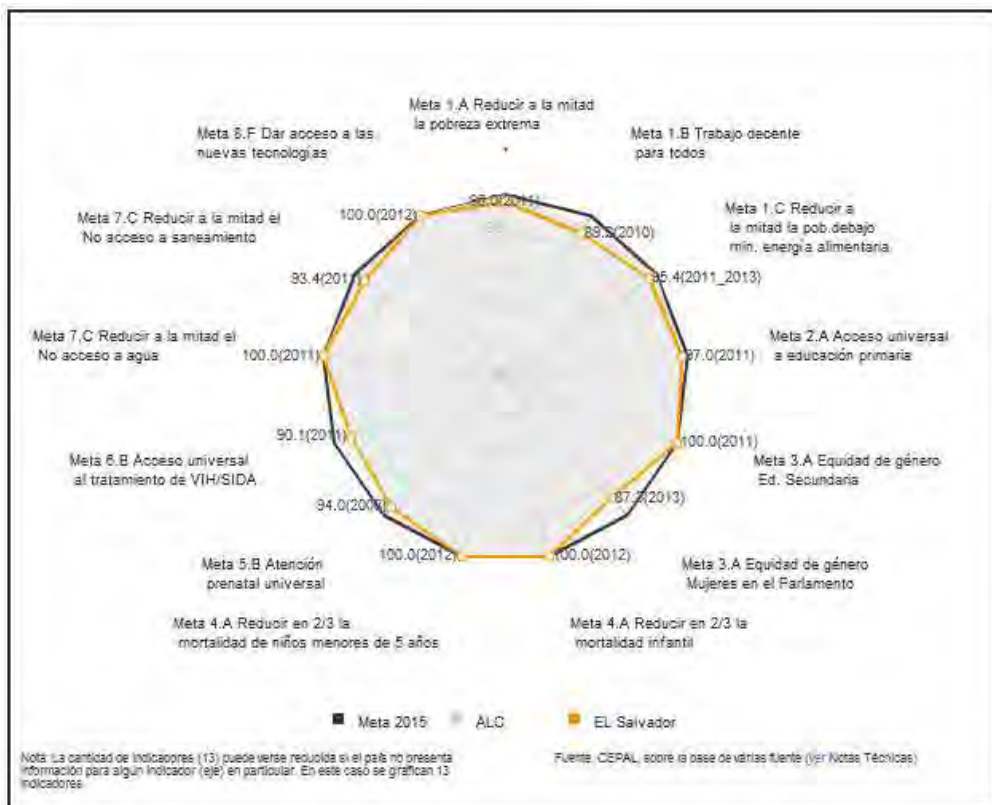
エルサルバドルにおける現在の MDGs の達成状況は、図表 34 に示すように、指標「3.1 初等・中等・高等教育における男子生徒に対する女子生徒の比率」、指標「4.1 5 歳未満児の死亡率」、指標「4.2 乳幼児死亡率」、指標「7.8 改良飲料水源を継続して利用できる人口の割合」、指標「7.9 改良衛生施設を利用できる人口の割合」、指標「8.14 人口 100 人当たりの電話回線加入者数」、指標「8.15 人口 100 人当たりの携帯電話加入者数」、指標「8.16 人口 100 人当たりのインターネット利用者数」は達成したが、指標「3.2 非農業部門における女性賃金労働者の割合」、指標「6.3 HIV/エイズに関する包括的かつ正確な情報を有する 15～24 歳の割合」などは、2015 年までの目標達成が困難と予想される。以下、MDGs の各目標の達成状況をまとめる。

37

³⁶ 新人間開発指数では、新しい HDI の測定方法が導入され、知識を得る機会に関し、1) 平均就学年数：現在の成人がこれまでに受けた教育年数の平均、具体的には 25 歳以上の人が生涯を通じて受けた教育の平均年数、2) 就学予測年数：就学年齢の子供がその後の生涯で受けると予測される年数、の 2 種類のデータを用いることになった。

³⁷ El Salvador Segundo Informe del País (2007)

図表 34 ミレニアム開発目標の達成状況



ゴール 1：極度の貧困と飢餓の撲滅

ターゲット 1.A 「2015 年までに 1 日 1.25 ドル未満で生活する人口の割合を 1990 年の水準の半数に減少させる」の指標「1.1 1 日 1.25 ドル (PPP) 未満で生活する人口の割合」は、1991 年の 17.1%から 2009 年には 9%に改善した。2008 年には世界的な経済危機の影響を受けて貧困率が再び増加したものの、全体的には改善に向かっており、達成が見込まれる。しかし、2010 年の中南米地域の平均は 5.5%であることから、さらなる削減が望まれる。

ターゲット 1.B 「女性、若者を含むすべての人々に、完全かつ生産的な雇用、そしてディーセント・ワークの提供を実現する」では、貧困が削減されても労働市場が活性化しなければその状況は一時的なものとなる。指標「1.7 総就業者に占める自営業者と家族労働者の割合」は、1999 年の 8.4%から 2001 年には 10.8%に増加したが、2009 年は 7.2%と減少に転じており、変化が殆ど見られないことから、達成は難しいと考えられる。

ターゲット 1C 「2015 年までに飢餓に苦しむ人口の割合を 1990 年の水準の半数に減少させる」の指標「1.8 低体重の 5 歳未満児の割合」は、2008 年には 6.6%を占めているが、1990 年代には統計が未整備であったことから、達成度を測ることは難しい。また、指標「1.9 カロリー消費が必要最低限のレベル未満の人口の割合」では、1991 年の 13%から 2001 年には 7%に減少した。2007 年には 9%に増加したが、概ね達成が見込まれる。

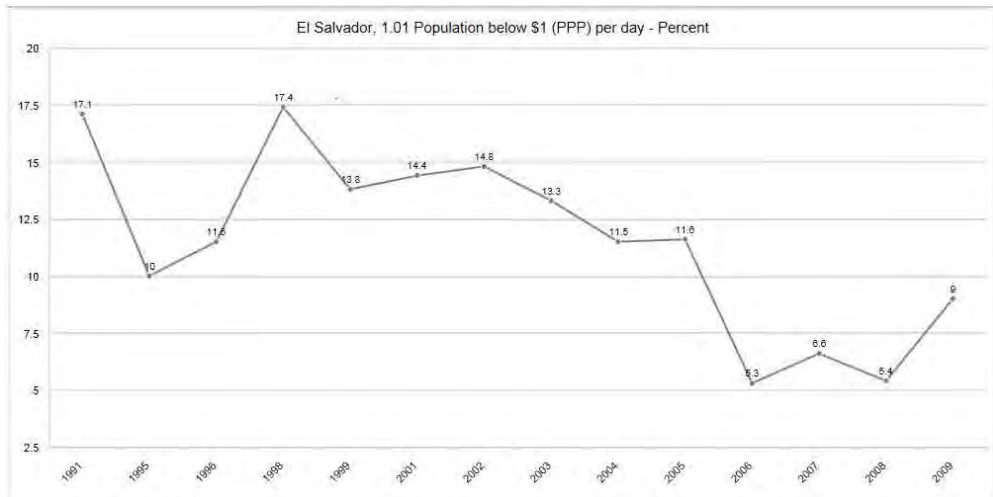
図表 35 ゴール 1 「極度の貧困と飢餓の撲滅」に係る指標結果

El Salvador

Indicator	Location	Age	Source	1991	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009
1.01 Population below \$1 (PPP) per day - Percent	Total		UNSD_MDG_2012 Global Monitoring Data	17.1	13.8		14.4	14.8	13.3	11.5	11.6	5.3	6.6	5.4	9
1.03 Share of poorest quintile in national consumption - Percent	Total		UNSD_MDG_2012 Global Monitoring Data	2.6	2.5		2.3	2.3	2.7	3.2	3	4.6	4.2	4.5	3.7
1.04 Growth rate of GDP per person employed - Percent	Total		UNSD_MDG_2012 Country Data		0.73	2.18	2.65	2.13	2.22	0.53	2.04	0.39	22	5.46	
1.05 Employment-to-population ratio - Percent	Total		UNSD_MDG_2012 Country Data		49	55.9	56	55	56.8	55.5	55.4	56.4	57	59	
1.06 Proportion of employed people living below \$1 (PPP) per day - Percent	Total		UNSD_MDG_2012 Country Data			9.7	10.6	11.2		8.4				3.8	
1.07 Proportion of own account and contributing family workers in total employment - Percent	Total		UNSD_MDG_2012 Country Data		8.4	7.9	10.8	9.1	8.7	7.7	9.8	9.3	6.7	6.7	7.2
1.08 Prevalence of underweight (moderate and severe) - Percent	Total	<5 yr	UNSD_MDG_2012 Country Data						6.1					6.6	
1.09 Undernourished population - Million	Total		UNSD_MDG_2012 Estimated	0.7			0.4							0.6	
1.09 Undernourished population - Percent	Total		UNSD_MDG_2012 Estimated	13			7							9	

(出所) <http://www.devinfo.org/libraries/asp/Home.aspx> (2014/2/24 アクセス)

図表 36 1日 1.25 ドル (PPP) 未満で生活する人口の割合の推移 (1991~2009 年)



(出所) <http://www.devinfo.org/libraries/asp/Home.aspx> (2014/2/24 アクセス)

ゴール 2 : 初等教育の完全普及の達成

ターゲット 2.A 「2015 年までに、すべての子どもが男女の区別なく初等教育の全課程を修了できるようにする」の指標「2.1 初等教育における純就学率」は、2010 年に 95.3%に達しており、2015 年までの達成が見込まれる。中南米地域³⁸でも 2011 年に 95.3%に達していることから、エルサルバドルは地域平均と同一である。

指標「2.2 第 1 学年に就学した生徒のうち初等教育の最終学年まで到達する生徒の割合」は、2015 年までに 100%を達成することは難しいと見られている。就学率の向上に関する要因は複雑であり、政府の奨励や教育の質の向上だけでなく、児童労働の問題や家事（水の確保など）による勉強時間の不足などの状況も影響する。

指標「2.3 15~24 歳の男女の識字率」は、2010 年に 96%に達している。

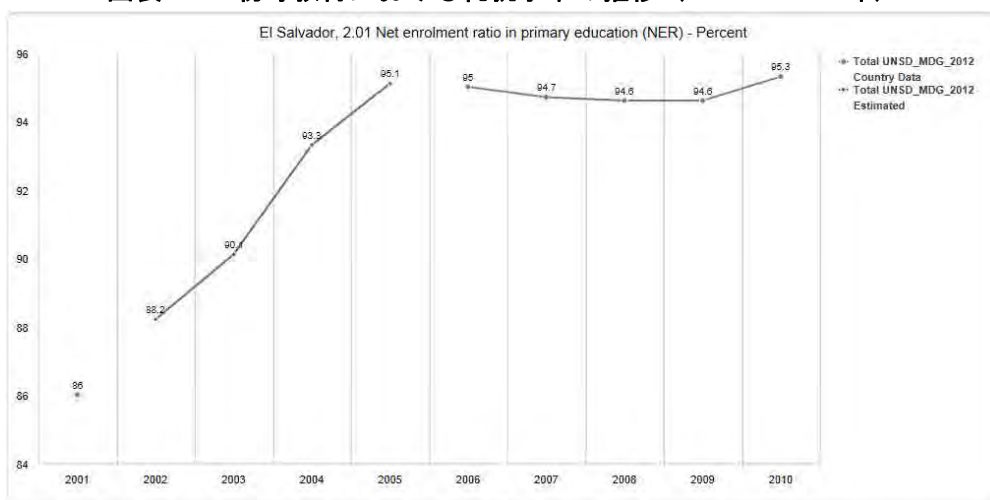
³⁸ (出所) Millennium Development Indicators: Country and Regional Progress

図表 37 ゴール 2 「初等教育の完全普及の達成」に係る指標結果

Indicator	Location	Source	1991	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010
			2.01 Net enrolment ratio in primary education (NER) - Percent	Total	UNSD_MDG_2012 Country Data			86					95	94.7
		UNSD_MDG_2012 Estimated				88.2	90.1	93.3	95.1					
2.02 Proportion of pupils starting grade 1 who reach last grade of primary - Percent	Total	UNSD_MDG_2012 Country Data		50.1	65.3	71.3			67.3	68.9	75.7	76.1	86.5	
		UNSD_MDG_2012 Estimated		64.1			69.6	66.4						
2.03 Literacy rate of 15-24 year-olds - Percent	Total	UNSD_MDG_2012 Country Data								95	93.6	96	95	96
		UNSD_MDG_2012 Estimated						89						

(出所) <http://www.devinfo.org/libraries/asp/asp/Home.aspx> (2014/2/24 アクセス)

図表 38 初等教育における純就学率の推移 (2001～2010 年)



(出所) <http://www.devinfo.org/libraries/asp/asp/Home.aspx> (2014/2/24 アクセス)

ゴール 3 : ジェンダー平等推進と女性の地位向上

ターゲット 3.A 「可能な限り 2005 年までに、初等・中等教育における男女格差を解消し、2015 年までにすべての教育レベルにおける男女格差を解消する」の指標「3.1 初等・中等・高等教育における男子生徒に対する女子生徒の比率」は、初等教育において 2007 年に男女の同率を達成し、中等・高等教育でも女子生徒の割合は男子生徒の割合を超えており³⁹、目標に達している。

指標「3.2 非農業部門における女性賃金労働者の割合」は、2002 年の 49.5%が最高であり、その後は殆ど変化が見られない為、達成は難しい。ただし、2011 年の中南米地域⁴⁰の平均 44.2%は若干超えている。指標「3.3 国会における女性議員の割合」は、1999 年の 16.7%から 2009 年には 19%に増加し、2013 年には 27.4%⁴¹に達したが、さらなる増加が期待される。

³⁹ 人口センサスによる男女の割合も反映されている。女性 3,024,742 人 (52.7%)、男性 2,719,371 人 (47.3%)

⁴⁰ (出所) Millennium Development Indicators: Country and Regional Progress

⁴¹ HDR-ES (2013) p.291

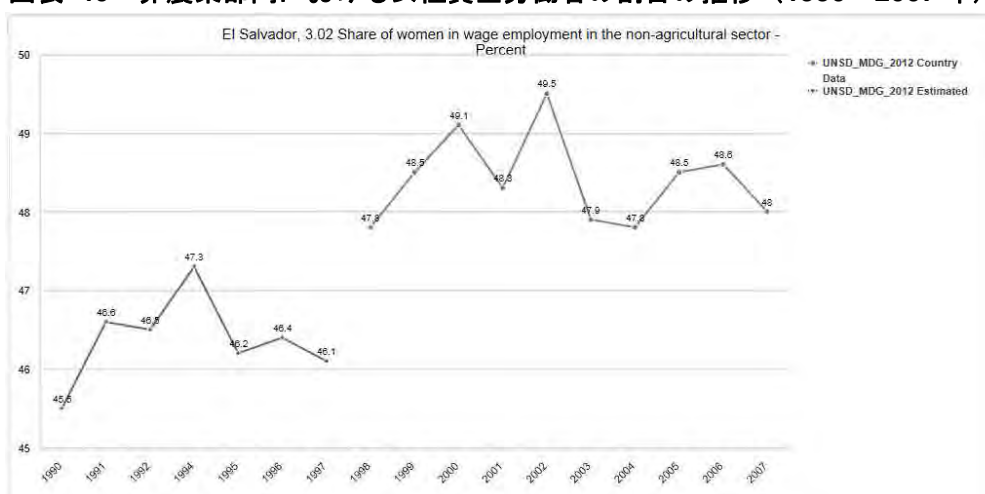
図表 39 ゴール 3 「ジェンダー平等推進と女性の地位向上」に係る指標結果

El Salvador

Indicator	UNSD_MDG_2012 Country Data														UNSD_MDG_2012 Estimated		
	1991	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	1991	2004
3.01 Gender Parity Index in primary level enrolment - Ratio	0.99	0.97	0.96	0.97	0.96	0.97	0.97	0.97	0.97	1	0.97	0.97	0.95				
3.01 Gender Parity Index in secondary level enrolment - Ratio	1.12	0.98	0.99	1	1	1.02	1.02	1.03	1.04	1.04	1.03	1.02	1.01				
3.01 Gender Parity Index in tertiary level enrolment - Ratio		1.17	1.14	1.13	1.14	1.12		1.16	1.17	1.18	1.17	1.16	1.16				1.14
3.02 Share of women in wage employment in the non-agricultural sector - Percent		48.5	49.1	48.3	49.5	47.9	47.8	48.5	48.6	48						46.6	
3.03 Seats held by women in national parliament - Number		14	14	8	8	8	9	9	9	14	14	16	16	16	16		
3.03 Seats held by women in national parliament - Percent		16.7	16.7	9.5	9.5	9.5	10.7	10.7	10.7	16.7	16.7	19	19	19	19		

(出所) <http://www.devinfo.org/libraries/asp/asp/Home.aspx> (2014/2/24 アクセス)

図表 40 非農業部門における女性賃金労働者の割合の推移 (1990~2007年)



(出所) <http://www.devinfo.org/libraries/asp/asp/Home.aspx> (2014/2/24 アクセス)

ゴール 4 : 乳幼児死亡率の削減

ターゲット 4.A 「2015 年までに 5 歳未満児の死亡率を 1990 年の水準の 3 分の 1 に削減する」の指標「4.1 5 歳未満児の死亡率」は、1991 年の 59%から 2010 年には 16%まで減少し、目標は達成された。中南米地域⁴²の平均では 2012 年に 18%に達していることから、地域平均とも同一である。

指標「4.2 乳幼児の死亡率」も、1991 年の 46%から 2010 年には 14%に減少し、目標は達成された。指標「4.3 はしかの予防接種を受けた 1 歳児の割合」も、1991 年の 54%から 2007 年には 99%に達した。

⁴² (出所) Millennium Development Indicators: Country and Regional Progress

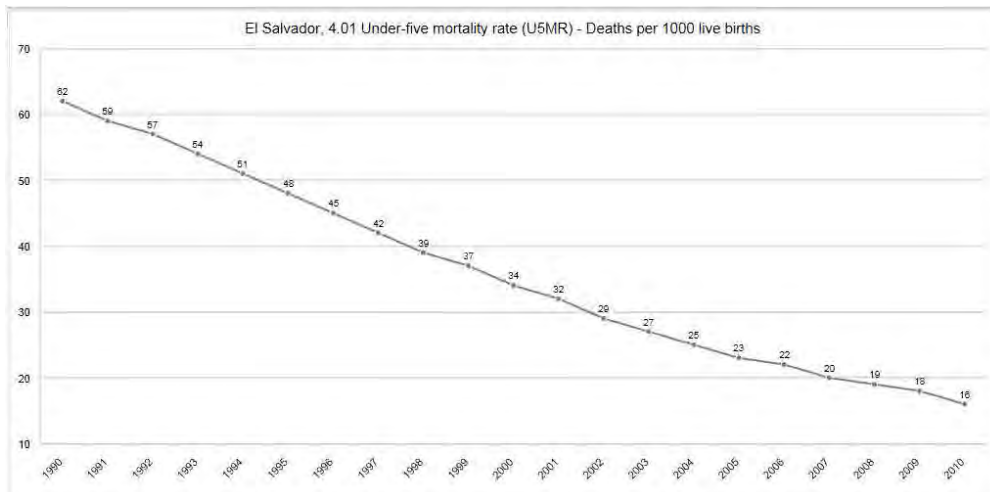
図表 41 ゴール 4 「乳幼児死亡率の削減」に係る指標結果

El Salvador

Indicator	1991	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010
4.01 Under-five mortality rate (U5MR) - Deaths per 1000 live births	59	34	32	29	27	25	23	22	20	19	18	16
4.02 Infant mortality rate (IMR) - Deaths per 1000 live births	46	28	26	25	23	21	20	19	17	16	15	14
4.03 Children 1 year-old immunized against measles - Percent	54	97	95	93	90	93	99	98	99	95	95	92

(出所) <http://www.devinfo.org/libraries/asp/Home.aspx> (2014/2/24 アクセス)

図表 42 5歳未満児の死亡率の推移 (1990~2010年)



(出所) <http://www.devinfo.org/libraries/asp/Home.aspx> (2014/2/24 アクセス)

ゴール 5 : 妊産婦の健康の改善

ターゲット 5.A「2015年までに妊産婦の死亡率を1990年の水準の4分の1に削減する」では、エルサルバドルでは、指標「5.1 妊産婦死亡率」に関する1990~2000年の統計は整備されておらず、統計方法にも問題があった。保健省では、全262市の15~49歳の出産期の女性を対象とした調査を行い、2005年6月~2006年5月までの目標値を10万人中71.2人、2006~2008年には57.1人、2015年には52.8人を達成するとしたが、2010年に既に51.8人になり、2012年には44.3人まで減少した⁴³。2010年の中南米地域の平均は80人であり、地域の平均以上を達成したことになる。指標「5.2 医師・助産婦の立ち会いによる出産の割合」は、2003年に95.5%に達している。

ターゲット 5.B「2015年までにリプロダクティブ・ヘルスへの普遍的アクセスを実現する」に関しては、妊産婦の死亡率を削減するためには、危険な妊娠（早期妊娠、望まない妊娠、更年期妊娠、病理学の予備知識、パートナーのいない妊娠など）を減らすため女性が家族計画に積極的に参加することが必要である。家族計画へのアクセスを測る指標は複数あるが、指標「5.3 避妊具普及率」に関しては、目標の80%に対し2008年には72.5%まで達した。また、指標「5.4 青少年期女子の出産率」は、

⁴³ Ministerio de Salud, Informe de Labores 2012-2013

目標とする数値は設定されていないものの、1991年の1,000人中104.9人から2007年には64.8人に減少している。指標「5.5 出産前のケアの機会」に関しては、「少なくとも1回」の健診は、2008年に94%が受けおり、達成が予想されるが、「少なくとも4回」の診断は、2008年にはまだ78.3%であるため、達成の可能性は少ない。

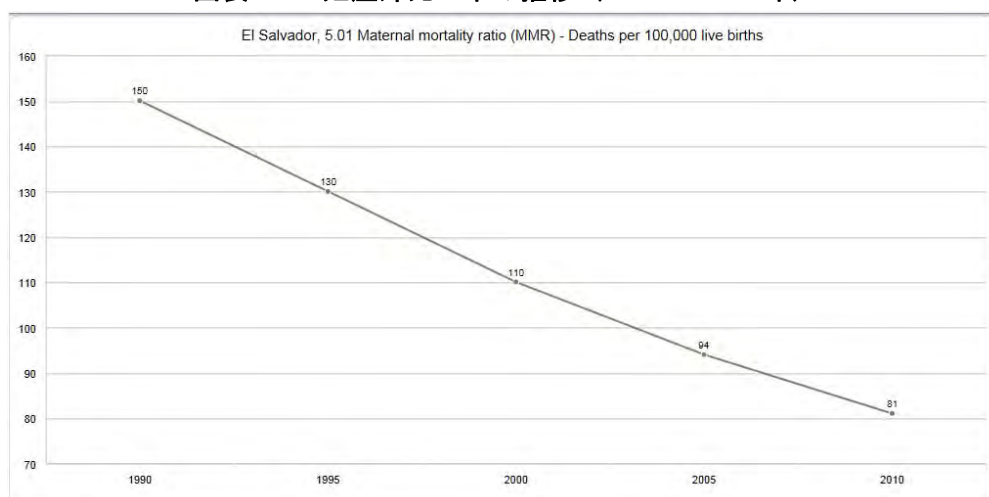
図表 43 ゴール5「妊産婦の健康の改善」に係る指標結果

El Salvador

Indicator	Sex	Location	Age	UNSD_MDG_2012 Country Adjusted										UNSD_MDG_2012 Country Data		UNSD_MDG_2012 Modeled		
				1991	1999	2001	2002	2003	2005	2006	2007	2008	2003	2008	2000	2005	2010	
5.01 Maternal mortality ratio (MMR) - Deaths per 100,000 live births		Total														110	94	81
5.02 Births attended by skilled health personnel - Percent		Total					92.4	95.5										
5.03 Contraceptive prevalence rate (CPR) - Percent	Female		15-49 yr										67.3	72.5				
5.04 Adolescent birth rate - Per 1,000 women		Total	15-19 yr	104.9	104.3	89.1	81.1	76.2	69.8	64.5	64.8							
5.05 Antenatal care coverage for at least four visits - Percent	Female		15-49 yr					71.2							78.3			
5.05 Antenatal care coverage for at least one visit (ANC) - Percent	Female		15-49 yr					86							94			
5.06 Unmet need for family planning - Percent		Total											8.9					

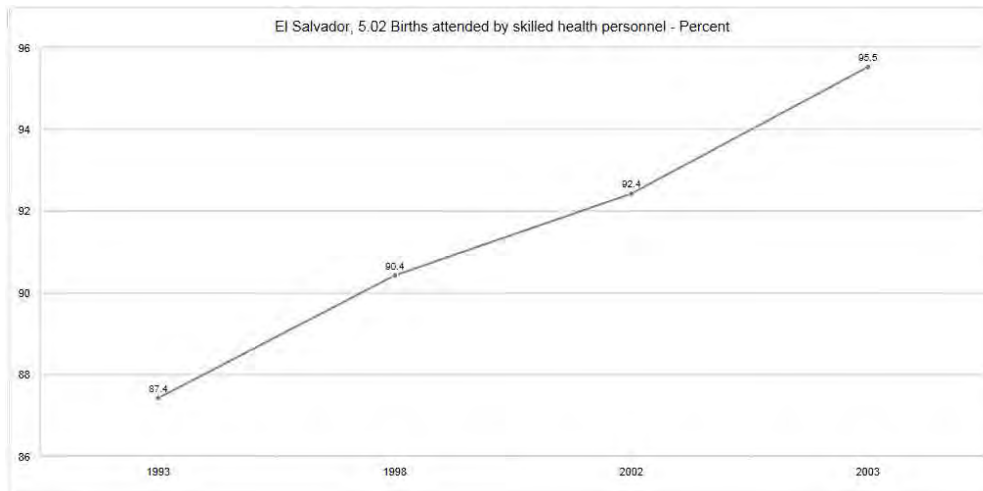
(出所) <http://www.devinfo.org/libraries/asp/Home.aspx> (2014/2/24 アクセス)

図表 44 妊産婦死亡率の推移 (1990~2010年)



(出所) <http://www.devinfo.org/libraries/asp/Home.aspx> (2014/2/24 アクセス)

図表 45 医師・助産婦の立ち会いによる出産の割合の推移（1993～2003 年）



(出所) <http://www.devinfo.org/libraries/asp/Home.aspx> (2014/2/24 アクセス)

ゴール 6 : HIV/エイズ、マラリア、その他の疾病の蔓延の防止

ターゲット 6.A「HIV/エイズの蔓延を 2015 年までに食い止め、その後減少させる」については、HIV/エイズに関する教育の不足が拡大防止の障害となっている。指標「6.1 15-24 歳の HIV 感染率」は、2001 年以降、0.8%から変化していない。

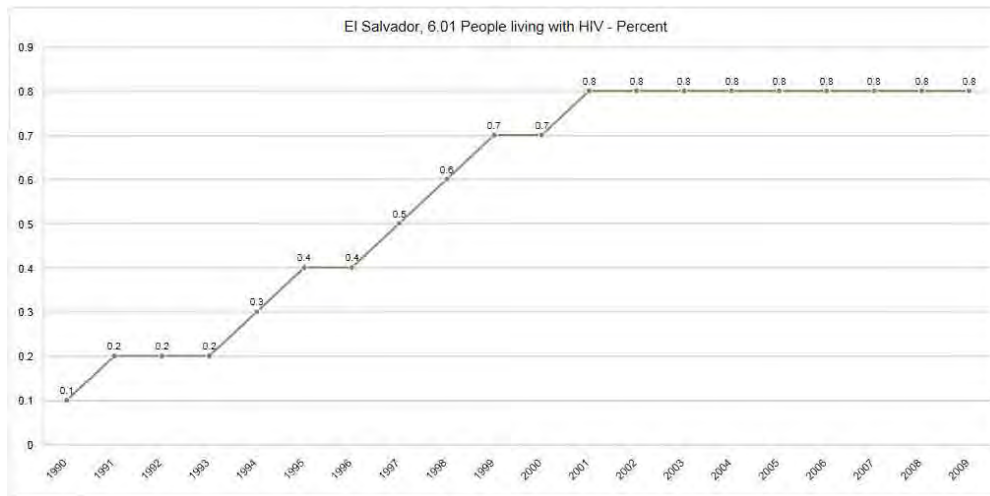
ターゲット 6.C「マラリア及びその他の主要な疾病の発生を 2015 年までに食い止め、その後発生率を減少させる」については、マラリアはほとんど撲滅されている。指標「6.9 結核の有病率及び結核による死亡率」は、結核の発病率は 1991 年の 10 万人当たり 61 人から 2010 年には 28 人に減少しており、有病率でも 89 人から 31 人に減少している。

図表 46 ゴール 6「HIV/エイズ、マラリア、その他の疾病の蔓延の防止」に係る指標結果
El Salvador

Indicator	Source	Total												
		1991	1996	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010
6.05 Proportion of population with advanced HIV infection with access to antiretroviral drugs - Percent	UNSD_MDG_2012 Estimated												94	59
6.06 Death rate associated with malaria - Per 100,000 population	UNSD_MDG_2012 Estimated												0	
6.06 Incidence of malaria - Per 100,000 population	UNSD_MDG_2012 Estimated												1	
6.09 Death rate associated with tuberculosis - Per 100,000 population	UNSD_MDG_2012 Estimated	4.1	2.3	2.6	2.2	2.4	1.6	2.1	1.9	1.2	2	1.6	1.1	0.9
6.09 Incidence of tuberculosis - Per 100,000 population	UNSD_MDG_2012 Estimated	61	42	37	36	38	33	32	39	34	33	32	30	28
6.09 Prevalence of tuberculosis - Per 100,000 population	UNSD_MDG_2012 Estimated	89	55	53	51	55	45	43	55	42	39	38	33	31

(出所) <http://www.devinfo.org/libraries/asp/Home.aspx> (2014/2/24 アクセス)

図表 47 15-24 歳の HIV 感染率の推移 (1990~2009 年)



(出所) <http://www.devinfo.org/libraries.aspx/Home.aspx> (2014/2/24 アクセス)

ゴール 7 : 環境の持続可能性確保

ターゲット 7.A 「持続可能な開発の原則を国家政策及びプログラムに反映させ、環境資源の損失を減少させる」ことは、エルサルバドルでは環境分野一般において体系的な調査が行われていなかったため、本 MDG の目標を設定することは難しい。

指標「7.1 森林面積の割合」に関するデータが整ったのは 2007 年である⁴⁴。このデータにより、エルサルバドルは中南米諸国の中でも最も伐採が進んでいる国という見解が明らかになった。2010 年の森林面積の割合は 13.9%であるが、都市化が進むエルサルバドルにとって、森林面積を拡大することは難しい。指標「7.3 オゾン層破壊物質の消費量」は相当量の排出が削減されている。1991 年の 425.7 トンから 2010 年には 11.5 トンに大きく減少し、目標を達成した。

ターゲット 7.B 「生物多様性の損失を 2010 年までに確実に減少させ、その後も継続的に減少させ続ける」の指標「7.6 保護対象となっている陸域と海域の割合」は、1991 年の 1.09%から 2012 年には 1.38%に改善したものの、微増に留まっており、達成は難しい。指標「7.7 絶滅危機に瀕する生物の割合」に関しても、エルサルバドルでは体系的なデータが整理されていないが、エルサルバドルの絶滅危機に瀕している生物は、国際自然保護連合 (IUCN: International Union for Conservation of Nature and Natural Resources) の分類において、脅威を表すレッドリストに入っていることから、目標を達成する見込みは難しいと考えられる。

ターゲット 7.C 「2015 年までに、安全な飲料水及び衛生施設を継続的に利用できない人々の割合を半減する」に関しては、安全な飲料水へのアクセス率では、1991 年の 74%から 2010 年には 88%、衛生設備へのアクセス率では 1991 年の 75%から 87%に改善され、目標値には概ね達しているが、飲料水と衛生設備は人間開発指標の一部

⁴⁴ El Salvador Segundo Informe del País / Sin excusas. . . Alcancemos los Objetivos de Desarrollo de Milenio en el 2015 Bases para el Plan de Cumplimiento P.39

であることから、更なる改善が期待される。特に衛生施設に関しては、浄化槽と簡易トイレなどの衛生施設は増加しているものの、汚水処理は3～5%しか行われていない。

図表 48 ゴール7「環境の持続可能性確保」に係る指標結果

Indicator	Source	1991	1996	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010
		Total	Total	Total	Total	Total	Total	Total	Total	Total	Total	Total	Total	Total
7.01 Land area covered by forest - Percent	UNSD_MDG_2012 Country Data			16					14.9					13.9
7.02 Carbon dioxide emissions - Kg CO2 per \$1 GDP (PPP)	UNSD_MDG_2012 Global Monitoring Data	0.1426	0.1865	0.1727	0.1714	0.1817	0.1734	0.1697	0.1732	0.1688	0.1569	0.1565	0.1469	
7.02 Carbon dioxide emissions per capita - Metric tons	UNSD_MDG_2012 Global Monitoring Data	0.5969	0.8452	0.9668	0.997	1.0086	1.0906	1.0559	1.0667	1.127	1.1354	1.0637	1.0227	
7.03 Consumption of all ozone-depleting substances - ODP metric tons	UNSD_MDG_2012 Country Data	425.7	318.5	107.7	121.2	108.1	105.2	81.1	138.7	84.9	51.4	25.4	11.9	11.5
7.06 Proportion of terrestrial and marine areas protected to total territorial area - Percent	UNSD_MDG_2012 Estimated	1.09	1.09	1.09	1.09	1.09	1.09	1.09	1.09	1.09	1.23	1.3	1.38	1.38
7.08 Proportion of population using an improved drinking water source - Percent	UNSD_MDG_2012 Estimated	74	79	82	83	84	84	85	86	86	87	87	87	88
7.09 Proportion of population using an improved sanitation facility - Percent	UNSD_MDG_2012 Estimated	75	80	83	83	84	84	85	85	86	86	87	87	87
7.10 Proportion of urban population in slum areas - Percent	UNSD_MDG_2012 Estimated								28.9					

(出所) <http://www.devinfo.org/libraries/asp/Home.aspx> (2014/2/24 アクセス)

ゴール8：開発のためのグローバルなパートナーシップの推進

ターゲット 8.F「民間部門と協力して、特に情報・通信における新技術による利益が得られるようにする」の指標「8.14 人口100人当たりの電話回線加入者数」では、1991年の2.4回線から2011年には15.25回線に大きく増加した。これは、90年代の電話会社の民営化によって通話価格が値下がりし、サービスへのアクセスが拡大したことが影響している。指標「8.15 人口100人当たりの携帯電話加入者数」は、2000年の12.52人から2011年には125.85人、指標「8.16 人口100人当たりのインターネット利用者数」は、2000年の1.18人から2011年には17.69人に増加した。

図表 49 ゴール8「開発のためのグローバルなパートナーシップの推進」に係る指標結果

El Salvador

Indicator	Source	Total												
		1991	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011
8.14 Telephone lines - Per 100 population	UNSD_MDG_2012	2.4	10.53	10.89	11.15	12.53	14.73	16.06	17.07	17.7	17.57	17.84	16.16	15.25
8.15 Cellular subscribers - Per 100 population	UNSD_MDG_2012	0	12.52	14.38	14.84	19.14	30.4	39.86	63.41	100.6	113.4	122.82	124.34	125.85
8.16 Internet users - Per 100 population	UNSD_MDG_2012		1.18	1.5	1.9	2.5	3.2	4.2	5.5	6.11	10.08	12.11	15.9	17.69

(出所) <http://www.devinfo.org/libraries/asp/Home.aspx> (2014/2/24 アクセス)

開発のためのグローバルなパートナーシップの推進として、エルサルバドル外務省はMDGs関連のプロジェクトを図表50のようにまとめている。これによると、ゴール1「極度の貧困と飢餓の撲滅」にプロジェクトが集中している。⁴⁶

⁴⁵ El Salvador Segundo Informe del País / Sin excusas. . . Alcancemos los Objetivos de Desarrollo de Milenio en el 2015 Bases para el Plan de Cumplimiento P.40

⁴⁶ プロジェクトのタイプ（有償／無償資金協力、技術協力など）は区別されていない。

図表 50 国際協力による MDGs 関連プロジェクト

ゴール	ターゲット	プロジェクト数
(1) 極度の貧困と飢餓の撲滅	(1A) 2015 年までに 1 日 1.25 ドル未満で生活する人口の割合を 1990 年の水準の半数に減少させる。	36
	(1B) 女性、若者を含むすべての人々に、完全かつ生産的な雇用、そして、ディーセント・ワークの提供を実現する。	39
	(1C) 2015 年までに飢餓に苦しむ人口の割合を 1990 年の水準の半数に減少させる。	20
(2) 初等教育の完全普及の達成	(2A) 2015 年までに全ての子どもが男女の区別なく初等教育の全課程を修了できるようにする。	15
(3) ジェンダー平等推進と女性の地位向上	(3A) 可能な限り 2005 年までに、初等・中等教育における男女格差を解消し、2015 年までにすべての教育レベルにおける男女格差を解消する。	30
(4) 乳幼児死亡率の削減	(4A) 2015 年までに 5 歳未満児の死亡率を 1990 年の水準の 3 分の 1 に削減する。	6
(5) 妊産婦の健康の改善	(5A) 2015 年までに妊産婦の死亡率を 1990 年の水準の 4 分の 1 に削減する。	7
	(5B) 2015 年までにリプロダクティブ・ヘルスへの普遍的アクセスを実現する	5
(6) HIV エイズ、マラリア、その他の疾病の蔓延の防止	(6A) 2010 年までに HIV/エイズの蔓延を 2015 年までに食い止め、その後減少させる。	16
	(6B) HIV/エイズの治療への普遍的アクセスを実現する。	4
	(6C) マラリア及びその他の主要な疾病の発生を 2015 年までに食い止め、その後発生率を削減させる。	6
(7) 環境の持続可能性確保	(7A) 持続可能な開発の原則を国家政策およびプログラムに反映させ、環境資源の損失を削減させる。	21
	(7B) 生物多様性の損失を 2010 年までに確実に減少させ、その後も継続的に減少させ続ける。	11
	(7C) 2015 年までに、安全な飲料水及び衛生施設を継続的に利用できない人々の割合を半減する。	15
	(7D) 2020 年までに、少なくとも 1 億人のスラム居住者の生活を改善する。	24
(8) 開発のためのグローバルなパートナーシップの推進	(8A) さらに開放的で、ルールに基づく、予測可能で差別的でない貿易および金融システムを構築する。	12
	(8B) 後発開発途上国の特別なニーズに取り組む。	8
	(8C) 内陸開発途上国および小島嶼開発途上国の特別なニーズに取り組む。	1
	(8D) 負債を長期的に持続可能なものとするために、国内及び国際的措置を通じて開発途上国の債務問題に包括的に取り組む。	3
	(8E) 製薬会社と協力して、開発途上国において人々が安価で必要不可欠な医療品を入手できるようにする。	1
	(8F) 民間部門と協力して、特に情報・通信における新技術による利益が得られるようにする。	10

(出所) <http://cooperacion.rree.gov.sv/portal/cooperation/MDGList.php> 2013/12 アクセス

3) 概況とトレンド

「都市の貧困と社会的排除マップ」では、貧困状況をさらに詳しく測るために、所得以外の貧困を測る指標として以下の指標⁴⁷が導入された。

- ・ 住居指標 (Indice de marginalidad residencial) : 5項目 (住居の外見、住居の床資材の不適切さ、住居の壁資材の不適切さ、住居の給水サービスの不適切さ、住居の衛生インフラの不適切さ)
- ・ 社会排除指標 (Indice de exclusión social) : 労働一般からの排除、転職もしくは自由な移動からの排除、(次世代に適応できる教育の不在などによる) 新時代の労働からの排除、人的資源育成からの排除、国が提供する基本的サービスからの排除
- ・ 社会経済階層指標 (Indice de Estratificación socioeconómica) : 住居の設備に関する補助的指数、家長の教育に関する補助指数

4) 食糧安全保障、脆弱性分析

図表 51 に示すとおり、エルサルバドルの穀物輸入依存度は 53.7% (2007~2009年) に達しており、中南米地域の平均 28.0%を大きく超えている。また、図表 52 に示すとおり、食糧輸入額は輸入総額の 26% (2007~2009年) を占めており、これも中南米地域の平均 6%を超えている。食糧価格の高騰は貧困層に大きな打撃を与えることから、政府は食糧生産の拡大を優先事項としている。

図表 51 穀物の輸入依存度の推移 (2000~2009年) (%)

Year	2000 -02	2001 -03	2002 -04	2003 -05	2004 -06	2005 -07	2006 -08	2007 -09
El Salvador	53.1	54.5	54.7	54.9	55.2	56.9	55.9	53.7
Latin America and the Carribean	28.9	27.7	26.8	26.5	28.1	29.6	28.8	28.0

(出所) FAO Food Security Indicators V5.1 Cereal Import Dependency Ratio

図表 52 全輸入品に対する食糧輸入の割合の推移 (2000~2009年)

Year	2000 -02	2001 -03	2002 -04	2003 -05	2004 -06	2005 -07	2006 -08	2007 -09
El Salvador	19	19	20	21	22	23	24	26
Latin America and the Carribean	8	8	7	6	6	5	6	6

(出所) FAO Food Security Indicators V 5.3. Value of Food Import in Total Merchandise Exports

政府の農業政策である『家庭農業計画 (Plan de Agricultura Familiar)』において、食糧保障は4つのプログラムの一つに挙げられており、262全市の575,000世帯を対象として、種と肥料の農業パッケージの配給、生産システムの改善技術の支援が行われ、また補完的に、家庭菜園、野菜農園、養鶏、灌漑システムと養殖などの支援が行

⁴⁷ 都市の貧困と社会的排除マップ p.52 p.63

われている。

エルサルバドルの食糧問題は農業用の土地不足とも関連している。図表 53 に示すとおり、農業用地は国土の 6.7% (2009~2011 年) であり、中南米地域の平均 13.1% の約半分である。

図表 53 農耕地の割合の推移 (2000~2011 年)

Year	2000 -02	2001 -03	2002 -04	2003 -05	2004 -06	2005 -07	2006 -08	2007 -09	2008 -10	2009 -11
El Salvador	6.6	6.5	6.5	6.5	6.8	7.0	7.0	6.8	6.7	6.7
Latin America and the Carribean	13.1	13.1	13.1	13.0	13.0	13.0	13.0	13.0	13.1	13.1

(出所) FAO Food Security Indicators V 5.3. Value of Food Import in Total Merchandise Exports

近年は、火山の噴火、ハリケーン、地震などの自然災害に加え、予想外の豪雨や早魃なども農業生産にネガティブな影響を及ぼしている (図表 54)。このため、政府は「食糧主権法案 (Anteproyecto por Soberanía Alimentaria)」(国家が輸入価格を決定することにより、農業セクターに与える国際市場のインパクトを減少させる) の成立を目指している。

図表 54 近年の自然災害による損害

年月	2009 年	2010 年 5 月	2011 年 10 月
災害	アイダ豪雨	アガサ豪雨	熱帯低気圧 12E
死亡人数	198	12	34
被害人数	122,000	120,000	500,000
避難人数	4,200	14,800	56,000
最大雨量	483mm	672mm	1,513mm
平均雨量	248mm	274mm	747mm
推定被害総額	US\$314.8 million (GDP1.4)	US\$112.1 million (GDP0.5%)	US\$902.4 (GDP4%)
農業被害	基本的穀物及びコーヒー (US\$27.5 million)	野菜・果物、基本的穀物 (US\$11.4 million)	野菜・果物、基本的穀物 (105.3 million)

(出所) Camino del Cambio (2012.5) p.24

図表 55 のとおり、エルサルバドル人の一人当たりの食糧供給は、1994 年の 2,393 キロカロリー/日から 2009 年には 2,574 キロカロリー/日に向上した。また、図表 56 のとおり、栄養失調の割合も、1990~1992 年の 15.6%から 2010~2012 年には 12.3%に減少したが、中南米地域では、1990~1992 年の 14.6%から 2010~2012 年には 8.3%まで減少している。

図表 55 一人当たりの食糧供給の推移（1994～2009 年）

El Salvador: Per capita food supply				
	Quantity [kcal/capita/day]			
	1994	1999	2004	2009
Food Supply	2393	2430	2581	2574

Source: FAOSTAT, FAO of the UN, Accessed on June 30, 2012.
<http://faostat.fao.org/site/368/default.aspx#ancor>

（出所） FAOSTAT

図表 56 全人口に対する栄養失調の割合の推移（1990～2012 年）

Year	1990-1992	1999-2001	2004-2006	2007-2009	2010-2012
El Salvador	15.6	9.2	10.6	11.3	12.3
Latin America and the Carribean	14.6	11.6	9.7	8.7	8.3

（出所） FAO: Food Security in the World 2012, Annex Table Annex 1 - Prevalence of undernourishment and progress towards the World Food Summit (WFS) and the Millennium Development Goal (MDGs) targets in developing countries を基に作成

V. 社会的属性、特性と貧困関連分析

1) 社会的被排除グループと貧困指数の関連性

「都市の貧困と社会的排除マップ」においては、社会的排除は貧困の同意語ではなく、さらに広い範囲に及ぶとしている。貧困層の社会的排除に関する指標としては、労働、教育、基礎サービスに対するアクセスなどが挙げられる。

図表 57 に示すとおり、2012 年の労働人口における就労者の割合は、貧困層では 90.1%、非貧困層では 95.8%であった。失業者の割合は、貧困層では 9.9%（絶対的貧困層 13.1%、相対的貧困層 8.9%）、非貧困層では 4.2%であった。

図表 57 総人口と労働人口の割合（貧困層・非貧困層）（2012 年）

	世帯数	総人口	労働人口			非労働人口	16歳以下の人口
			合計	雇用 ⁴⁸	失業		
総人口	100.0	100.0	100.0	93.9	6.1	100.0	100.0
貧困層	34.5	40.7	100.0	90.1	9.9	42.3	50.9
絶対的貧困層	8.9	11.3	100.0	86.9	13.1	12.0	15.5
相対的貧困層	25.6	29.4	100.0	91.1	8.9	30.3	35.4
非貧困層	65.5	59.3	100.0	95.8	4.2	57.7	49.1

（出所） EHPM (2012) p.43 Cuadro B04 El Salvador: Distribución de los hogares y población por condición de actividad económica, según sexo y condición de pobreza, Total País を基に作成

図表 58 に示すとおり、労働体系別による貧困層と非貧困層の割合は、経営者では貧困層 15.0%、非貧困層 85.0%、終身雇用者では貧困層 17.7%、非貧困層 82.3%を占めており、貧困層の割合は少ない。一方、一時雇用者では貧困層 41.7%、非貧困層 58.3%、家族労働者では貧困層 47.7%、非貧困層 52.3%となっており、貧困層と非貧困層の割合が入り混ざっている。

図表 58 労働体系別による割合（貧困層・非貧困層）（2012 年）

		職種								
		経営者	個人	組合	家族労働	終身雇用	一時雇用	見習い実習	家事使用人	その他
総人口	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
貧困層	31.1	15.0	40.6	-	47.7	17.7	41.7	27.8	31.3	39.1
絶対的貧困層	7.4	3.6	12.1	-	18.0	1.7	8.8	6.5	4.8	2.4
相対的貧困層	23.7	11.4	28.5	-	29.7	16.0	32.9	21.3	26.5	36.7
非貧困層	68.9	85.0	59.4	-	52.3	82.3	58.3	72.2	68.7	60.9

（出所） EHPM (2012) p.58 Cuadro B29 El Salvador: Ocupados por categoría ocupacional, según sexo y condición de pobreza, Total País を基に作成

⁴⁸ EHPM (2012) p.46、雇用（Ocupado）の定義には、給与もしくは報酬、賃金は支払われていない家族の労働も含まれる。

基本的なサービスの供給においては、電気、住居内外にある給水設備、住居内にあるシャワー、下水と直結したトイレ、ゴミ回収サービスと言ったすべての項目において、貧困層のアクセス率は非貧困層より低く、特に、住居内にあるシャワー及び下水と直結したトイレへのアクセス率の差では、非貧困層は 82.2%、貧困層は 17.8%と 4.6 倍の差になっている。

図表 59 基本的サービスの供給割合（貧困層・非貧困層）（2012 年）

	総人口	基本的サービス				
		電気	住居の内部および外部にある給水設備	住居の内部にあるシャワー	下水と直結したトイレ	ゴミ回収サービス
総人口	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
貧困層	34.5	30.3	30.0	17.8	19.1	23.7
絶対的貧困層	8.9	6.9	6.8	2.2	2.8	4.2
相対的貧困層	25.6	23.4	23.2	15.6	16.3	19.5
非貧困層	65.5	69.7	70.0	82.2	80.9	76.3

（出所） EHPM (2012) p.94 CuadroD04 El Salvador: Hogares por condicion de pobreza, según disponibilidad de servicios basicos, Total País を基に作成

2) その他の要因と貧困との関係性

ジェンダー

男女の貧困率の比較において、図表 60 に示すように、全国平均の貧困率は、男性の方が高い年と女性の方が高い年があることから、男女差は、ほとんどないと言える。しかし、都市部では貧困率は常に女性の方が高く、逆に農村部では男性の方が高い傾向にある。⁴⁹

図表 60 男女別貧困率（全国・都市部・農村部）の推移（2005～2012 年）

CUADRO 18A | Pobreza y mujer

	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012
Femenino								
Nacional	33.8	29.5	34.7	40.4	38.4	36.3	38.8	33.2
Urbano	32.3	28.8	31.5	38.8	36.9	35.2	36.0	30.8
Rural	37	30.9	42.1	44.7	42.1	39.1	45.4	39.0
Masculino								
Nacional	35.8	31.3	34.4	39.7	37.4	36.6	41.5	35.2
Urbano	30.2	27.3	28.5	33.9	31.3	31.6	35.1	29.3
Rural	44.7	37.3	44.8	50.8	48.3	45.0	52.2	45.2

（出所） HDR-ES (2013) p.338

⁴⁹ HDR-ES (2012) p.4

労働者の男女の賃金差については、男性の方が平均収入は高く、2012年の男性の月額平均給与は 324.55 ドル、女性は 281.65 ドルであり、男性の方が 42.90 ドル (15.23%) 高い。2009～2011年のデータについては、図表 61 のとおり。

図表 61 男女別雇用者の月額平均給与⁵⁰の推移 (2009～2011年)



(出所) EHPM (2012) p.16

貧困層の青少年の雇用を促進する政府の貧困プログラムである「一時収入支援プログラム (PATI)」は、特に女性世帯主を優先しており、参加者の 73%は女性である。また、「都市の貧困プログラム (CSU)」で提供している教育資金も女性を優先している。さらに、「農村のコミュニティ連帯プログラム (CSR)」の年金プログラムでも、52.1%は女性が裨益者となっている。

ジェンダー分野の社会問題としては、他の中南米諸国と同様に、エルサルバドルでも女性に対する暴力が問題として挙げられる。フネス政権では「女性を暴力から解放するための総合プログラム (Programa Integral para una Vida Libre de Violencia para las Mujeres)」が実施されている。

近年発足した社会的包含庁 (Secretaría de Inclusión Social) は、大統領プログラムとして、コロン市、ウスルタン市、サンタアナ市、サンマルティン市に「女性センター (Ciudad de mujer)」を開設し、女性の経済的自立、肉体的・性的な暴力に対する保護、リプロダクティブ・ヘルスの促進、教育を 4 本の柱とした支援を行っている。

民族

エルサルバドルでは、先住民族の服装及び言語などのアイデンティティを示す要素は表面的には消滅しており、先住民族とその文化は歴史的にも差別の対象となっている⁵¹。

⁵⁰ 給与から国民年金 (AFP: las Administradoras de Fondos de Pensiones) 及び社会保険 (ISS: Instituto Salvadoreño del Seguro Social) が取り除かれるので、手取りはさらに少なくなる。

⁵¹ HDR-ES (2012) p.52

VI. 貧困に影響を与えている国内外の要因

1) 短期・長期的要因、リスクとショック（経済、社会、環境、紛争等）

最低賃金⁵²

国家最低賃金委員会（Consejo Nacional de Salario Mínimo）は、2013年に最低賃金の段階的な値上げに合意し、大統領令 106 号の発布により、同年 7 月に 4%、2014 年 1 月に 4%、2015 年 4 月に 4%の最低賃金の値上げが決定された。

2014 年 1 月に行われた 2 回目の値上げの結果、1 カ月の最低賃金は、商業サービスセクターでは 242.20 ドル、マキラ（輸出保税加工）セクターでは 237.00 ドル、工業セクターでは 202.80 ドル、農業セクターでは 113.70 ドルに改定された。最低賃金の改定ではコーヒーとサトウキビの収穫と加工に対する賃金も反映され、収穫ではコーヒーが 123.90 ドル、サトウキビが 105 ドル、加工ではコーヒーが 164.40 ドル、サトウキビが 119.40 ドルに改定された。

図表 62 に示すとおり、2012 年の各世帯の月額平均所得は全国で 506.91 ドルであり、都市部では 594.47 ドル、農村部では 388.55 ドル、サンサルバドル首都圏では 672.82 ドルである。県別では、14 県のうちサンサルバドル県とラ・リベルタ県がそれぞれ 617.27 ドル、602.62 ドルで上位を占めており、モラサン県とアウアチャパン県はそれぞれ 391.58 ドル、376.34 ドルで下位を占めている。

図表 62 世帯・個人別月額平均所得⁵³（2012 年）

県名	月額世帯平均所得 (US\$)	月額個人平均所得 (US\$)
全国	506.91	132.06
サンサルバドル首都圏	672.82	187.97
都市部	594.47	162.83
農村部	338.55	80.63
アウアチャパン	376.34	91.31
サンタアナ	457.89	125.36
ソンソナテ	458.51	113.61
チャラテナンゴ	413.02	107.83
ラ・リベルタ	602.62	157.48
サンサルバドル	617.27	170.54
クスカトラン	441.34	105.66
ラ・パス	422.41	106.59
カバーニャス	416.24	94.46
サンビセンテ	427.08	109.60
ウスルタン	412.64	105.82
サンミゲル	462.08	119.42
モラサン	391.58	92.43
ラ・ウニオン	424.83	106.88

（出所） EHPM (2012)を基に作成

⁵² （出所）労働省

<http://www.lapagina.com.sv/nacionales/91288/2014/01/02/Entra-en-vigencia-segundo-aumento-del-4-al-salario-minimo>

⁵³ EHPM (2012) p.467によると、給与（Salario）と所得（Ingreso）の違いは、給与は定期的（隔週、毎週等）にサービスもしくは労働に対して支払われるが、所得はある一定の期間に支払われた金銭もしくは物品に加え、コミッション、リベート、借料、送金、家族手当、年金、利子、寄付、使用料なども含まれる。

図表 63 世帯別月額平均所得の推移（2000～2012年）（ドル）

	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012
全国	421.8	420.8	429.2	404.3	417.8	435.3	442.4	483.1	504.9	498.1	469.2	486.67	506.91
都市部	542.9	531.9	545.2	506.3	512.5	526.9	535.7	530.7	599.0	597.1	570.7	574.46	594.47
農村部	219.8	233.0	232.6	236.0	257.1	279.4	264.2	293.8	305.8	303.9	304.8	321.59	338.55

（出所） EHPM (2012) Canasta Básica Alimentaria p.130

2) 国特有の事項

移住

1992年に内戦が終結すると、国内では経済の再活性化が始まり、国外に避難していた人々の帰還も始まったが、就労及び生産活動機会の不足や政治的対立などが再び表面化すると、それまで国外移住したことの無い人々も、外国に期待を求めて国から去って行った。

移住者数は時代ごとに増加しており、図表 64 に示すように、1980年代には1970年代の1.73倍、1990年代には1980年代の2.07倍に増えた。2000年代は予測として、1990年代の1.7～4倍の増加が見込まれている。

図表 64 地域内外へのエルサルバドル人の移住の推移
（1970年代、1980年代、1990年代、2000年代）

Cuadro 1.1 Emigrantes salvadoreños intra y extrarregionales alrededor de 1970, 1980, 1990 y 2000

Emigrantes salvadoreños en el continente americano			
Década	Total	Dentro de Centroamérica	Fuera de Centroamérica
Setenta*	73,641	55,649	17,992
Ochenta*	127,450	27,344	100,106
Noventa*	519,314	35,313	484,001
Das mil*	887,000-2,750,000	63,000-85,000	817,000-2,680,000

Fuentes: * Maguid (1999; cuadros 1 y 5).

（出所） HDR-ES (2005) Informe sobre Desarrollo Humano El Salvador 2005 Una Mirada al Nuevo Nosotros. El impacto de las migraciones p.35

移住先は、中米域外へ移住する割合は70年代には移住者全体の24%程度に留まっていたが、80年代以降拡大し、90年代には93%を占めるようになった。近年の移住先は米国が90%以上を占め、カナダ（6%以下）、メキシコを含む中米域内（約3%）、オーストラリア（1%以下）、その他の地域（0.5%以下）となっている⁵⁴。

内戦以降の移住の増加要因⁵⁵としては、1996年以降の経済の低迷、低い農業生産性、

⁵⁴ HDR-ES 2005 p. 35

⁵⁵ HDR-ES 2005 p. 34

国際輸出品であるコーヒー価格の下落、1998年のハリケーンミッチ及び2001年の2度に渡る大地震などの自然災害、治安の悪化等が挙げられる。

政府の統計には、出生者数と死亡者数と並行して移住者数が記載されており、エルサルバドルの人口動向に関する政府の見解が示されている。2000～2005年には、移住者数が最大の339,705人に達している。

図表 65 5年毎の出生者数・死亡者数・移住者数の推定（1950～2050年）

Cuadro No. 27
El Salvador. Nacimientos y Defunciones y Migrantes Netos,
Estimados y Proyectados por Quinquenios,
1950-2050

5年毎	推定		移住者数
	出生者数	死亡者数	
1950-1955	542,354	239,628	-69,840
1955-1960	624,466	233,675	-50,520
1960-1965	715,096	233,390	-12,070
1965-1970	776,138	236,465	-42,580
1970-1975	835,787	245,716	-96,980
1975-1980	885,713	266,456	-192,600
1980-1985	870,257	281,416	-253,160
1985-1990	845,571	227,270	-288,400
1990-1995	839,296	192,528	-249,285
1995-2000	800,354	201,047	-383,760
2000-2005	655,654	204,678	-339,705
2005-2010	623,924	210,626	-279,710
2010-2015	629,890	220,237	-223,430
2015-2020	630,292	230,468	-167,640
2020-2025	625,141	240,724	-109,010
2025-2030	588,336	251,932	-59,890
2030-2035	558,402	266,507	-26,930
2035-2040	538,913	284,931	-10,520
2040-2045	528,625	306,058	-3,760
2045-2050	525,563	328,957	-1,080

(出所) Estimaciones y proyecciones nacionales de población 1950-2050 p.52

国際送金

エルサルバドルは中南米地域で5番目⁵⁶に大きな国際送金の受け取り国である。エルサルバドルが2012年に受け取った送金額は39億691万ドルであり、GDPの16.4%に相当する。

2012年には、全国1,628,106人、322,927世帯、平均19.82%の世帯が送金を受けており、農村部では24%、都市部では17.7%、サンサルバドル首都圏では12.2%である。図表67に示すように、送金の受取人は女性の方が高い。

受取世帯が30%以上を占める県は、ラ・ウニオン県(41.2%)、カバーニャス県(34.9%)、モラサン県(34.1%)、サンミゲル県(32.9%)である。世帯当たりの送金受取額では、最高はラ・ウニオン県の191.75ドル、最小はアウアチャパン県の133.47ドルである。送金は、消費及び住居、医療、教育などの基本的ニーズに使われている。送金を貯金に充てている世帯の割合は約2%である。⁵⁷

図表 66 送金受取世帯数の割合及び送金受取額（世帯・一人当たり）（2012年）

	総世帯数	送金受取世帯数	割合 (%)	世帯当たり送金受取額	一人当たり送金受取額
全国	1,628,106	322,927	19.8	172.77	45.06
サンサルバドル首都圏	485,947	59,277	12.2	181.09	50.59
都市部	1,071,082	189,333	17.7	179.15	49.03
農村部	557,024	133,594	24.0	163.74	40.03
アウアチャパン	80,367	10,572	13.2	133.47	33.16
サンタアナ	155,307	28,714	18.5	155.94	42.75
ソンソナテ	114,255	17,880	15.6	184.75	49.36
チャラテナンゴ	53,153	15,352	28.9	184.56	51.62
ラ・リベルタ	193,030	29,788	15.4	177.54	46.56
サンサルバドル	480,162	60,618	12.6	177.70	49.03
クスカトラン	59,506	9,387	15.8	173.37	43.13
ラ・パス	82,247	14,817	18.0	172.87	46.08
カバーニャス	37,406	13,061	34.9	184.90	40.82
サンビセンテ	44,264	12,712	28.7	179.29	43.96
ウスルタン	93,164	26,566	28.5	167.87	41.45
サンミゲル	123,024	40,529	32.9	159.65	41.62
モラサン	46,779	15,970	34.1	170.60	41.55
ラ・ウニオン	65,442	26,961	41.2	191.75	50.22

(出所) EHPM (2012)を基に作成

⁵⁶ BCR 2011 p.6 (1. メキシコ、2. グアテマラ、3. ブラジル、4. コロンビア、5. エルサルバドル)

⁵⁷ EHPM (2012) p.81

図表 67 県人口に対する送金受取人数の割合（男性・女性）（2007年）

県	合計	都市部	農村部	男性	女性
アウアチャパン	6.4	7.8	5.4	5.0	7.7
サンタアナ	11.4	10.3	13.3	9.2	13.3
ソンソナテ	6.5	7.9	4.4	5.1	7.8
チャラテナンゴ	18.0	17.0	18.5	14.3	21.2
リベルタ	7.8	8.1	7.1	6.2	9.3
サンサルバドル	7.9	8.2	4.3	6.3	9.2
クスカトラン	5.8	8.0	4.0	4.5	6.9
ラ・パス	7.3	8.2	6.3	5.8	8.6
カバーニャス	15.7	16.4	15.3	12.1	18.6
サンビセンテ	12.3	12.8	11.7	9.8	14.5
ウスルタン	13.4	14.1	12.7	10.7	15.8
サンミゲル	14.7	14.6	14.7	11.7	17.1
モラサン	12.7	13.7	11.9	10.0	14.5
ラ・ウニオン	22.8	10.1	24.0	19.3	25.7

（出所） UNDP Almanaque 262, Estado del desarrollo humano en las municipios de El Salvador (2009)

治安

エルサルバドルは中南米諸国の中で特に治安の悪い国の一つである。地域別 HDR (2013)⁵⁸によると、殺人率は、ホンジュラスが最高で年間殺人率は10万人中77.5人、エルサルバドルは65.5人である。

図表 68 に示すとおり、近年の殺人件数は、2011年の4,371件から2012年には2,576件に減少した。一日当たり殺人件数でも、2011年の12～14人から2012年には7.11人、2013年には6.83人と減少したが、2013年後半から2014年にかけて再び上昇している⁵⁹。

エルサルバドルで恐喝、強盗、殺人などを行っている暴力団 (Pandillas) は、家族、学校、コミュニティにも根を広げている。これら暴力団の存在は、エルサルバドルの社会問題（社会的機会の不足、移住（特に米国）による家族の別居、移住先での経験、内線の府の影響など）とも関係があるとされる⁶⁰。

⁵⁸ UNDP Informe Regional de Desarrollo Humano 2013-2014 Seguridad Ciudadana con Rostro Humano: diagnóstico y propuestas para América Latina

⁵⁹ <http://www.insightcrime.org/news-briefs/el-salvador-murders-fall-slightly-in-2013-but-rising-again>
http://www.elsalvador.com/mwedh/nota/nota_completa.asp?idCat=47859&idArt=8492987（新聞 El Salvador.com）

<http://www.laprensagrafica.com/2014/01/10/enero-2014-promedia-94-homicidios-al-dia>（新聞 La Prensa Grafica）（アクセス 2014/3/19）

⁶⁰ HDR-ES (2013) p.11

図表 68 県別年間殺人件数（2009～2012 年）

Cuadro 25

El Salvador, número de homicidios, 2009-2013

No.	DEPARTAMENTO	2009	2010	2011	2012	2013 (Contabilizado hasta el mes de Marzo)
1	San Salvador	1487	1350	1450	745	158
2	La Libertad	647	579	525	274	43
3	Sonsonate	460	404	293	233	37
4	Santa Ana	468	392	504	257	42
5	San Miguel	331	290	447	192	47
6	La Paz	157	190	221	156	47
7	Ahuchapán	158	151	111	98	26
8	Cuscatlan	105	121	141	89	26
9	Cabañas	67	73	164	62	17
10	Usulután	162	139	171	148	36
11	La Unión	122	121	83	129	39
12	San Vicente	108	68	138	86	14
13	Morazan	38	37	66	52	15
14	Chalatenango	72	91	57	55	10
	Totales	4382	4006	4371	2576	557

Fuente: Mesa Técnica constituida por Instituto de Medicina Legal, Policía Nacional Civil, Fiscalía General de la República

(出所) Secretaría Técnica de la Presidencia, El Camino del Cambio Legados de cuatro años de gestión (2013) p.191

犯罪と貧困の関係を、貧困率と犯罪発生率によって説明することは難しい。2010年のエルサルバドルとホンジュラスの貧困率はそれぞれ 46.6%と 67.4%、殺人率は10万人当たり 64.5人と 77.5人であり、両国ともに高い割合を示している。しかし、ボリビアやパラグアイでは貧困率はそれぞれ 42.4%、34.7%と高いながらも、殺人率は10万人当たり 15.5人、10.7人と低い。

また、2004年から2010年には、中南米地域のほとんどの国で貧困率が減少しており、ジニ係数も改善されている。しかし、犯罪の減少には必ずしも結び付いていない。2009年には、コスタリカとパラグアイのジニ係数は同じ 51であったが、パラグアイの盗難の割合が10万人当たり 18人に対し、コスタリカでは 397.6人で、その差は22倍であった。

エルサルバドルでは貧困率は徐々に減少しているものの、犯罪率（殺人率）は依然として高い割合を示している。高い犯罪率の要因は、暴力団（Pandillas）の強固な存在など、多くの問題が複雑に絡み合っている。

図表 69 中南米諸国における貧困層の割合と 10 万人当たりの犯罪率の比較 (2004 年、2008 年、2010 年)

Cuadro 2.2. Porcentaje de la población en pobreza y tasa de criminalidad por 100.000 habitantes, América Latina, 2004, 2008 y 2010

País	Cerca (2004)		Cerca (2008)		Cerca (2010)		Tasa media de cambio anualizada (2004-2010)					
	Población en pobreza	Tipo de delito	Población en pobreza	Tipo de delito	Población en pobreza	Tipo de delito	Pobreza	Robo	Homicidio			
		Robo Homicidio		Robo Homicidio		Robo Homicidio						
Argentina	34,9	1.031,5	6,2	973,3	5,8	8,6	-	-	-			
Bolivia	62,4	75,3	7,1	96,8	8	42,4	87,6	10,1	-5,34			
Brasil	36,4	-	20,6	25,8	-	24,9	-	15,3	-5,27			
Chile	13,7	361,3	2	457,9	2	11,5	409,4	2	-2,91			
Colombia	45,2	-	44	42,2	33	37,3	-	34	-3,79			
Costa Rica	21,1	847,6	6	16,4	895,6	11	18,5	397,6	11	-2,05		
Ecuador	48,3	-	47,7	-	-	39,1	-	-	-3,17			
El Salvador	48,9	95,1	46	47,9	102,5	51,9	46,6	86,8	64,5	-0,78	-1,45	6,7
Guatemala	54,8	73	36	30	65	46	30	62	41	-	-2,11	-2,31
Honduras	71,5	-	37	68,9	28,3	57,9	67,4	266,7	77,5	-0,96	-	18,24
México	35,3	499	8,1	39,8	615	13,1	363	680	13,8	-0,38	6,05	26,92
Nicaragua	61,9	397	8,1	-	591	9,1	58,3	489	9,1	-0,97	8,06	2,06
Panamá	31	44,2	9,6	27,7	48,7	18	25,8	56,9	21,2	-2,80	4,79	20,14
Paraguay	56,9	-	15	37,9	28,9	12,3	34,7	18,2	10,7	-6,50	-	3,56
Perú	48,7	156	5	36,2	149	11	21,3	192	9	-5,95	3,85	13,33
Rep. Dominicana	47,5	-	25	44,3	104,4	24	41,4	266	25	-2,14	-	0
Uruguay	17,7	251,4	5,7	13,7	319,9	6,6	8,4	410,5	6,1	-8,76	12,7	1,17
Venezuela	37,1	-	-	27,6	-	-	22,8	-	-	-4,18	-	-

(出所) Informe Regional de Desarrollo Humano (2013-2014)
Seguridad Ciudadana con rostro humano: diagnóstico y propuestas para América Latina PUND p.18

図表 70 中南米諸国における盗難とジニ係数の比較 (2009 年、2010 年)

Cuadro 2.3. Tasa de robos y Coeficiente de Gini, América Latina, 2009-2010

País	Tasa de robos 2009	Coeficiente de Gini 2009	Tasa de robos 2010	Coeficiente de Gini 2010
Argentina	ND	46	ND	44
Bolivia	86	ND	88	ND
Brasil	490,2	55	575,1	ND
Chile	545,5	52	475,4	ND
Colombia	ND	57	ND	56
Costa Rica	990,1	51	397,6	ND
Ecuador	ND	49	ND	49
El Salvador	102	48	87	ND
Guatemala	64	ND	62	ND
Honduras	339,1	57	266,7	ND
México	632	ND	680	47
Nicaragua	565	ND	489	ND
Panamá	51	52	57	52
Paraguay	18	51	18	52
Perú	167	49	192	48
Rep. Dominicana	282	49	266	47
Uruguay	ND	46	ND	45
Venezuela	254	49	224	45
Promedio *	323,1	50,8	260,5	48,5

(出所) Informe Regional de Desarrollo Humano 2013-2014 Seguridad Ciudadana con rostro humano: diagnóstico y propuestas para América Latina PUND p.19

また、エルサルバドルは、「国際競争力レポート 2013-2014」⁶¹において、**Business costs of terrorism** (131/148 位)、**Business costs of crime and violence** (142/148 位)、**Organized crime** (147/148 位) と極めて低い順位に位置している点が特徴であり、治安がエルサルバドルの経済活動・経済発展を阻害し、これが貧困削減にも負の影響を及ぼしているものと推察される。

⁶¹ 世界経済フォーラム「p. 174 El Salvador 1.13 Business costs of terrorism / 1.14 Business costs of crime and violence」http://www3.weforum.org/docs/WEF_GlobalCompetitivenessReport_2013-14.pdf

VII. 重点支援分野と貧困の関係性

エルサルバドルに対する援助重点分野は、以下のとおりである。

重点分野	開発課題	協力プログラム
経済の活性化と雇用拡大	地球開発のための産業基盤整備と生産性向上	東部地域開発
持続的開発のための環境保全	気候変動及び環境への対応	環境・衛生改善
		防災体制の強化
-	-	教育分野、保健分野、治安、ガバナンスの4分野

1) 各分野のインフラ、サービスへのアクセス状況

教育

図表 71 のとおり、エルサルバドルの教育施設数（2011 年）は、幼稚園 5,223 校（公立 4,416 校、私立 807 校）、小学校 5,461 校（公立 4,702 校、私立 759 校）、中学校 852 校（公立 519 校、私立 333 校）で、公立校の数は増加し続けている。

図表 71 教育施設数の推移（2005～2012 年）

CUADRO BA | Perfil de educación

	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012
Oferta de establecimientos escolares (número de escuelas)								
Educación preescolar								
Total	5 028	5 065	5 181	5 206	5 207	5 217	5 223	
Públicas	4 079	4 192	4 258	4 324	4 343	4 382	4 416	
Privadas	949	873	923	882	864	835	807	
Educación básica								
Total	5 527	5 542	5 573	5 537	5 518	5 504	5 461	
Públicas	4 608	4 714	4 707	4 712	4 714	4 722	4 702	
Privadas	918	828	866	825	804	782	759	
Educación media								
Total	725	761	713	652	657	684	652	
Públicas	419	464	540	505	521	549	619	
Privadas	310	297	373	348	336	335	333	

(出所) HDR-ES (2013) p.300

保健

フネス政権は法律に謳われている医療の無償化を再開し、保健人材及び各地域に貢献する第一次レベル（基本的医療）の医療施設の増大を強化している（図表 72）。また、保健分野の改革を通じ、コミュニティレベルの家族保健地域ユニット（USCF: Unidades Comunitarias de Salud familiar）が全国 692 カ所に増設されている（図表 73）。

図表 72 地域別医療施設数 (2013 年)

地域	第 1 次レベル (基本的医療)	第 2 次レベル (地域病院)	第 3 次レベル (専門病院)
サンサルバドル首都圏	34	4	3
中部近郊地域	28	6	-
中部地域	23	3	-
東部地域	46	9	-
西部地域	26	5	-
合計	155	27	3

(出所) MINSAL Informe de Labores (2012-2013) p.156

* 第 1 次レベル：基本的医療の提供、第 2 次レベル：地域及び県における内科、外科、小児科、婦人科を含んだ総合病院、第 3 次レベル：専門病院（レファラル病院）。

図表 73 家族保健地域ユニットの増加数の推移 (2009～2013 年)

Year	2009	2010	2011	2012	2013	Total
UCSF	377	106	141	52	16	692

(出所) MINSAL Informe de Labores (2012-2013) p.77

非識字率

10 歳以上の非識字率の全国平均は 12.4% である。東部地域の非識字率は非常に高く、ラ・ウニオン県の非識字率は最高位の 23.7% を占めている。教育水準は貧困の重要な要因でも結果でもある。

地図 3 10 歳以上の非識字率マップ

Mapa 1

El Salvador: Tasa de analfabetismo de la población de 10 años y más por departamento EHPM – 2012

DEPARTAMENTO	TASA
San Salvador	6.3
La Libertad	10.5
Cuscatlán	10.8
La Paz	12.6
Santa Ana	12.8
Sonsonate	13.8
San Vicente	14.4
Usulután	15.8
Ahuachapán	16.2
Chalatenango	17
San Miguel	18.2
Cabañas	18.5
Morazán	21.4
La Unión	23.7



(出所) EHPM (2012) p. 6

2) 貧困との関係性

東部地域開発プログラム

県別の貧困世帯率に関しては、貧困層の世帯数が 40%以上を占める県は、西部地域のアウアチャパン県 (48.7%)、中部近郊地域のカバーニャス県 (48.0%)、サンビセンテ県 (42.8%)、東部地域のモラサン県 (45.5%)、ウスルタン県 (43.3%)、絶対的貧困層の世帯数が 15%以上を占める県は、西部地域のアウアチャパン県 (16.3%)、中部近郊地域のカバーニャス県 (17.7%)、東部地域のモラサン県 (15.1%) である。

また、貧困層が 50%以上を占める県は、西部地域のアウアチャパン県 (50.0%)、中部近郊のカバーニャス県 (54.6%)、東部地域のモラサン県 (53.1%) である。絶対的貧困層が 15%以上を占める県は、西部地域のアウアチャパン県 (20.0%)、カバーニャス県 (20.5%)、チャラテナンゴ県 (20.5%)、クスカトラン県 (16.7%)、東部地域のラ・ウニオン県 (15.9%)、モラサン県 (19.4%)、ウスルタン県 (15.8%) である。

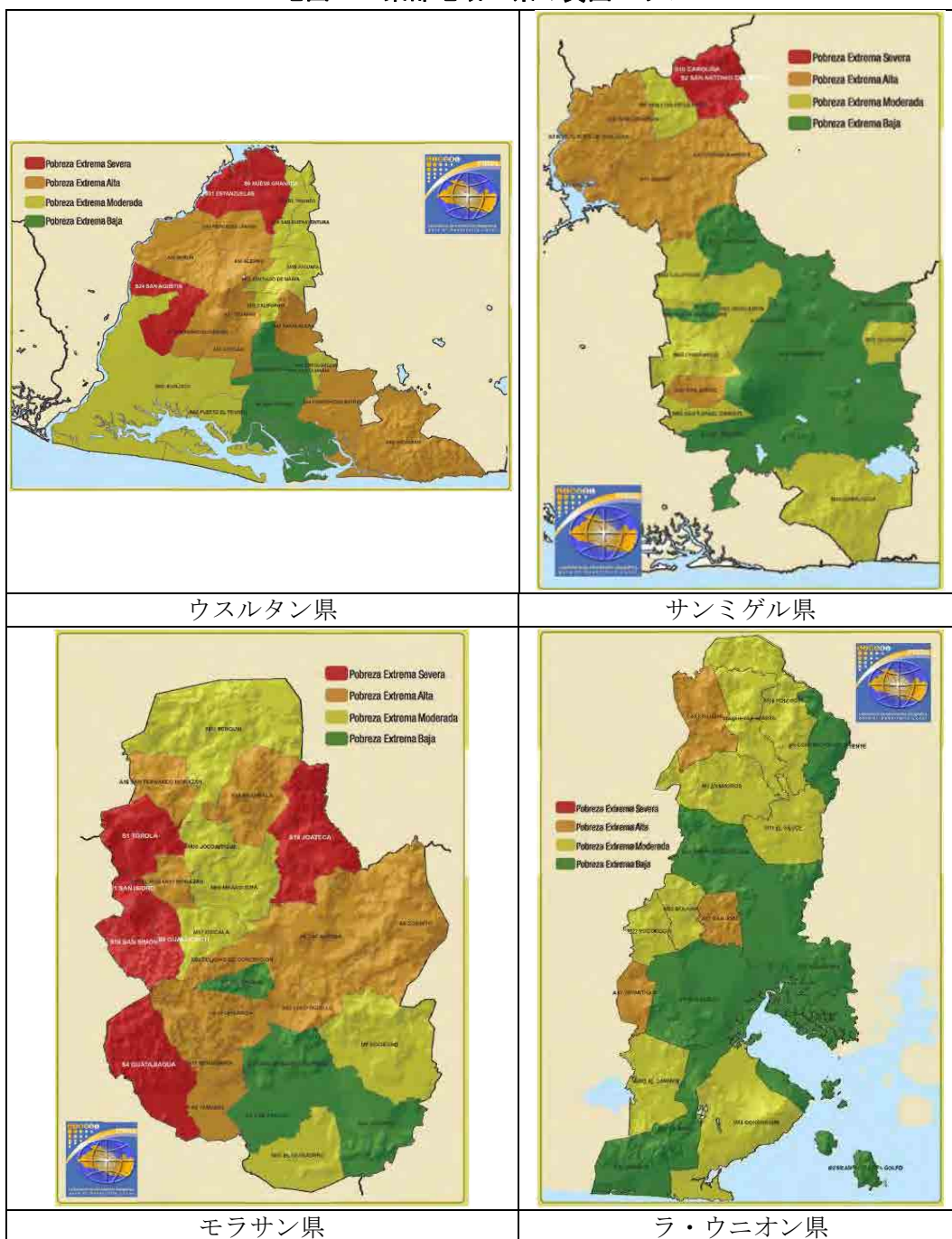
CBA を基準とした貧困率によると (図表 74)、東部地域 4 県は、貧困度が比較的高いが、貧困ライン以下の世帯や人口が特に東部地域に集中している訳ではなく、東部 4 県の「貧困マップ」からも、地図 4 に示すように、「極めて深刻な貧困」や「極めて重度な貧困」に区別される自治体は集中していないが、HDI の観点 (HDI 旧指数及び新指数) からは、図表 75 に示すように、モラサン県及びラ・ウニオン県は最下位の指数を示しており、ウスルタン県及びサンミゲル県も下位に属している。

図表 74 県別貧困プロファイル (CBA 基準) (2012 年)

	世帯			人口		
	世帯貧困 ライン以下	絶対的貧困 世帯の割合	相対的貧困 世帯の割合	貧困ライン 以下	絶対的貧困 層の割合	相対的貧困 層の割合
全国	34.5	8.9	25.6	40.7	11.3	29.4
アウアチャパン	48.7	16.3	32.4	54.0	20.0	34.0
カバーニャス	48.0	17.7	30.2	54.6	20.5	34.1
チャラテナンゴ	38.1	12.7	25.5	45.0	16.7	28.3
クスカトラン	37.0	10.4	26.6	41.2	12.0	29.3
ラ・リベルタ	31.0	7.3	23.7	36.5	9.2	27.2
ラ・パス	39.5	10.7	28.8	45.2	13.2	32.0
ラ・ウニオン	38.7	12.5	26.2	45.9	15.9	30.0
モラサン	45.5	15.1	30.4	53.1	19.4	33.7
サンミゲル	36.9	11.3	25.6	43.9	14.3	29.6
サンサルバドル	24.9	4.1	20.8	29.5	4.9	24.7
サンビセンテ	42.8	10.6	32.2	48.5	12.7	35.6
サンタアナ	34.6	7.9	26.8	42.1	10.1	32.0
ソンソナテ	39.9	11.9	28.8	46.8	14.0	32.8
ウスルタン	43.3	12.5	30.8	49.1	15.8	33.3

(出所) HDR-ES (2013) p.330

地図 4 東部地域 4 県の貧困マップ



(出所) FISDL 貧困マップ (2005)

* 貧困レベル及び色分け区分についての説明は地図 2 を参照。

図表 75 県別貧困プロフィール (HDI 基準) (2012 年)

	新人間開発指数		旧指標による人間開発指数
全国	0.672		0.767
サンサルバドル	0.714	サンサルバドル	0.812
ラ・リベルタ	0.693	ラ・リベルタ	0.790
サンビセンテ	0.661	クスカトラン	0.763
サンタアナ	0.653	ラ・パス	0.760
ソンソナテ	0.652	サンタアナ	0.760
クスカトラン	0.642	サンビセンテ	0.759
ウスルタン	0.640	ソンソナテ	0.756
チャラテナンゴ	0.637	サンミゲル	0.747
サンミゲル	0.637	チャラテナンゴ	0.744
ラ・パス	0.633	ウスルタン	0.743
アウアチャパン	0.609	アウアチャパン	0.739
カバーニャス	0.600	カバーニャス	0.718
ラ・ウニオン	0.598	モラサン	0.715
モラサン	0.594	ラ・ウニオン	0.712

(出所) HDR-ES (2013) p.284-285

その他の貧困を測る指標として、県別の住居基礎インフラを見ると (図表 76)、住居に水道が導入されている割合は、ラ・ウニオン県が最下位の 57.54%であり、その他の東部地域の 3 県も全国平均を下回っている。電力に関しても、電化率が 80%代に限られている 4 県の中に、東部地域の 2 県 (モラサン県、ラ・ウニオン県) が入っている。

また、住居の壁資材に耐久性のある混合資材を使用している割合では、モラサン県が 46.02%で最下位にある。また、アドベ壁が 30%以上を占める 4 県中に、東部地域の 2 県 (ラ・ウニオン県、モラサン県) が入っている。

さらに、ラ・ウニオン県は、衛生設備へのアクセス率でも最下位の 84.27%にあるなど、東部地域の生活基礎インフラの不足が顕著である。

図表 76 県別住居基礎インフラ（水道・電気・壁・床・衛生設備）（2012年）

	水道	電力	混合資材壁	アドベ壁	土間	衛生設備
全国	75.91	93.65	73.22	15.32	18.73	96.47
都市部	85.88	97.82	85.05	7.93	9.19	99.45
農村部	56.72	85.62	50.46	29.54	37.08	90.76
アウアチャパン	66.43	80.44	53.06	32.28	43.07	96.27
サンタアナ	71.37	93.76	63.77	29.48	21.2	95.83
ソンソナテ	66.99	87.19	67.39	11.46	28.84	96.93
チャラテナンゴ	82.38	94.62	52.37	44.29	18.96	94.92
ラ・リベルタ	81.81	95.04	78.50	10.55	15.1	98.65
サンサルバドル	89.99	98.19	90.58	2.86	5.89	99.54
クスカトラン	76.53	93.08	58.55	26.55	23.20	98.48
ラ・パス	60.35	93.58	78.59	6.37	17.19	97.35
カバーニャス	69.25	94.89	59.82	29.37	25.84	87.01
サンビセンテ	74.85	94.63	72.71	10.95	18.33	96.12
ウスルタン	58.82	91.69	66.92	12.65	29.06	97.34
サンミゲル	68.90	93.57	69.70	16.10	24.46	92.82
モラサン	63.82	87.18	46.02	37.06	39.12	88.02
ラ・ウニオン	57.54	89.46	55.28	32.63	24.19	84.27

（出所） EHPM (2012) 各県統計を基に作成

東部地域の人口推移に関しては、1971年以降の長期スパンで見て、また、1992年以降の中期スパンを見ても、東部地域の人口増加率は総じて低い。図表 77 に示すように、1971～1992年の人口の推移を見ると、東部4県中2県（ウスルタン県はマイナス5.7%、モラサン県ではマイナス2.7%）で人口が減少している。また、1992～2007年の人口の推移では、全体的に人口は増加しているが、ラ・ウニオン県の人口に限り14.7%の減少となっている。国内移住、海外移民のインパクトも大きいと推定される。

また、図表 78 と 79 に示すように、各県における1987～1992年、2002～2007年の5年間の国内移住者数に関しては、両時期ともに、東部4県は、転入よりも転出の方が多く、増減差はマイナスとなっている。

図表 77 県別人口推移 (1971~2007 年)

Cuadro 2. El Salvador. Distribución de la población en los departamentos e incrementos relativos en los periodos intercensales.

DEPARTAMENTOS	CENSOS			PORCENTAJE			INCREMENTO RELATIVO (%)	
	1971	1992*	2007	1971	1992*	2007	1971-1992	1992-2007
TOTAL	3,554,648	4,593,769	5,744,113	100.0	100.0	100.0	29.2	25.0
01- Ahuachapán	178,472	241,480	319,503	5.0	5.3	5.6	35.3	32.3
02- Santa Ana	335,853	410,452	523,655	9.4	8.9	9.1	22.2	27.6
03- Sonsonate	237,059	331,609	438,960	6.7	7.2	7.6	39.9	32.4
04- Chalatenango	172,845	168,395	192,788	4.9	3.7	3.4	-2.6	14.5
05- La Libertad	285,575	475,563	660,652	8.0	10.4	11.5	66.5	38.9
06- San Salvador	733,445	1,291,160	1,567,156	20.6	28.1	27.3	76.0	21.4
07- Cuscatlán	152,825	152,632	231,480	4.3	3.3	4.0	-0.1	51.7
08- La Paz	181,929	224,360	308,087	5.1	4.9	5.4	23.3	37.3
09- Cabañas	131,081	125,445	149,326	3.7	2.7	2.6	-4.3	19.0
10- San Vicente	153,398	123,293	161,645	4.3	2.7	2.8	-19.6	31.1
11- Usulután	294,497	277,636	344,235	8.3	6.0	6.0	-5.7	24.0
12- San Miguel	320,602	341,624	434,003	9.0	7.4	7.6	6.6	27.0
13- Morazán	156,052	152,380	174,406	4.4	3.3	3.0	-2.4	14.5
14- La Unión	221,015	277,740	238,217	6.2	6.0	4.1	25.7	-14.2

* POBLACION CENSADA SIN IMPUTAR

(出所) Estimaciones y proyecciones departamentales de población 1950-2050 p.14

図表 78 国内移住者数（転入・転出・増減差（県別、人口 5 歳以上）（1987～1992 年）

Cuadro 6. El Salvador. Población Total de 5 Años y más, Saldos Migratorios Netos Totales de los últimos 5 años 1987-1992 por sexo, según Departamento de Residencia. Censo 1992

DEPARTAMENTOS	INMIGRANTES			EMIGRANTES			SALDO NETO		
	Total	Hombres	Mujeres	Total	Hombres	Mujeres	Total	Hombres	Mujeres
Total País	657,634	295,510	362,124	634,580	284,745	349,835	23,054	10,765	12,289
Ahuachapán	10,445	4,984	5,461	26,686	12,209	14,477	-16,241	-7,225	-9,016
Santa Ana	22,308	10,431	11,877	45,241	20,557	24,684	-22,933	-10,126	-12,807
Sonsonate	40,828	19,393	21,435	33,673	15,090	18,583	7,155	4,303	2,852
Chalatenango	9,267	4,961	4,306	51,206	22,671	28,535	-41,939	-17,710	-24,229
La Libertad	121,495	55,876	65,619	52,763	23,829	28,934	68,732	32,047	36,685
San Salvador	332,759	143,217	189,542	68,816	32,475	36,341	263,943	110,742	153,201
Cuscatlán	16,926	7,621	9,305	45,456	20,666	24,790	-28,530	-13,045	-15,485
La Paz	25,348	11,886	13,462	44,683	19,815	24,868	-19,335	-7,929	-11,406
Cabañas	8,398	4,069	4,329	35,533	15,447	20,086	-27,135	-11,378	-15,757
San Vicente	10,574	5,111	5,463	47,928	21,273	26,655	-37,354	-16,162	-21,192
Usulután	12,141	5,576	6,565	72,287	32,652	39,635	-60,146	-27,076	-33,070
San Miguel	30,811	14,153	16,658	52,946	23,487	29,459	-22,135	-9,334	-12,801
Morazán	4,689	2,301	2,388	29,511	12,867	16,644	-24,822	-10,566	-14,256
La Unión	11,645	5,931	5,714	27,851	11,707	16,144	-16,206	-5,776	-10,430

(出所) Estimaciones y proyecciones departamentales de población 1950-2050 p.22

図表 79 国内移住者数（転入・転出・増減差（県別、人口 5 歳以上）（2002～2007 年）

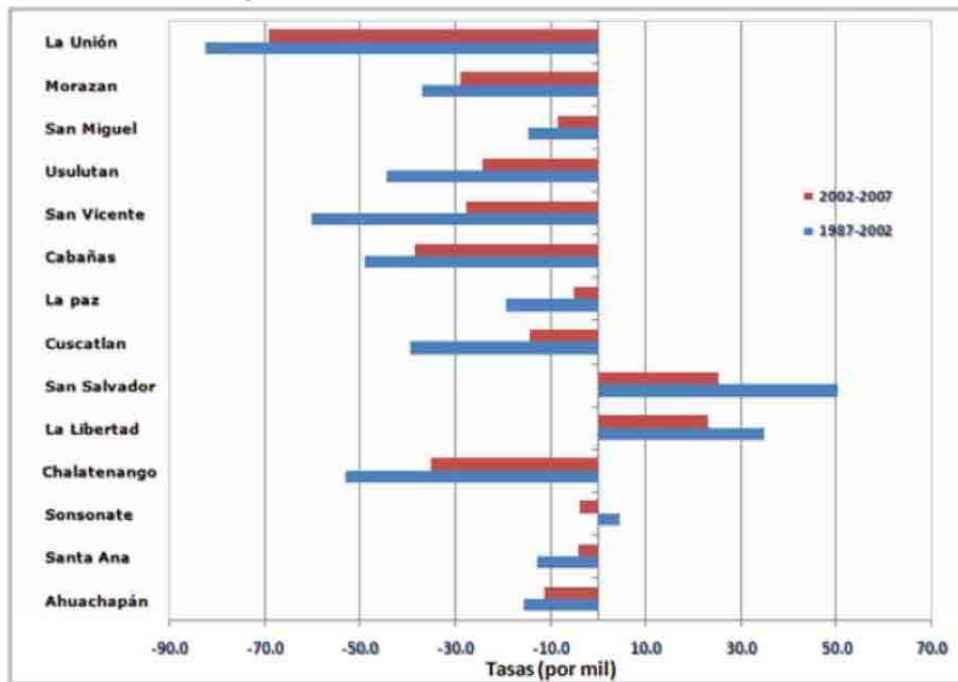
Cuadro 7. El Salvador. Población Total de 5 Años y más, Saldos Migratorios Netos Totales de los últimos 5 años 2002-2007 por sexo, según Departamento de Residencia. Censo 2007

DEPARTAMENTOS	INMIGRANTES			EMIGRANTES			SALDO NETO		
	Total	Hombres	Mujeres	Total	Hombres	Mujeres	Total	Hombres	Mujeres
Total País	726,391	316,234	410,157	715,826	310,890	404,936	10,565	5,344	5,221
Ahuachapán	20,136	8,902	11,234	36,451	16,296	20,155	-16,315	-7,394	-8,921
Santa Ana	40,382	18,241	22,141	49,199	22,318	26,881	-8,817	-4,077	-4,740
Sonsonate	41,442	18,831	22,611	48,528	21,338	27,190	-7,086	-2,507	-4,579
Chalatenango	12,284	5,876	6,408	45,526	18,521	27,005	-33,242	-12,645	-20,597
La Libertad	135,800	60,278	75,522	68,931	30,973	37,958	66,869	29,305	37,564
San Salvador	292,914	120,599	172,315	119,469	56,181	63,288	173,445	64,418	109,027
Cuscatlán	28,650	12,717	15,933	43,822	19,036	24,786	-15,172	-6,319	-8,853
La Paz	39,282	17,782	21,500	46,044	20,189	25,855	-6,762	-2,407	-4,355
Cabañas	7,106	3,310	3,796	35,361	14,213	21,148	-28,255	-10,903	-17,352
San Vicente	20,130	9,973	10,157	41,575	17,059	24,516	-21,445	-7,086	-14,359
Usulután	27,825	12,437	15,388	67,307	28,690	38,617	-39,482	-16,253	-23,229
San Miguel	39,592	17,427	22,165	55,286	23,163	32,123	-15,694	-5,736	-9,958
Morazán	6,225	2,852	3,373	29,886	11,883	18,003	-23,661	-9,031	-14,630
La Unión	14,623	7,009	7,614	28,441	11,030	17,411	-13,818	-4,021	-9,797

(出所) Estimaciones y proyecciones departamentales de población 1950-2050 p.23

また、国内移民の規模では、図表 80 に示すように、1997～2002 年、2002～2007 年のラ・ウニオン県、モラサン県、ウスルタン県からの国内移民の規模、インパクトは全国的に見ても大きい。特に、ラ・ウニオン県へのインパクトは大きい。

図表 80 国内移民数（1987～2002 年、2002 年～2007 年）
Gráfico 2. Tasas netas de migración interna en los períodos 1987-1992 y 2002 - 2007. Población de ambos sexos.



(出所) Estimaciones y proyecciones departamentales de población 1950-2050 p.23

さらに、東部 4 県から海外への移民に関しては、その規模は継続的に非常に大きい。特徴的なのは、1987～1992 年から 2002～2007 年にかけて、人口千人当たりの移民数が増加しているのは、全国でもウスルタン県、サンミゲル県、ラ・ウニオン県の東部 3 県に限られる点である。海外への移民が全国的には落ち着きを見せつつある中、東部地域の地域社会に与える移民のインパクトは大きく、特に、ラ・ウニオン県における移民のインパクトは圧倒的である。

図表 81 海外移民者総数と千人当たりの移民者数(県別、人口5歳以上)(1987~1992年)

Cuadro 8. El Salvador. Población Total de 5 Años y más, Inmigración Internacional (Extranjeros) de los últimos 5 años 1987-1992 por sexo, según Departamento de Residencia. Censo 1992

DEPARTAMENTOS	INMIGRANTES			TASA DE INMIGRACIÓN INTERNACIONAL (por mil)		
	Total	Hombres	Mujeres	Total	Hombres	Mujeres
Total País	23,054	10,765	12,289	1.22	1.18	1.26
Ahuachapán	491	209	282	0.46	0.40	0.51
Santa Ana	1,106	527	579	0.59	0.59	0.60
Sonsonate	766	360	406	0.54	0.52	0.56
Chalatenango	1,649	792	857	2.01	1.97	2.05
La Libertad	2,824	1,352	1,472	1.49	1.46	1.52
San Salvador	9,958	4,671	5,287	1.98	1.94	2.01
Cuscatlán	239	103	136	0.33	0.30	0.36
La Paz	233	105	128	0.23	0.22	0.24
Cabañas	2,167	1,036	1,131	3.62	3.59	3.64
San Vicente	329	169	160	0.53	0.57	0.49
Usulután	186	85	101	0.14	0.13	0.14
San Miguel	694	329	365	0.45	0.44	0.45
Morazán	1,645	636	1,009	2.29	1.85	2.71
La Unión	767	391	376	3.72	3.94	3.52

(出所) Estimaciones y proyecciones departamentales de población 1950-2050 p.25

図表 82 海外移民者総数と千人当たりの移民者数(県別、人口5歳以上)(2002~2007年)

Cuadro 9. El Salvador. Población Total de 5 Años y más, Inmigración Internacional (Extranjeros) de los últimos 5 años 2002 y 2007 por sexo, según Departamento de Residencia. Censo 2007

DEPARTAMENTOS	INMIGRANTES			TASA DE INMIGRACIÓN INTERNACIONAL (por mil)		
	Total	Hombres	Mujeres	Total	Hombres	Mujeres
Total País	10,565	5,344	5,221	0.42	0.45	0.39
Ahuachapán	402	184	218	0.27	0.26	0.29
Santa Ana	750	367	383	0.31	0.32	0.30
Sonsonate	324	163	161	0.16	0.17	0.16
Chalatenango	429	188	241	0.45	0.42	0.47
La Libertad	1,709	869	840	0.61	0.65	0.57
San Salvador	3,079	1,594	1,485	0.46	0.51	0.41
Cuscatlán	182	76	106	0.17	0.15	0.19
La Paz	211	112	99	0.15	0.17	0.13
Cabañas	155	54	101	0.21	0.16	0.25
San Vicente	201	120	81	0.26	0.33	0.19
Usulután	356	201	155	0.22	0.26	0.18
San Miguel	1,076	559	517	0.54	0.62	0.48
Morazán	347	171	176	0.42	0.44	0.39
La Unión	1,344	686	658	6.12	6.84	5.51

(出所) Estimaciones y proyecciones departamentales de población 1950-2050 p.26

国際送金に関しては、図表 66 に示すように、東部地域 4 県の送金受取世帯の割合は、ラ・ウニオン県が 41.2%、モラサン県が 34.1%、ウスルタン県が 28.5%、サンミゲル県が 32.9%で、全国平均の 19.8%を大きく上回っている。

自治体レベルで送金受取世帯の割合が最も高い 10 市は、ラ・ウニオン県の 6 市（ポロロス、ボリバル、エル・サウセ、アナモロス、メアングラ・デル・ゴルフオ、コンセプション・デ・オリエンテ）、モラサン県の 3 市（エル・ディビサデロ、ヨロアイキン、ソシエダ）、サンミゲル県の 1 市（サン・ヘラルド）であり、東部の 4 県が占めている。

一方、送金受取世帯の割合が最も低い 10 市は、クスカトラン県の 4 市（モンテ・サンフアン、サン・クリストバル、エル・カルメン、カンデラリア）、ラ・パス県の 3 市（サン・フランシスコ・チナメカ、メルセデス・ラ・セイバ、サンミゲル・ゲペソントス）、ソンソナテ県の 2 市（サンタ・カタリナ・マサワット、ナウイザルコ）、ラ・リベルタ県の 1 市（ウイスカル）である。⁶²

送金は貧困率の軽減に大きく貢献している。図表 83 が示すように、送金の有無によって貧困率は変化している。国別 HDR（2005）によると、送金がない場合、貧困率は 34.5%から 41.2%、絶対貧困率は 12.6%から 19.5%、相対的貧困率は 22.0%から 21.7%に増加する。

図表 83 送金の有無による貧困率の変化（2004 年）

Cuadro 2.17 Porcentaje de hogares en situación de pobreza con y sin remesas

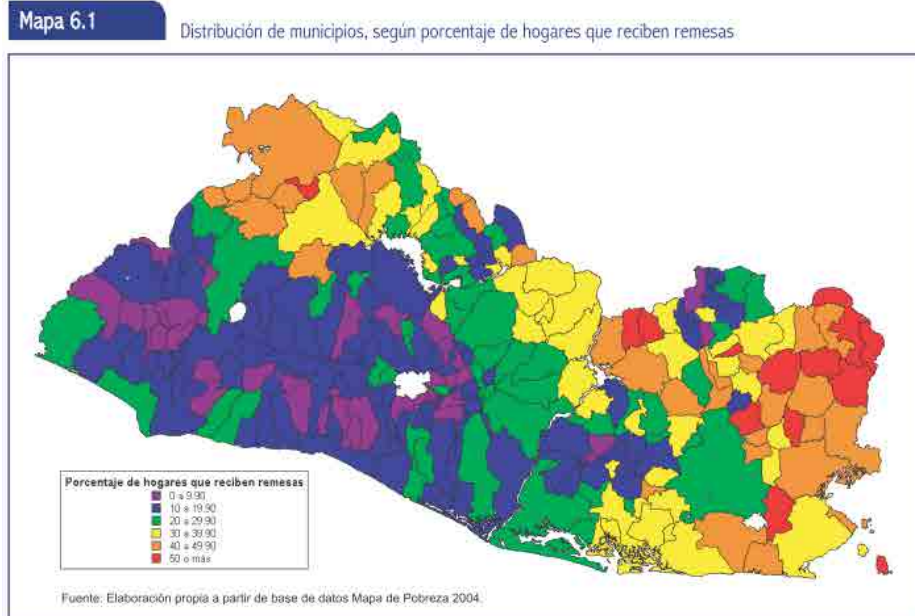
Condición de pobreza	Pobreza con remesas		
	Total	Urbano	Rural
Pobreza total	34.5	29.2	43.6
Pobreza extrema	12.6	8.6	19.3
Pobreza relativa	22.0	20.6	24.4
	Pobreza sin remesas		
	Total	Urbano	Rural
Pobreza total	41.2	34.9	51.9
Pobreza extrema	19.5	14.5	28.1
Pobreza relativa	21.7	20.4	23.8

Fuente: Elaboración propia con base en EHPM 2004.

(出所) HDR-ES (2005) p.82

⁶² IDH- ES (2012) p.249

地図 5 送金受取世帯の割合 (2004 年)



紫：0-9.90%、青：10-19.90%、緑：20-29.90%、
 黄色：30-39.90%、オレンジ：40-49.90%、赤：50%以上
 (出所) HDR-ES (2005) p.246

防災体制の強化プログラム

世界銀行が 2005 年に発表した「災害ホットスポット：グローバルリスク分析 (National disaster hotspots: a global risk analysis)」によると、エルサルバドルの国土面積の 88.7%、国民の 95.4%、GDP の 96.4%は 2 種類以上の自然災害のリスクにさらされており、そのリスクの度合いは世界第 2 位 (面積と人口を基準にすると世界第 3 位) である。

エルサルバドルは、その地理的な位置と地盤の特徴により、水文気象学的及び地球物理学的なハザードを含んだ多様な自然災害にさらされている。世銀によると、自然災害による 1982-2007 年の経済的損失は 45 億 7,000 万ドルに相当する⁶³。

エルサルバドルは他のメソアメリカ地域と並んで 3 つの活断層の上に位置しており、地球上で最も地震が頻繁に発生している地域の一つである。近年では 1986 年 10 月と 2001 年 1 月と 2 月に 1,000 人前後の死者を出す大地震が発生した。2001 年の 2 つの地震により、全国の住宅総数 1,362,163 軒の約 8%に当たる 107,787 軒が半壊または一部損傷、12%に当たる 163,866 軒が全壊した。そのうちの大半が貧困層の住宅である。⁶⁴

⁶³ (出所)、世銀 Country Partnership Strategy October 29, 2009 p.7

経済的損失：地震 US\$3.35billion、嵐 (Storm) US\$744 million、洪水 US\$282 million、旱魃 US\$193 million

⁶⁴ エルサルバドル国耐震普及住宅の建築普及技術改善プロジェクト終了時評価調査報告書要約表 (1-1 協力の背景と概要)

図表 84 1982 年以降に発生した大規模地震⁶⁵

日	規模	震源地	影響
19 June 1982	7.0 PAS 6.0 ISC	太平洋	赤十字の報告によると、死亡者 8 名、怪我人 96 名、被災者数は約 5,000 人
23 April 1985	mb=4.8 (USGS)	Usulután 県 Berlín 市	5,000 回以上の余震を記録したうち、167 回は震源地周辺で発生
10 October 1986	mb=5.8 (CIG-USGS)	San Salvador	死亡者数 1,500 名、怪我人数 10,000 名、60,000 件の家屋が破壊・損傷
3 November 1988	mb=5.6 (CIG-USGS)	太平洋沖、グアテマラ、エスクイントラ県サンホセ港南	死者数 5 名、怪我人数名、グアテマラ南部では 100 件の家屋が損傷
1 March 1999	Mc=4.6	サンビセンテ周辺	3 月 1 日以降、合計 934 回の余震を記録、71 回は震源地周辺。住宅（アドベ及びバハレケ）及び教会の損傷
17 March 1999	Mc=4.5	サンビセンテ周辺	
3 April 1999	Mc=5.3	フォンセカ湾周辺	4 月 2 日以降、1999 回の余震を記録、17 回はメアングーラ島周辺。石壁の損傷と建物の亀裂
3 April 1999	Mc=5.8	フォンセカ湾周辺	
13 January 2001	Mw=7.6	沈み込み地帯	死亡者 944 名、1,155 公共建造物損傷、108,261 住宅破壊、19 病院損傷、405 協会損傷、445 土砂崩れ（出所：COEN）
13 February 2001	Mw=6.6	サンビセンテ周辺	死亡者 312 名、82 公共建造物損傷、41,302 住宅破壊、5 病院損傷、73 教会損傷、71 土砂崩れ（出所：COEN）
17 February 2001	Mw=5.1	サンサルバドル首都圏	特に大きな損害の報告はないが、サンサルバドル首都圏の人々はパニック状態となった。

（出所） 環境監視総局（Dirección General del Observatorio Ambiental）を基に作成

エルサルバドルでは 2005 年以降だけでも、ハリケーンスタン（2005 年 10 月）、ハリケーンディーン（2007 年 8 月）、ハリケーンフェリックス（2007 年 9 月）、熱帯低気圧アイダ（2009 年 11 月）、熱帯低気圧アガサ（2010 年 5 月）、熱帯低気圧アレックス（2010 年 6 月）、熱帯低気圧マシュー（2010 年 10 月）、熱帯低気圧 12E（2011 年 10 月）などの災害が発生した。2009 年の熱帯低気圧アイダ以降の気象災害による死者数は 244 人に上り、50 万人以上が影響を受け、75 万人以上が避難した⁶⁶。人的被害に加え、アイダ、アガサ及び熱帯低気圧 12E による経済的損失は 13 億 2930 万ドル以上、GDP の 5.9%に相当する⁶⁷。

エルサルバドルの年間降雨量は通常約 1,800 ミリで、降雨量の 90%が 5～9 月に集中し、10～4 月は 10%であったが、近年の気候変動の影響により降雨量が増大し、10～4 月に降る雨の割合も増加している。また、気温も 1970 年以降、0.4～2.2 度上昇している。

⁶⁵ <http://www.snet.gob.sv/ver/sismologia/registro/estadisticas/>

⁶⁶ Secretaría Técnica de la Presidencia, El Camino del Cambio Llegandos de cuatro años de gestión p.25

⁶⁷ Secretaría Técnica de la Presidencia, El Camino del Cambio Llegandos de cuatro años de gestión p.25

気候の変化により、サンサルバドル首都圏では降雨量の増大に伴う土砂崩れと洪水による被害が顕在化している。加えて、サンサルバドル首都圏では無計画に都市が拡大したため、森林被覆率や土壌の透水性も減少している。また、排水設備の不足もあり、少量の雨でも表流水量が増えて河川の流が加速するため、周囲のコミュニティのリスクが増大している⁶⁸。

「都市の貧困マップ」によると、サンサルバドル首都圏には 514 カ所のスラム地区が存在しており、「慢性的な貧困世帯」(4 グループの一つ⁶⁹) の人々は河川の周囲に居住していることが多い。また、サンサルバドル首都圏にある 93 のスラム地区のうち 29 地区は、土砂崩れと洪水の発生するリスクが高い地域 (16 地区は土砂崩れのリスク、13 地区は洪水のリスク) に位置している。

図表 85 近年の暴風雨

年月	2009 年	2010 年 5 月	2011 年 10 月
災害	アイダ豪雨	アガサ豪雨	熱帯低気圧 12E
死亡人数	198	12	34
被害人数	122,000	120,000	500,000
避難人数	4,200	14,800	56,000
被害地域	中部地域、特に、サンビセンテ、ラ・パス	東部地域、沿岸地域	181 市 (国土の 70%)
橋梁	55 損傷、24 破壊	25 損傷	26 損傷、8 破壊
損傷・破損住宅	2,350 軒	8,272 軒	8,188 軒
道路破損	132 道路	61 道路	国道の 40%
学校損傷	111	327	947
保健機関損傷	28	20	19 病院、238 クリニック

(出所) Secretaría Técnica de la Presidencia, El Camino del Cambio Legados de cuatro años de gestión p.26

図表 86 主な火山と噴火年⁷⁰

	名称	県	最後の噴火年
1	チャパラスティケ	サンミゲル	2013
2	サンタアナ	サンタアナ	2005
3	イサルコ	ソンソナテ	1966
4	サン マルセリノ	ソンソナテ	1722
5	サンサルバドル	サンサルバドル	1917
6	エル プラヨン	サンサルバドル	1658-1659
7	ケマダス島	サンサルバドル	1879-1880
	イロパンゴ	サンサルバドル	429
8	コンチャギータ	フォンセカ湾島	1892

⁶⁸ IDB Reduction of vulnerability in informal urban neighbourhoods in the San Salvador Metropolitan Area – Loan Proposal

⁶⁹ 慢性的な貧困世帯 (Hogares en pobreza crónica)、近年貧困状態になった世帯 (hogares en pobreza reciente)、以前から欠如状況にある貧困世帯 (hogares con carencias inerciales)、混合貧困世帯 (hogares en condiciones de integración)

⁷⁰ <http://www.snet.gob.sv/ver/vulcanologia/volcanes+de+el+salvador/volcanes+activos/>

3) アクセスが制限されている要因分析

雇用

貧困削減及び格差の是正が制限されている要因の一つとして、雇用の問題が挙げられる。図表 87 に示すように、エルサルバドルの失業率は 6.1%（都市部 6.2%、農村部 5.8%、サンサルバドル首都圏 6.8%）であり、地域的には図表 88 に示すように、ラ・ウニオン県（6.5%）、モラサン県（6.5%）、サンビセンテ県（6.5%）、サンサルバドル県（6.7%）、カバーニャス県（7.3%）で失業率が高い。

しかし、雇用されていても不完全就業（Subempleo）であることが多く、労働時間が週 40 時間以下で週の最低賃金に達しないこと（Subempleo Visible）や、40 時間以上働いても最低賃金以下の給料しか支払われないこと（Subempleo Invisible）も多く、2012 年では、前者の割合は全就業者の 5.3%、後者の割合は 25.5%に相当する。⁷¹

図表 87 失業率（全国・都市部・農村部・サンサルバドル首都圏）（2012 年）



(出所) EHPM (2012) p.11

図表 88 16 歳以上の県別失業率（2012 年）

El Salvador: Tasa de desempleo de la población de 16 años y más, por departamento. EHPM – 2012

DEPARTAMENTO	TASA
Usulután	4.4
Ahuachapán	4.5
La Libertad	5.1
Sonsonate	5.4
Santa Ana	5.5
San Miguel	5.8
Cuscatlán	5.9
La Paz	6.3
Chalatenango	6.3
La Unión	6.5
Morazan	6.5
San Vicente	6.5
San Salvador	6.7
Cabañas	7.3



(出所) EHPM (2012) p.13

⁷¹ EHPM (2012) p.11

各県の経済活動の特徴としては、東部4県では、輸出・鉱山従事者が55.8%、漁業従事者が51%、農業・牧畜・林業が全国の28.2%を占めている。

図表 89 県別職種人口（人数）

	合計	農業・牧畜・林業	漁業	輸出・鉱山	工業・製造業	電気・ガス・水道	建設	商業・ホテル・レストラン	運輸・倉庫・通信	仲介・金融・不動産	行政・防衛	教育	コミュニティサービス・保健	家庭サービス	その他
	2,559,315	518,563	18,137	1,716	397,046	10,921	127,918	734,113	110,642	137,588	116,297	81,379	190,074	112,688	233
Ahuachapán	133,222	50,505	327	0	13,166	324	7,495	24,841	2,598	5,059	8,060	3,379	9,160	8,308	0
Santa Ana	241,348	59,272	238	292	37,150	1,414	14,521	62,601	8,889	10,735	9,157	8,074	15,543	13,462	0
Sonsonate	188,969	46,432	1,161	43	21,696	831	8,185	52,681	9,758	8,553	9,686	4,917	12,482	12,544	0
Chalatenango	80,808	30,539	297	0	8,916	227	6,199	18,388	2,398	1,896	3,016	2,687	4,126	2,119	0
La Libertad	311,263	52,618	1,112	102	56,607	1,234	15,140	81,918	16,384	22,475	16,624	10,800	22,607	13,611	41
San Salvador	774,942	32,006	191	240	157,291	3,343	32,232	280,862	43,151	65,858	33,682	26,789	70,085	27,020	192
Cuscatlán	103,004	28,051	264	0	15,337	333	5,558	26,954	3,051	4,166	5,336	2,660	5,904	5,390	0
La Paz	129,108	24,851	5,178	52	22,018	459	5,382	34,722	5,018	4,286	9,374	3,118	7,886	6,764	0
Cabañas	56,827	24,510	59	29	4,386	144	3,561	13,071	1,189	1,137	1,601	1,540	3,229	2,371	0
San Vicente	69,323	23,758	52	0	7,427	108	2,852	16,292	2,295	1,942	4,508	2,567	5,009	2,513	0
Usulután	138,189	40,912	7,140	307	13,617	515	6,243	36,535	4,770	2,927	6,034	4,214	9,146	5,829	0
San Miguel	173,298	44,446	0	0	19,875	1,846	10,195	51,851	6,748	5,879	3,900	6,800	15,001	6,757	0
Morazan	72,073	30,500	0	0	8,895	23	4,281	12,628	1,653	1,080	2,800	2,467	4,202	3,544	0
La Unión	86,941	30,163	2,118	651	10,665	130	6,074	20,769	2,740	1,595	2,519	1,367	5,694	2,456	0

(出所) EHPM (2012) Cuadro B34 Ocupados por Rama de Actividad Económica, según departamento p.180

図表 90 県別職種人口 (%)

	合計	農業・牧畜・林業	漁業	輸出・鉱山	工業・製造業	電気・ガス・水道	建設	商業・ホテル・レストラン	運輸・倉庫・通信	仲介・金融・不動産	行政・防衛	教育	コミュニティサービス・保健	家庭サービス	その他
%	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
Ahuachapán	5.2	9.7	1.8	0.0	3.3	3.0	5.9	3.4	2.3	3.7	6.9	4.2	4.8	7.4	0.0
Santa Ana	9.4	11.4	1.3	17.0	9.4	12.9	11.4	8.5	8.0	7.8	7.9	9.9	8.2	11.9	0.0
Sonsonate	7.4	9.0	6.4	2.5	5.5	7.6	6.4	7.2	8.8	6.2	8.3	6.0	6.6	11.1	0.0
Chalatenango	3.2	5.9	1.6	0.0	2.2	2.1	4.8	2.5	2.2	1.4	2.6	3.3	2.2	1.9	0.0
La Libertad	12.2	10.1	6.1	5.9	14.3	11.2	11.8	11.2	14.8	16.3	14.3	13.3	11.9	12.1	17.6
San Salvador	30.3	6.2	1.1	14.0	39.6	30.6	25.2	38.3	39.0	47.9	29.0	32.9	36.9	24.0	82.4
Cuscatlán	4.0	5.4	1.5	0.0	3.9	3.0	4.3	3.7	2.8	3.0	4.6	3.3	3.1	4.8	0.0
La Paz	5.0	4.8	28.5	3.0	5.5	4.2	4.2	4.7	4.5	3.1	8.1	3.8	4.1	6.0	0.0
Cabañas	2.2	4.7	0.3	1.7	1.1	1.3	2.8	1.8	1.1	0.8	1.4	1.9	1.7	2.1	0.0
San Vicente	2.7	4.6	0.3	0.0	1.9	1.0	2.2	2.2	2.1	1.4	3.9	3.2	2.6	2.2	0.0
Usulután	5.4	7.9	39.4	3.4	4.7	4.9	4.9	5.0	4.3	2.1	5.2	5.2	4.8	5.2	0.0
San Miguel	6.8	8.6	0.0	0.0	5.0	16.9	8.0	7.1	6.1	4.3	3.4	8.4	7.9	6.0	0.0
Morazan	2.8	5.9	0.0	0.0	2.2	0.2	3.3	1.7	1.5	0.8	2.4	3.0	2.2	3.1	0.0
La Unión	3.4	5.8	11.7	37.9	2.7	1.2	4.7	2.8	2.5	1.2	2.2	1.7	3.0	2.2	0.0
東部地域合計	18.4	28.2	51.0	55.8	13.4	23.0	20.9	16.6	14.4	8.3	13.1	18.2	17.9	18.5	0.0

(出所) EHPM (2012) Cuadro B34 Ocupados por Rama de Actividad Económica, según departamento p.180

東部地域に対する政府の支援

フネス政権は大統領プログラムである『地域開発促進プログラム (Territorios de Progreso)』を発表し、特に東部地域を優先して地域的な貧困と社会的不平等を乗り越えるための支援を行っている。同プログラムの構想では、地域の住民を主体とした委員会 (Consejo del Territorio) を発足し、東部地域 (ヒキリスコ湾周辺の6市、モラサン県北部の14市、サンミゲル県北部の8市、ラ・ウニオン県北部の9市の計37市) の社会セクターと連携しながら地域のロジスティックセンター (港及び空港)、生産活動、観光、海洋及び環境資源の活性化を図る。

添付 1 主要文献リスト

- DIGESTYC (Spanish) VI Censo de Población y V de Vivienda 2007
Estimaciones y proyecciones nacionales de población 1995–2020
Estimaciones y proyecciones departamentales de población 1995–2020
<http://www.censos.gob.sv/util/datos/Resultados%20VI%20Censo%20de%20Poblaci%C3%B3n%20V%20de%20Vivienda%202007.pdf> (2014/2/6アクセス)
- ECLAC (Spanish) Anuario Estadístico de América Latina y el Caribe / (English) Statistical Yearbook for Latin America and the Caribbean 2012
<http://www.iadb.org/intal/italcdi/PE/2013/10822.pdf> (2014/2/6アクセス)
- ECLAC (Spanish) Documento de país sobre las políticas orientadas a las familias para la reducción de la pobreza y la conciliación de la vida laboral y familia El Salvador 27-29 de agosto de 2013
<http://www.eclac.cl/dds/agenda/2/50732/DDS-taller-2013-08-27-Documento-El-Salvador-sobre-políticas-orientadas-a-las-familias.pdf> (2014/2/6アクセス)
- ECLAC (Spanish) Ministerio de Economía Mediando la pobreza en El Salvador: Valoraciones conceptuales y desafíos metodológicos (2009)
<http://www.cepal.org/mexico/noticias/noticias/4/38004/8.GiovanniBerti-Midiendo-PobrezaElSalvador.pdf> (2014/2/6アクセス)
- ECLAC (Spanish) Objetivos de Desarrollo del Milenio: Perfiles de países División Estadísticas El Salvador (2014/02/07 Update)
http://interwp.cepal.org/perfil_ODM/perfil_Pais.asp?Pais=SLV&Id_idioma=1
(2014/2/6アクセス)
- FAO (English) The State of Food Insecurity in the World 2013, The multiple dimensions of food security
<http://www.fao.org/docrep/018/i3434e/i3434e00.htm> (2014/2/6アクセス)

- FUSADES (Fundación Salvadoreña para el Desarrollo Económico y Social) (Spanish) Democracia y crecimiento: fundamentos del desarrollo Estrategia económica social e institucional 2009-2014 (2008)
http://www.fusades.org/index.php?option=com_jdownloads&Itemid=172&view=fnish&cid=620&catid=54&lang=es (2014/2/6アクセス)

- FISDL (Fondo de Inversión Social para el Desarrollo Local)(Spanish) Libro Mapa de Pobreza (2005)
<http://www.fisdgob.gov.sv/temas-543/mapa-de-pobreza> (2014/2/6アクセス)

- Mapa de el Salvador condición de extrema pobreza - FISDL
http://www.fisdgob.gov.sv/documentos/libromapapobreza/CONTENIDOS/mapas_c_ap_III.pdf (2014/2/6アクセス)

- FISDL (Spanish) Memoria de Labores 2011 / 2012
http://publica.gobiernoabierto.gob.sv/institutions/fondo-de-inversion-nacional-en-electrificacion-y-telefonía-fondo-de-inversion-social-para-el-desarrollo-local-de-el-salvador/information_standards/memoria-de-labores (2014/2/6アクセス)

- IDB (English) Country Strategy with El Salvador 2010-2014 (2010)
<http://idbdocs.iadb.org/wsdocs/getdocument.aspx?docnum=35283159> (2014/2/6アクセス)

- In Sight Crime (English) Organized Crime in the Americas
<http://www.insightcrime.org/el-salvador-organized-crime-news> (2014/2/6アクセス)

- MINEC - DIGESTYC (Ministry of Economía Dirección General de Estadística y Censos) (Spanish) Encuesta de Hogares de Propósitos Múltiples (EHPM)
<http://www.digestyc.gob.sv/index.php/temas/des/ehpm/publicaciones-ehpm.html> (2014/2/6アクセス)

- MH (Ministerio de Hacienda) (Spanish) Plan Quinquenal de Desarrollo 2010-2014
http://www.mh.gob.sv/portal/page/portal/PMH/Institucion/Marco_Institucional/Inform

- [es/Planes/Plan_Quinquenal_de_Desarrollo_2010_2014.pdf \(2014/2/6アクセス\)](#)
- MINSAL (Ministerio de Salud) Informe de Salud 2012-2013
<http://www.salud.gob.sv/servicios/descargas/documentos/Documentación-Institucional/Memorias-de-Labores/Memoria-de-Labores-2012-2013/> (2014/2/6アクセス)
 - MTPS (Ministerio de Trabajo y Previsión Social) (Spanish) Compendio Estadístico 2009-2012 / Resumen de Indicadores Laborales 2012
http://www.mtps.gob.sv/index.php?option=com_content&view=article&id=115&Itemid=142 (2014/2/6アクセス)
 - PAHO (Spanish) Política Nacional de Seguridad Alimentaria y Nutricional Garantizando el derecho a una alimentación saludable con inclusión y equidad 2011-2015
http://www.paho.org/els/index2.php?option=com_docman&task=doc_view&gid=767&Itemid=99999999 (2014/2/6アクセス)
 - PNC (Policía Nacional Civil) (Spanish) Estadística Enero 2014
http://publica.gobiernoabierto.gob.sv/institutions/policia-nacional-civil/information_standards/justificacion-estadisticas (2014/2/6アクセス)
 - STP (Secretaría Técnica de la Presidencia) (Spanish) El Camino del Cambio en El Salvador, creando las bases de sociedad democrática, incluyente y equitativa, Gobierno de El Salvador
http://www.transparenciaactiva.gob.sv/wp-content/uploads/2012/05/TA-ST_ElCaminoDelCambio-31052012.pdf (2014/2/6アクセス)
 - UCA (Universidad Centroamericana “José Siméon Cañas”) (Spanish) (Summery) Plan Quinquenal de Desarrollo 2010-2014 (Abril 2010)
http://www.uca.edu.sv/deptos/economia/media/archivo/be567c_planquinquenal dedesarrolloelsalvador20102014.pdf (2014/2/6アクセス)
 - UN (Spanish) Marco de Asistencia de Naciones Unidas para el Desarrollo 2012-2015 (2011)
http://www.nacionesunidas.org.sv/new/images/abook_file/undaf-2011-2015.pdf

[\(2014/2/6アクセス\)](#)

- UNDP Human Development Report
(English) Human Development Reports 2013 “The Rise of the South: Human Progress in a Diverse World”
<http://hdr.undp.org/en/content/human-development-report-2013> (2014/2/6アクセス)

- (Spanish) Informe sobre Desarrollo Humano 2013 “El ascenso del Sur: Progreso humano en un mundo diverso”
<http://hdr.undp.org/es/content/informe-sobre-desarrollo-humano-2013> (2014/2/6
アクセス)

- UNDP (English) Explanatory note on 2013 HDR Composite indices El Salvador HDI value and rank change in the 2013 Human Development Report
<http://hdr.undp.org/sites/default/files/Country-Profiles/SLV.pdf> (2014/2/6アクセス)

- UNDP Regional Human Development Report
(English Executive Summary) Regional Human Development Report 2013-2014 “Citizen Security with a Human Face: Evidence and proposals for Latin America”
(Spanish Full Report) Informe Regional de Desarrollo Humano 2013-2014 “Seguridad Ciudadana con Rostro Humano: diagnostic y propuestas para América Latina”
<http://www.undp.org/content/undp/en/home/librarypage/hdr/human-development-report-for-latin-america-2013-2014/> (2014/2/6アクセス)

- (English) Latin America and the Caribbean Human Development Report 2010 “Acting on the future: breaking the intergenerational transmission of inequality”
http://www.undp.org/content/undp/en/home/librarypage/hdr/latin_america_andthecaribbeanhumandevlopmentreport2010/ (2014/2/6アクセス)

- (Spanish) Informe Regional sobre Desarrollo Humano para América Latina y el Caribe 2010 “Actuar sobre el futuro: romper la trnsmisión intergeneracional de la desigualdad”
<http://hdr.undp.org/sites/default/files/rhdr-2010-rblac.pdf> (2014/2/6アクセス)

- UNDP National Human Development Report El Salvador
 (Spanish) Informe sobre Desarrollo Humano El Salvador (IDHES) 2013
 “Imaginar un nuevo país. Hacerlo posible. Diagnóstico y propuesta”
<http://www.pnud.org/sv/2007/idh/content/view/43/109/> (2014/2/6アクセス)

(Spanish) Informe sobre Desarrollo Humano El Salvador (IDHES) 2010 “De la pobreza y el consumismo al bienestar de la gente. Propuestas para un nuevo modelo de desarrollo”
<http://www.pnud.org/sv/2007/idh/content/view/35/95/> (2014/2/6アクセス)

Informe sobre Desarrollo Humano El Salvador (IDHES) 2007-2008 “El empleo en uno de los pueblos más trabajadores del mundo”
<http://www.pnud.org/sv/2007/idh/content/view/25/101/> (2014/2/6アクセス)

Informe sobre Desarrollo (IDHES) 2005 “Una mirada al nuevo Nosotros. El impacto de las migraciones”
<http://www.pnud.org/sv/migraciones/content/view/9/105/> (2014/2/6アクセス)
- UN (English) United Nations The Millennium Development Goals Report 2013
<http://www.un.org/millenniumgoals/pdf/report-2013/MDGs-report-2013-english.pdf> (2014/2/6アクセス)
- UNDP (Spanish) Segundo informe de país. Sin excusas Alcancemos los Objetivos de Desarrollo del Milenio en el 2015”. (2009)
http://www.undg.org/docs/10225/INFORME_ODM_2009_para_web.pdf
 (2014/2/6アクセス)
- UNDP (Spanish) / FUNDAUNGO, Almanaque 262 Estado del desarrollo humano en las municipios de El Salvador 2009
http://www.pnud.org/sv/2007/component/option,com_docman/task,cat_view/gid,223/Itemid,99999999/?mosmsg=Est%E1+intentando+acceder+desde+un+dominio+no+autorizado.+%28www.google.co.jp%29 (2014/2/6アクセス)
- UNDP (Spanish) Mapa de Pobreza Urbana y Exclusión Social El Salvador. Volumen 1 conceptos y metodología / Volumen 2 Atlas Localización de asentamientos urbanos precarios

http://www.pnud.org.sv/2007/odm/index2.php?option=com_content&task=view&id=69 (2014/2/6アクセス)

- UNISDR (Spanish) Informe Nacional del Progreso en la Implementación del Marco de Acción de Hyogo (2009-2011) – intermediario
http://www.preventionweb.net/english/hyogo/gar/2011/en/bgdocs/hfa/15625_slv_NationalHFAprogress_2009-11.pdf (2014/2/6アクセス)

- WB (English)World Bank Country Partner Strategy El Salvador 2010-2012 (2009)
http://www-wds.worldbank.org/external/default/WDSContentServer/WDSP/IB/2009/11/03/000334955_20091103024955/Rendered/PDF/506420CAS0P117101OfficialUseOnly1.pdf (2014/2/6アクセス)

- The World Bank / IFC (English) Enterprise Survey El Salvador Country Profile 2010
<http://www.enterprisesurveys.org/~media/FPDKM/EnterpriseSurveys/Documents/Profiles/English/el-salvador-2010.pdf> (2014/2/6アクセス)

添付 2 主要な情報源リスト

JICA

- ・ JICA研究所
<https://libportal.jica.go.jp/fmi/xsl/library/public/data/shihyo-p.html>

エルサルバドル政府

- ・ 経済省 (MINEC: Ministerio de Economía)
<http://www.minec.gob.sv/>
- ・ 経済省センサス統計総局 (DIGESTYC: Dirección General de Estadística y Censos)
<http://www.digestyc.gob.sv/>
- ・ 社会投資地方開発基金 (FISDL: Fondo de Inversión Social para el Desarrollo Local)
<http://www.fisdl.gob.sv/>
- ・ エルサルバドル中央銀行 (BCR: Banco Central de Reserva)
<http://www.bcr.gob.sv/esp/>
- ・ 外務省
<http://www.rree.gob.sv/> (RREE: Ministerio de Relaciones Exteriores de El Salvador)

国際機関

- ・ 国連組織 (UN & UN Agencies) エルサルバドル共和国事務所
<http://www.nacionesunidas.org.sv/>
- ・ 国連開発計画 (UNDP) エルサルバドル共和国事務所
<http://www.pnud.org.sv/2007/>
- ・ 世界銀行 (WB) Country at Glance
<http://www.worldbank.org/en/country/elsalvador>

- ・ 世界銀行（WB）Country Data
<http://data.worldbank.org/country/el-salvador>
- ・ 米州開発銀行（IDB）El Salvador & the IDB
<http://www.iadb.org/en/countries/el-salvador/el-salvador-and-the-idb,1062.html>
- ・ 米州開発銀行（IDB）IDB Library Country Profile
http://iadb.libguides.com/CID_CES
- ・ 国連食糧農業機関（FAO）Country Profile
<http://www.fao.org/countryprofiles/index/en/?iso3=SLV>
- ・ 国際食糧政策研究所（IFPRI）El Salvador
<http://www.ifpri.org/category/country/latin-america-and-caribbean/el-salvador>

シンクタンク（エルサルバドル共和国他）

- ・ FUSADES エルサルバドル経済社会開発財団
<http://www.fusades.org/>
- ・ DevInfo
<http://www.devinfo.org/libraries.aspx/Home.aspx>